

COMMUNITY IMPACT REPORT

すべての人の可能性を広げる



2026

すべての人の 可能性を 広げる

可能性の基盤は生活です。

持てる力を活用して生活を整えることは、
こころと身体、社会とのつながりを整えます。

子ども、障害のある人、高齢者、
さまざまな困難を抱えた人、そして職員や地域の人人、
すべての人の小さな声を大切にし、つながりをつくり、
可能性を最大に広げることが私たちの使命です。

日々の生活を整える実践から、
30年後の社会を変えるアクションを生み出します。



完成した「沢アパートメント」で、ロバのロバオと記念撮影



福祉楽団
FUKUSHI GAKUDAN

法人名について

福祉楽団は、「楽しむ」ことを大切にします。オーケストラで演奏することは、他の人の場所を残しながら、自分自身の場所を主張することです。民主的な福祉社会を実現したいという思いを込めています。

» VALUE 福祉楽団のバリュー

GOOD CARE

人の持てる力を活用し、自然の回復力を最大限に引き出しながら、まずは生活を整えます。ケアが科学であることを理解し、一回性のクリエイティブな実践と認識して創意工夫をもって展開します。

GOOD PARTNER

ひとりひとりの強みと自律を大切に、業界トップクラスのトレーニングと福利厚生で、働きやすい環境を整えます。従業員は良い福祉を共につくる“パートナー”として、健康でいきいきと働ける関係性を育みます。

GOOD COMMUNITY

地域社会に根差し、ローカルなコミュニティを大切にします。コミュニティが持つ力を引き出し、地域住民と一緒に活動します。すべての事業拠点は、信頼をベースにしたコミュニティ活動の拠点です。

GOOD GOVERNANCE

良いケア、良い人材育成、良い地域活動は、良いガバナンスから生まれます。属人化を防ぎ、意思決定と責任の所在を明確にし、社外の視点や議論を大切に透明性の高い経営を実践します。



「杜の家なりた」で食事の風景



「ツルガソネ保育所」でのお昼寝

- 05 25年目の福祉楽団
- 06 2025 - 2029年度 中期経営計画
- 08 トップメッセージ
- 09 2026年度 事業方針
- 12 GOOD CARE
 - 13 人が中心のケア
 - 14 生活を整える視点
 - 15 ニーズを掘り起こす
 - 16 創造的な実践
- 17 GOOD PARTNER
 - 18 福利厚生と最大限の分配
 - 19 トレーニングと能力開発
 - 20 居場所を感じられる環境
 - 21 安全と衛生
 - 22 働く人の健康を全力で支える
- 23 GOOD COMMUNITY
 - 24 地域に根ざした福祉拠点
 - 25 人道と正義
 - 26 地域経済循環
- 27 GOOD GOVERNANCE
 - 27 社外役員座談会
 - 29 コーポレート・ガバナンス
 - 30 役員体制
- 31 2025年度 財務概要
 - 31 財務ハイライト
 - 32 事業の経過およびその成果
 - 33 対処すべき課題

- 34 福祉楽団の拠点・部門
 - 35 杜の家くりもと
 - 36 杜の家やしお
 - 37 杜の家なりた
 - 38 実羽パークサイド
 - 39 栗源
 - 40 地域ケアよしかわ
 - 41 地域ケアそうか
 - 42 香取CCC
 - 43 新事業推進部
 - 44 コーポレート統括部
- 45 データ集
 - 45 財務データ
 - 49 基礎データ
- 62 福祉楽団について
 - 62 施設概要
 - 63 組織図
 - 64 法人概要
- 65 ご寄附のお願い
 - 65 スキマ基金
 - 66 OUR KIDS 基金
 - 67 ご寄附者一覧
 - 68 ご寄附の方法

表紙 | 「杜の家くりもと」の花壇に水やりをする特養の入居者と保育所の利用者、それを見守るパートナーたち



編集方針

本報告書は、コンヴィヴィアル (Convivial) な社会の実現を目指す福祉楽団が、当法人とかわる皆様とのコミュニケーションを深めることを目的に作成しています。「すべての人の可能性を広げる」をミッションとして取り組む事業や活動について説明しています。本報告書の作成にあたり、グローバル・レポーティング・イニシアティブ (Global Reporting Initiative、GRI) によるガイドライン「GRIスタンダード」を参照しています。

発行情報

発行日 2026年7月1日 発行人 理事長 飯田大輔
 発行 社会福祉法人福祉楽団
 〒261-7112 千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目6番地1
 TEL | 043-307-2828 FAX | 043-307-4848
 E-Mail | info@gakudan.org

Webサイトのご案内

社会福祉法人福祉楽団 コーポレートサイト
gakudan.org



新卒・第2新卒向け リクルートサイト
recruit.gakudan.org



OUR KIDS 基金
gakudan.org/our-kids



恋する豚研究所 ブランドサイト
koisurubuta.com



この冊子は、森林管理協議会 (Forest Stewardship Council®) が認証する適切に管理された森林からの原料を含むFSC®認証紙を使用しております。

» 2001 – NOW 25年目の福祉楽団

2001-



2003年「杜の家くもりもと」竣工式のひとつ

“ケアを科学する”基盤づくり

2001年「豊和会」として設立し、2003年に千葉県栗源町（現在の香取市）で「杜の家くもりもと」を開業。職員34名でスタートしました。最初の研修は“科学的介護”で、介護や看護の考え方の基盤をつくり、終末期ケアへの取り組みをはじめました。

2008-

多拠点経営のスタート

1法人1施設から脱却し、地域を越えた事業展開をすすめました。2008年に埼玉県八潮市で「杜の家やしお」を開業。施設を増やしても“事務局長”は増やさず、バックオフィスの合理化を意識して事業展開をしてきました。



2008年「杜の家やしお」

2012-



2012年「恋する豚研究所」

障害福祉へ領域を広げる

高齢福祉にとどまらず、障害福祉へと事業を展開し、地域を支える実践の幅を広げました。2012年に「恋する豚研究所」を開業し、実践を通じて、新しい障害者就労のあり方を提案しました。2018年には隣接地に「栗源第一薪炭供給所」を開業。農林業と福祉を結び、地域資源を活かした地域づくりを展開しました。

2017-

分野横断的な福祉実践

2017年に千葉県成田市で「杜の家なりた」を開業。高齢者だけでなく、障害、子どもなど複合的な事業を展開しました。2025年には千葉県習志野市に、児童養護施設を核とする複合型施設「実籾パークサイド」を開業。同時に、社会的養護の子どもを支援する「OUR KIDS基金」を創設しました。



2017年「杜の家なりた」

2026-



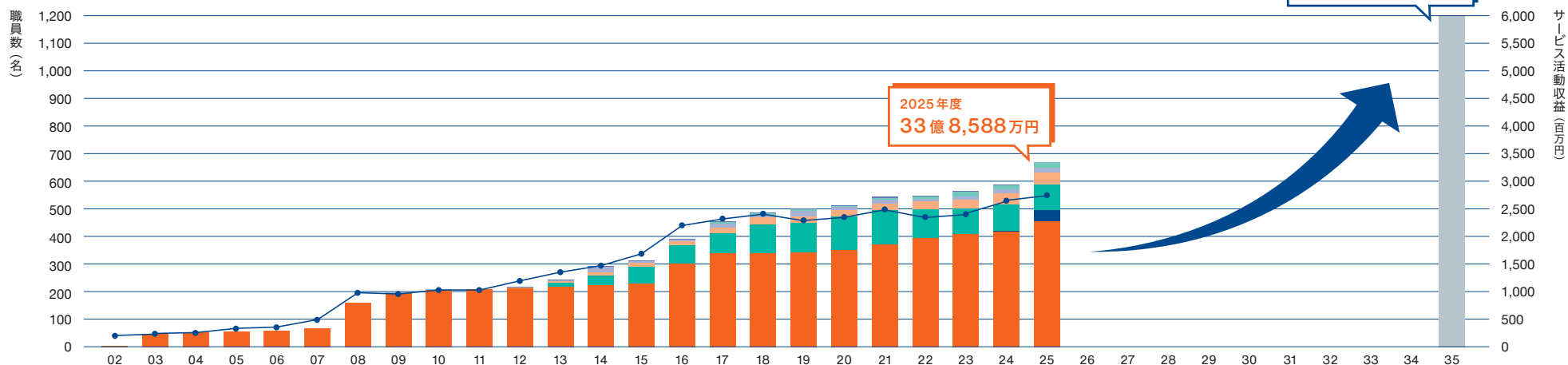
2025年「実籾パークサイド」

アクションを加速

さらなる成長とより良い地域社会を目指して、地域や企業との連携をすすめます。寄附者とのコミュニケーションのためにパートナーを配置し、解決したい社会課題を示し続け、具体的なアクションをさらに加速しています。

サービス活動収益と職員数

■ 介護保険事業収益 ■ 児童福祉事業収益 ■ 就労支援事業収益 ■ 障害福祉サービス等事業収益 ■ 公益事業収益 ■ その他の収益 ■ 経常経費寄附金収益 ● 職員数 ※ 2012年度から新会計基準



〈ひとりひとりの生活を整え、わくわくする組織と、地域社会の可能性を高める経営計画〉

1

生活を整える 専門家としてのケア実践

子ども、障害のある人、高齢者など、対象者の分野を問わず、人間一般として対象者の理解ができるよう思考の基盤をつくります。それらの基盤のうえで、生活過程や社会関係のその人らしさを見極め、その人の暮らし、より良い暮らしの実現のために創意工夫をもって、具体的なアクションを展開します。長期的な視点やその人の歴史を大切にし、ともに走る姿勢をもって関わります。福祉臨床における研究、学術連携、情報発信を積極的に行います。生活の質を高めるための福祉用具やICT機器の活用をすすめます。清掃やバックオフィスなど省力化できる部門は、構造化と機器の導入をすすめ大胆な構造改革を行い、直接ケアを手厚くできる体制をつくります。



- ① すべての拠点で「断らない」福祉実践
- ② 人体の構造と機能、生理学を根拠にしたケア実践
- ③ 新鮮な空気・陽光・身体や衣類の清潔・口腔ケア・清掃・食事の姿勢など基本的なケアの意味、根拠を理解して確実に実践する
- ④ 清掃やハウスキーピング業務の構造化、チェックリスト化、省力化
- ⑤ さらにおいしい食事の提供
- ⑥ その人の歴史（ライフストーリー）を聞き、その人らしい暮らしと人生を実現する
- ⑦ 長期的な視点で当事者と関係性を持ち、ともに走る支援の実践
- ⑧ 現場が楽しくなるICT機器と新しい介護機器の積極的な導入
- ⑨ 第三者評価の実施(入所施設は3年に1回受審するようにプログラムする)

2

地域社会の可能性を高め、 市民をエンパワメントするアプローチ

福祉を施設や専門家の領域にとどめるのではなく、家族や地域社会の力を高めていく取り組みを展開します。専門家がもっとも地域に出ていくことを前提とし、市民が福祉の知識を習得し、多様な人々に出会う機会を創出します。産業化や分業化の進展とともに小さくなりつつある人間本来の生きる力や、自立と自存のための活動としての福祉実践を、新しい時代に合わせて、個人と個人がつながるような新しいつながり方をつくりながら展開します。異なる集団や人々を橋渡ししていく役割を果たし、新しい公共をつくるために社会福祉法人のこれからの役割を具体的なアクションで実践し、提案していきます。



- ① 地域の人への挨拶や見知らぬ人への声かけ
- ② 施設のパートナーがもっと、地域に出ていく、会いに行く行動
- ③ 施設利用者の家族に向けた情報発信
- ④ WHOのノウハウを生かした市民や学生への体系的なトレーニング、講座の実施
- ⑤ 制度のスキマや、困っている人を掘り起こす実践
- ⑥ 地域の行事、文化的活動への参加
- ⑦ 多様な人々や様々な生きづらさを抱えた人がいることを前提としたローカルアクション

3

人の強みを生かし、 わくわくする組織をつくる

仕事の目的を共有し、より良いケア、より良い地域社会づくりに貢献できる組織づくりをすすめます。「誰が正しいか」ではなく「何が正しいか」を考え決定できるようにします。「若すぎる」や「経験がない」ことは関係なく、能力と実績のあるパートナーが仕事を楽しみ、より良い仕事ができるよう機会を創出します。パートナーの強みを生かすチームづくりをすすめるため、その強みを生かすためには、何を学び、どのようなコンピテンシーを身につけなければならないのかを考え、人材育成をすすめます。パートナーひとりひとりの創意工夫やアイデアを大切に、創造力を引き出します。パートナーは孤立しないように支援し、チームや地域とのつながりをつくります。パートナーの多様性を内包することで、変革をもたらす可能性となり、正しい意思決定を行うことができます。多様性があることを前提とした組織内のコミュニケーションや、相互理解の促進、能力開発の支援を行います。



- 1 強みを生かす人事、強みに焦点をあてた面談
- 2 大胆な抜擢、挑戦するパートナーを支援する
- 3 強みを生かした小さなチャレンジ、ミニプロジェクトの後押し
- 4 求められる基本的なスキルや、基本的なコンピテンシーが伝わるわかりやすい評価制度
- 5 多様なパートナー、多様な働き方を前提とした人事制度
- 6 様々な背景のあるパートナーの仕事をつくり、持てる力が最大に発揮できる環境づくり
- 7 「やさしい日本語」の普及
- 8 国際的な福祉実践をリアルに学び、ローカルな実践につなげる

4

DXの推進と 持続可能な経営基盤の確立

持続可能な経営のためには安定した経営基盤が必要です。財務の状況について明確な目標を定め、適切なモニタリングを実施し、即時に経営改善につなげます。経常増減差額比率は毎年5%以上を確保します。既存施設の修繕や改修については計画的にすすめるため、資産価値を減損させないように適切なメンテナンスを行います。経営の規模を活かし、調達原価の適正化を図るとともに、文書の電子化など、DXをさらに推進します。パートナーの業務負担の軽減、省力化のための投資を積極的に行います。自然環境への負荷を少なくし、地域経済が循環するような調達を行います。寄附による市民の経営参加や、寄附による福祉社会を提案し、マンスリー寄附者を増やします。自然災害や感染症のパンデミックなどに備え、一定のキャッシュポジションと資金調達余力を確保します。



- 1 経常増減差額比率は、毎年5%以上を確保する
- 2 2030年3月末時点のキャッシュポジションは6億円(積立金を除く)とする
- 3 EBITDA 有利子負債倍率は、2030年3月末時点で12倍以内とする
- 4 物価上昇への適切な対応、調達原価の最適化
- 5 既存施設の清掃、メンテナンスの適切な実施、計画的な修繕の実施
- 6 自然環境や地域経済に配慮した調達の実施
- 7 BCPの見直しと非常時を想定した訓練の定期的な実施
- 8 「スキマ基金」「OUR KIDS 基金」のマンスリー寄附者の拡大
- 9 2030年3月末時点でマンスリー寄附者500人を目指す
- 10 会計監査人の設置と、適正な監査実施体制の確立
- 11 ほかの社会福祉法人と「共同事務センター」創設の検討

※ 2035年に事業規模60億円を達成し、次世代の経営ボードメンバーへ移行



「社の家くりもと」の花壇で

おかげさまで25周年 激変する社会に向き合い、 福祉を変えていく

理事長 | 飯田大輔

福祉楽団は、今年で設立25周年を迎えました。みなさまのご支援があって、なんとか経営をつづけられてきました。あらためて深く感謝申し上げます。

目下の物価上昇や市場環境の痛烈な変化は、これまで経験したことがありません。大企業では、新卒初任給が軒並み上昇しています。日本の要介護高齢者は、年間5~15万人増えているのに、日本全国の介護職員は487人の増加にとどまります。家庭での養育が難しい子どもが保護される「一時保護所」は、東京近郊はいつも定員オーバーです。福祉施設の建設費は直近10年で約1.6倍になりましたが、福祉施設の補助金単価は変わりません。当然ながら福祉の“値段”は国の政策で決められていますから自由はききません。

こうした難しい状況にあっても、私たちは、創意工夫をもって、より楽しく、より良い福祉を追求します。いまあるものを組み合わせて工夫すれば、新しい価値をつくれる可能性があります。まだまだ、できることがあります。ケアを中心に事業が広がります。現場からの発信、提言を大切にします。立ち止まらず、挑戦しつづけることが福祉楽団の強みです。

さまざまな当事者も、従業員も、地域の人も、強みを引き出し、持てる力を活用して、共生できる地域社会を実現します。すべての人の可能性を広げる。そのためのアクションをつづけてまいります。今後とも変わらぬ応援をいただきたくお願い申し上げます。

1 〈パートナー（職員）の処遇改善〉

事業方針

物価高騰や賃金上昇が続く中において、良い介護、良い福祉を展開していくためには実践者であるパートナー（職員）の生活基盤を安定させ、処遇改善をすすめることが重要となります。国の処遇改善政策の動向や2027年度の介護報酬改定を見据えて同業他社に負けない、独自性のある処遇改善をすすめます。介護報酬等の改定による増収は、すべてパートナーの処遇改善に充てます。

- ① 基本給のベースアップ
- ② ユニットリーダー等、介護管理職の手当額の増加
- ③ 夜勤回数の適正化
- ④ 公休数を年間7日間増やす
- ⑤ 確定拠出年金の掛金の増加
- ⑥ 介護労働負荷の軽減／介護ICT機器の積極導入（眠りスキャン、パディコムの活用）／バックヤード業務の効率化（掃除ロボットの導入、配膳ロボの試験導入）
- ⑦ 「やさしい日本語」の普及
- ⑧ 健康経営の推進／健康経営優良法人の認証の取得

2026年度は、私たちは「パートナー（職員）の処遇改善」を最優先の方針として掲げました。これまでは毎年、「ケアの質の向上」を1番目に置いてきましたが、良いケアの実現のためには、今は、パートナーの処遇改善を最優先にすることが必要だと判断しました。

背景のひとつは急激なインフレです。現場の若いパートナーからも、卵や納豆といった食料品やガソリン代の値上がりに悩む声をよく聞きます。2026年6月から介護報酬が臨時でプラス改定されましたが、それ以上のインフレが続いていますので、実質はマ

5つの方針について
お伝えします



飯田 大輔

福祉楽団 理事長
介護福祉士、社会福祉士
1978年千葉県生まれ／入職25年目

IIDA Daisuke | 夜間の大学院で経営の勉強をはじめました（笑）
「なるほど!」の連続で、めちゃくちゃ感動しています。友達ができるかは心配です。東西線の電車の中で突然ひらめきます。

イナス改定と言えるでしょう。それでも介護報酬の改定によって、福祉楽団全体で約5,000万円の増収になりますので、この分は、すべてパートナーの処遇改善に充てることを約束します。処遇改善は、給与の増額だけにとどまらず、公休数を増やしたり、介護現場での労働負荷軽減のためにICT機器の活用もさらにすすめていきます。国全体では、要介護高齢者が年間5～15万人増えているなかで、介護職員は対前年で487人しか増えていません。生産年齢人口が減少しているとはいえ、なかなか厳しい状況です。福祉楽団では、まずは自社でできる処遇改善をしっかりと行い、業界での優位性をキープしたいと考えています。



ケアの現場では国籍や世代を問わず
さまざまなパートナーが協働している

パートナー数

548名

※2026年3月31日時点

職員を「パートナー」と呼ぶ理由

法人と職員は対等な関係です。職員は、同じ目的のために力を合わせる「協働者」であり、自身の技術や専門性を法人に提供するプロフェッショナルな存在でもあります。自立した個人が尊重し合い、良い福祉をめざして協働する姿勢をより明確にするため、福祉楽団では「パートナー」と呼びます。

2 < トレーニング機会の充実 >

事業方針

より良い福祉を提供し、介護の質を向上させるためには、パートナーの強みを最大に引き出す組織開発と、トレーニング(教育、訓練)の機会を充実させることが必要です。良いトレーニングは、パートナーの人材価値を高め、キャリアアップにもつながります。人事評価とフィードバックは、わかりやすさと納得感のあるものになるように改訂をすすめます。

- ① コンピテンシーを育てる実践的な研修の充実／リーダーシップ、マネジメントの研修の充実
- ② ケア原論、ケアの思考過程の講座を開設
- ③ 人事評価の方法の見直し
- ④ 外国籍パートナーの日本語能力試験「N2」取得支援
- ⑤ パートナーが安全に働けるための講習／ハラスメント対策／安全運転講習、労災防止、火災予防、避難訓練
- ⑥ 1on1と、雑談と相談の充実

福祉の実践は「人」です。それは、「人」は事業を行うための資本であることを意味します。パートナーひとりひとりが成長すれば、資本が増えていることを意味して強い経営につながります。リーダーシップやマネジメントなど「コンピテンシー」を鍛えていくこ

とは、良いチームをつくり、変化する事業環境への適応力へとつながります。若いときに、海外に行って、異文化を体験したり、多様な人に会いにいたり、そういう経験は、豊かなコンピテンシーを育みます。

また、仕事をするための具体的なスキルの習得も積極的に支援します。外国人パートナーに対しては、日本語能力試験「N2」を取得するように強く促し、手厚くサポートをしていきます。同時に、組織全体で、「やさしい日本語」を使う意識も必要でしょう。職場では、信頼



インド・ケララ州の緩和ケア病院で地域ケアを学ぶ

3 < 福祉実践力の向上 >

事業方針

その人らしい暮らしを実現し、もっと楽しい暮らしの実現のための取り組みをすすめます。各事業所や地域、現場での取り組みを大切にし、社会のニーズが高まっているトピックに向き合いながら、実践力を高めてまいります。

- ① 本人のライフストーリーについての記録を家族などとともに充実させ、個別支援計画に生かします。介護パートナーが利用者の自宅に訪問したり、家族と話す機会などを設け、ケアコラボのライフストーリーを充実させます。(昔の写真や語りを記録する)
- ② 本人や家族が終末期を理解する小冊子の制作
- ③ 高齢分野では、下剤に頼らない排せつ(食事の改善、プロバイオティクス)／食物繊維や生菌による腸内環境の改善
- ④ 子ども、障害分野では、学校や仕事といった社会活動の基盤となる生活基礎のアセスメント強化(食事、入浴、排せつ、身だしなみ)
- ⑤ 包括的性教育や「暮らしのルール」についてのワークショップ／年代や分野を問わず、性をタブーとせず、ワークショップなどを交えながら実践
- ⑥ 5Sの徹底(整理、整頓、清掃、清潔、習慣)／雑多になりがちなケア現場や、バックヤードの整理整頓、棚卸がしやすい物の配置

具体的には、介護記録ソフトの「ケアコラボ」にある「人生録」の情報を充実させたいと考えています。私たちがケアするのは、単なる「高齢者」とか「障害者」ではなく、かつて大恋愛をしたり、夢中で仕事に生きた人だったり、歴史をもって人生を生きている人です。リアルなその人の歴史を知ることは、ケアを

特養を訪れる入居者のご家族と地域のケアへ出かけていくパートナー



楽しくしてくれます。心や身体の仕組みに基づいたケアも大切です。生理学や解剖学、ケアの原形を学ぶ機会は継続してつっていきます。現場をみていると、整理整頓ができていないところがあるのが気になっています。「5S」をしっかりと行えるようにすることは業務改善の重要な第一歩です。

PLAN

4

〈DXの推進〉

事業方針

AIやICTを活用し、バックオフィスや間接業務の効率化を図ります。

- ① 棚卸しを簡単にするシステムの導入
- ② 常勤のすべてのパートナーにスマートフォンと法人クレジットカードを貸与する
- ③ 請求書等の電子化
- ④ 介護サービス等の電子契約に向けた準備
- ⑤ 人事就業管理システムの変更
- ⑥ 設備や建物の不具合を報告共有するシステムの導入検討
- ⑦ キントーン活用のための社内講座
- ⑧ AIを活用した業務効率化（電話記録、議事録、社内資料等）

いまのAIやICTの進歩は、仕事のあり方を根本から変える可能性があります。たとえば、勤務シフトの作成は過去に何度か自動化を試みましたが、介護現場の勤務体系が複雑すぎて、うまくいきませんでした。いまのAIのレベルをみると、いよいよ自動化できそうな気がしています。個別支援計画の立案にも活用できると思います。ケアの専門性は、「その人らしい暮らし」を考えることに集中できるかも知れません。掃除ロボットも活用できそうですし、調理場もクックチルや真空調理をもっと推進したいと思いません。献立のレシピが、全社的に共有できたら食事の質が上がりそうです。一方で、食事介助や入浴介助はロボットには置き換えできませんので、バックオフィスの合理化をして、フロントの仕事に資源を集中することが大切です。

5

〈バックオフィス・新事業推進〉

事業方針

バックオフィスは、人がやらなければならない業務、自社でやらなければならない価値向上が図れない業務に力を集中させます。法令の要請により新規で対応しなければならないタスクに適切に対応できるようにするとともに、長期を見据えて、安定的で創意工夫のある福祉実践をすすめてまいります。

- ① 採用力強化
- ② 建物の修繕の計画的実行
- ③ 介護報酬改定や子ども性暴力防止法など制度改正や新法への対応
- ④ 独立監査人の設置
- ⑤ ドナーリレーションシップ（寄附者との対話、広報）の充実、専任パートナーの配置
- ⑥ 社会福祉連携推進法人設立準備、共同事務センター設置に向けた課題整理
- ⑦ 新事業の着実な推進／香取市グループホームの開設、吉川特養の施設整備、香取市就労支援事業の施設整備
- ⑧ 10年後を見据えた経営体制やリスクマネジメントの検討

社会福祉法人は、株式会社と違って、債券や株式を使って資金を集めることができません。資金調達には、借入金か、寄附金のどちらかです。ですから、銀行や寄附者へは情報公開をしっかりと行って説明責任を果たすことが大切だと考えています。物価高騰の局面においては、いまの建物、資産をしっかりとメンテナンスして価値を維持できるようにすることが大切です。地域社会に埋もれている福祉ニーズを掘り起こし、持続可能な福祉事業をつくりだします。新しい事業にもしっかりと取り組み、未来に向かって挑戦をやめることはありません。



福祉のおもしろさを学生に体感してもらうプログラム「見学ツアー」を2025年度は29回開催した

GOOD CARE

良いケアとは、「自然の回復力を最大限に引き出し、持てる力を活用しながら生活を整えていくこと」です。介護、看護、保育も、生活を整えることが仕事の目的です。生活がととのうと心も、身体もととのいます。逆に生活が乱れば、心も身体も乱れてしまいます。私たちは生活に働きかけることで、心と身体を良くします。良いケアを実現するためには、心と身体の仕組みを知らなければなりません。生命の仕組みには個別性はありません。また、その人の歴史を知り、その人らしい暮らしを実現しなければなりません。人の生活は千差万別です。私たちは、ケアを科学し、創意工夫をもって、ケアを実践します。



「杜の家くりもと」の午後はカラオケで盛り上がる

2025 >> 2026 年度

科学的なケアをベースに、個別ケアをより深めていきます

福祉楽団では、これまでナイチンゲール看護論 (KOMI理論) をベースに、科学的根拠をもったケア実践を行ってきました。今年度は、ライフストーリーを含めたその人の背景をより知ること、その人らしい暮らしを実現していきま

す。また、2026年度は全職員へのスマホ貸与や自動シフト作成など、DX化をさらに進めます。間接業務にかかる時間を減らし、ケアワーカーがしっかりケアに時間を割ける体制を整えていきます。



石間 太郎

福祉楽団 理事
介護福祉士、社会福祉士、
介護支援専門員
1981年兵庫県生まれ/入職17年目

ISHIMA Taro | 趣味はスポーツ全般です。学生時代はバスケットで、今でもたまに子どもと一緒にやっています。休日は野球観戦をして過ごすことが多く、大の阪神タイガースファンです。

人が中心のケア

私たちは、「当事者のことは当事者に聞く」ことを大切に、人を中心に据えた個別ケアを実践します。“病気の人”や“障害のある人”としてではなく、“その人”として理解し、その人が歩んできた人生を踏まえながら、その人らしい暮らしの実現を目指します。事業拠点や施設は、当事者のための当事者の場所です。

DATA

サービス利用者数

延べ **230,671** 名/年

高齢者、障害のある人、子どもなどのすべてのサービスにおける、日付単位の延べ利用者数です。

施設での看取り割合

79.1 % (55名)

全国平均は12.2%

最期まで施設での生活が継続できるように支援し、終末期ケアに積極的に取り組んでいます。



ご家族向けに『終末期ケアを語る会』を開催しました

2025年11月に「杜の家なりた」で『終末期ケアを語る会』を開催しました。看取りを経験したご家族の話をお聴きした後、ご家族とパートナーで語り合いました。入居さんが元気なうちから最期の過ごし方を考えるきっかけをつくるのが目的です。実際の経験を聞くことで、看取りや施設で亡くなることへの理解が深まり、「前向きに考えられるようになった」という声も聞かれました。顔の見える関係で、今後もより良い選択につながる場にしていきます。

15名のご家族が参加して「死」を語り合う

人生録からその人らしさを見つけたい

福祉楽団では、入居者の日々の様子を「ケアコラボ」に記録しています。文字や写真・動画で記録し、食事量や睡眠時間、人生録も家族と共有できます。「実籾パークサイドテラス」の山本さんは、ご家族が記録した人生録から、入居前に華道の師範だったことがわかりました。山本さんの歩みを知ることによって、施設で生け花をお願いする機会が生まれています。「ケアコラボ」は家族とともに本人を理解し、本人を中心にしたケアにつながっています。

生け花の腕前は健在で、施設の暮らしに華を添えている



from PARTNER



伊藤 孝哲

杜の家やしお
訪問介護チームリーダー
介護福祉士

1989年台湾台北市生まれ/入職16年目

ITO Takaaki | 仕事で大切にしていることは、自分には「挑戦」を、チームには「成長できる環境」です。娘と息子の成長を見るのが楽しく、仕事の休憩中に写真を見て元気をもらっています。

ケアを通じてその人の生活の力を引き出す

訪問介護員として、日々の観察から、本人も気づいていないニーズを見つけることを大切にしています。「認知症を進行させたくない」と話された独居の利用者には、家事と一緒にやる支援を取り入れました。できることを少しずつ取り戻す姿から、ケアはその人の生活の力を引き出すことだと感じています。身体状況だけでなく住まいの環境にも目を向け、チームで気づきを共有しながら利用者の地域での暮らしを整えていきたいです。

生活を整える視点

私たちは、人間の生活を整えていくことをケアの基本に据えています。生物としての人間を理解し、自然の回復力を最大限に引き出しながら、水分補給や食事のあり方を考えます。生活を整えるという視点があれば、やるべきことがはっきりします。心を整えようとする、つかみどころがはっきりしませんが、生活を整える第一歩は、窓を開けて新鮮な空気にしようということがわかってきます。

POINT



ジャロジー窓

換気は重要です。空気を整え、利用者とパートナーの健康を守るため、ジャロジー窓を設置しています。



玄関は自由に出入りできます

その人の尊厳と自由な暮らしを守るため、玄関やエレベーターにカギはかかっていません。

TOPICS

結果にコミットした支援事例「みちザップ」

Aさんは、発達障害と自閉症があり、BMIが37以上と健康面に課題がありました。そこで始めたのが、食事改善を通じて生活を整える支援です。大切にしたのは、制限や指導ではなく、本人が納得しながら自分で食事を選べるようにすることでした。食事の記録やカロリーの見える化、栄養バランスを学ぶ工夫を重ね、楽しみながら小さな変化と一緒に喜びました。その積み重ねが食事や睡眠への意識、自信や作業効率の向上につながりました。日々の健康管理は単なるダイエットではなく、「動き続ける力」や「自立して生きる力」を育む支援だと感じています。



毎日の食事を記録して「見える化」した



良いケアの実践を共有する「ガクダンアワード」でこの取り組みを発表し、最優秀賞を受賞した西山みち子さん（栗源事業部 就労生活支援課 ケアサービスワーカー／看護師）



入居者の寝具は、すべて羽毛布団です

福祉楽団では、2003年に開設した「杜の家くりもと」から、高齢者や子ども、すべての入居者の寝具を羽毛布団にしています。より良い睡眠を確保するため、パートナーがさまざまな寝具で寝心地を試しました。良い睡眠が回復を促進し、生活を整える力になると考えています。

児童養護施設のベッドマットレスは高級ホテルと同じものを採用している

from PARTNER

林 有子



杜の家くりもと
看護師リーダー 兼 生活支援課課長
看護師

1975年千葉県生まれ／入職23年目

HAYASHI Yuko | 職場では冷静で穏やかと言われますが、実は少しおっちょこちょい。焦らないように心がけてます。健康第一で食べ物には気を遣います。おすすめは「発酵の里こうざき」の商品です。

こだわりをもってコツコツ続けることを大切にしています

生活を整えるとは、利用者の衣食住や清潔を一つひとつ整えること。こだわりをもって、コツコツ続けること。地味に見えて、人にとって一番大切な土台だと感じています。また、利用者の生活を整えるには、それに関わる私たち自身の健康も大切です。コーチングを学ぶ中で、パートナーの持てる力を見つけて伴走することの大切さに気付きました。多職種のチームで連携しながら、利用者の小さな変化を見逃さず、できることを増やしていきたいです。

ニーズを掘り起こす

私たちは、声なき声に耳を傾け、潜在化しているニーズを掘り起こします。中立性ととどまるのではなく、当事者の声の代弁と権利擁護を優先し、その人にとって本当に必要な支援を考えます。事業体制や経営判断においても、つねに人を中心に据えて行動します。見えやすい課題だけでなく、まだ表明されていない困りごとにも向き合います。

DATA

生活困窮等の相談件数

延べ **11,341** 件/年

相談件数 (生活困窮等以外)

延べ **8,645** 件/年

すべての拠点で、どのような相談もワンストップで受け付けています。

TOPICS

地域に出向かなければ、見えないニーズがあります

困難を抱える人ほど、自分から相談に行く力が弱まり、孤独や孤立が深まることがあります。だからこそ、こちらから生活の場や学校、地域へ出向くアウトリーチを大切にしています。香取CCCでは校内居場所づくりを継続し、教員から卒業後が心配な生徒の相談を受ける機会が増えました。圏域内の高校には出前授業を行い、他者との違いを考えるワークを通じて、自分自身を見つめ、相手を受け入れるきっかけをつくりました。



高校生136名に他者との違いを考えるワークショップを実施



障害のある人の住宅10室とパートナーの住宅2室がある

働く人の暮らしを支える住まいとしてグループホームを整備しました

「恋する豚研究所」で働く就労継続支援A型・B型の利用が増えるなか、日々の関わりから家庭環境や暮らしの課題が見えてきました。働く場に加え、住まいの支援が必要であることから、香取市沢に障害者グループホーム「沢アパートメント」を整備しました。障害のある人や若年刑余者など、働きづらさを抱える人が地域で暮らしながら就労できる拠点です。共同住宅ではなく戸建てのようなつくりとし、職員住宅も併設しています。

from PARTNER

保立 真人



香取CCC
副センター長
社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士
1981年千葉県生まれ/入職4年目(通算18年)

HOTATE Masato | 一度退職しましたが、「カムバックパスポート」で再入職しました。スニーカー収集やラーメン、怪談系YouTubeが好き。娘や息子と好きなものを語り合う時間に幸せを感じています。

“良き隣人”として関わることでニーズが見えます

10年以上ひきこもり生活が続いていた相談者とは、他の支援機関からの依頼で面談を始めました。多くを語らない方でしたが、将棋や運動、食事を共に重ねるなかで信頼関係が生まれ、好きな趣味を楽しそうに話す場も増えました。香取CCCと関わって一番変わったことは「会話の量が増えたこと」という本人の言葉から、ニーズは待つて見えるものではなく、良き隣人として長く関わるなかで掘り起こされるものだと実感しました。

創造的な実践

ケアは、新しい科学であり、新しいアートです。ケアの場面は、つねに一回きりのクリエイティブな実践です。専門的な知識と技術を土台にしながら、楽しい実践を考えます。私たちが目指すケアは、生産性の向上ではなく、知的な探求と楽しさの追求です。分野を超えた新しい構造を提案し、福祉の常識を変えていきます。

DATA

視察の受け入れ件数

延べ **863** 件／年

すべての拠点において、行政や民間企業による、私たちの取り組みへの視察を受け入れています。

子ども食堂の利用者数

延べ **8,111** 人／年

4つの拠点で実施し、地域の子どもやひとり親、ひとり暮らしの高齢者などの多世代が利用しています。

TOPICS



「みんなの自習室」や外出イベントを企画しました

「地域ケアそうか」では、地域の子どもたちの夏休み中に、「みんなの自習室」を9回開催し、延べ135名が参加しました。大学生のサポートで宿題に取り組んだり、昼食は地域の有志と子どもたちが一緒に調理をしたり。同じ食卓を囲むことで、子ども同士の交流も生まれました。子ども向けの体験型複合施設の外出も実施し、地域の人たちと協力しながら、子どもの「学習」「食」「体験」を地域全体で応援する土壌づくりに取り組みました。

体験型複合施設のアスレチックで元気にあそぶ

30年後の地域の景観をつくる道づくりをしています

「栗源第一薪炭供給所」では、30年後の地域の景観をつくるための『持続可能な森づくり』として、道づくりをすすめています。2025年度は「杜の家くりもと」裏の里山に、軽トラックが通れるほどの道をつくりました。良い樹を残し、枯れた樹を間伐しながら、計1,885mの道ができました。この道は森の維持管理だけでなく、「森の保育園」の遊び場として活用する予定です。今後も、森林資源を活かす取り組みを地域とともに続けていきます。

バックホーで森の中に道づくりをすすめている



from PARTNER



片山 侑香里

地域ケアそうか
相談員
社会福祉士、介護福祉士
1996年東京都生まれ／入職7年目

KATAYAMA Yukari | 仕事ではポジティブな側面を見失わないことを大切にしています。しっかり者に見られつつ、天然とか人間味があると言われる。川沿いの散歩と麻辣湯づくりが最近の癒しです。

“自分らしさ”が肯定される場をつくりたい

「みんなの食堂」は、お腹を満たすだけでなく、人の温かさに触れられる場だと考えています。ボランティアが足りないときには、必ず誰かが助けてくれました。その誰かは、子どもや障害のある人、生活に困りごとのある人など、地域の様々な人たちです。ケアされる側・する側を越えて、それぞれの持てる力が発揮できると感じています。多様な人との出会いのなかで、参加者が自分らしくいられることが肯定できる場をつくりたいです。

GOOD PARTNER

福祉楽団は、従業員の強みを生かし、自律を大切にします。人材は資本であり、財務諸表からは見えてきません。私たちは、従業員の価値、能力を最大にするため、業界でトップクラスのトレーニングプログラムを用意し、福利厚生を充実させます。福祉楽団と従業員は、良い福祉を実現し、私たちの事業を良くしていく協働者です。だから、福祉楽団では、従業員を“パートナー”と呼ぶことにしています。良い福祉を実現するためには、パートナーが健康で、いきいきと働けることが大切です。



「杜の家なりた」の朝の申し送り

2025 >> 2026 年度

福祉機器とDXを活かし、働きやすさと成長を支えていきます

2025年度は、特養3拠点に「眠りスキャン」や入浴リフトなどの福祉機器を導入し、身体的負担の軽減と労働環境の向上を図りました。研修では振り返りを重ね、パートナーの課題とニーズに応じた育成に取り組みました。2026年

度は、さらなる福祉機器・ICT機器の導入に加え、送迎配車やシフト作成の自動化、動画マニュアルによる業務標準化を進めます。外国籍パートナーの育成にも力を入れ、誰もが働きやすく成長できる環境を整えていきます。



安部 明子

福祉楽団 理事
杜の家なりた 事業部長
介護福祉士、精神保健福祉士、保育士
1975年東京都生まれ/入職19年目

ABE Akiko | 外国籍のパートナーが多くなってきたことや、海外からの視察が増えてきていることから、英語や韓国語を学びたいと思い、少しずつ勉強をはじめました。

GOOD PARTNER

福利厚生と 最大限の分配

私たちは、良い福祉を実現するためには、パートナーが健康でいきいきと働けることが大切だと考えています。給与の引き上げや福利厚生の充実に取り組み、安心して働き続けられる環境をつくりまします。ライフステージに合わせた働き方を実現し、人が中心のしくみをつくりまします。福祉楽団の成長とともに、パートナーも成長できるように最大限の分配を行います。

DATA

年間休日総数

123 日

リフレッシュ休暇

▶ 取得率

97.1 %

▶ 最長連休日数

33 日

年次有給休暇
取得率

77.4 %

全国平均は68.4%

TOPICS

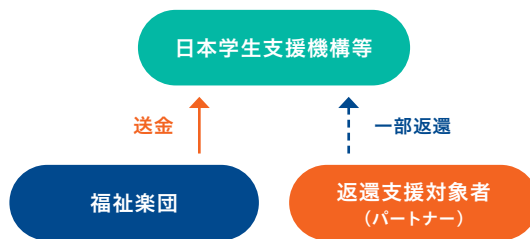
福利厚生でNetflixが見られます

パートナーが休日などに自宅で映画やドラマを楽しむことができるように、Netflixを法人で契約し、パートナーにアカウントを提供しています。映画やドラマを見始めると、ついつい止まらなくなってしまうそうですが、暮らしの豊かさにつながるはずですよ。

「杜の家やしお」の杉谷さん、
いまは学園モノの『小市民シリーズ』にはまっている



福祉楽団 → 日本学生支援機構等への直接送金が可能



奨学金を受けていたパートナーに対し、福祉楽団が機構等に直接送金して支援する

安心して働き続けるための 奨学金代理返還支援制度

千葉県・埼玉県の社会福祉法人として初めて、日本学生支援機構の「奨学金代理返還制度」を導入しました。対象は日本学生支援機構に限らず、返還義務のある各種奨学金です。新規学卒者を主な対象に、5年勤務で最大100万円、10年勤務でさらに最大100万円、合計最大200万円を法人が代理返還します。奨学金返還の負担が、能力開発やキャリア形成の妨げとならないよう創設した制度です。引き続き、パートナーが安心して働ける環境づくりを進めます。

from PARTNER



原田 貴征

コーポレート統括部
総務部 部長
社会福祉士
1978年茨城県生まれ/入職16年目

HARADA Takayuki | 大切にしていることは「なんでも楽しむ」こと。生活ではルーティーンを重視し、ランニングとお笑いでも人生を調えています。人の挑戦や人のやる気を後押しする仕事が好きです。

パートナーの働きがいとケアの質の向上につながります

良い福祉を実現するには、パートナーが健康で、いきいきと働けることが欠かせません。給与や福利厚生は単なる待遇ではなく、ケアの質を向上させる重要な投資です。休みやすい職場風土を守り、余暇の充実や安心感を高めることなどが、働きやすさや働きがいにつながります。そしてパートナーの強みを生かし、自律して働ける環境を整えることが、私たちの最大限の分配であり、選ばれる組織であり続けるための土台だと考えています。

GOOD PARTNER

トレーニングと能力開発

私たちは、パートナーのキャリア開発を最優先事項の一つと位置づけています。包括的な研修やOJTを通じて、専門性だけでなく、本質的な思考や行動の特性であるコアコンピテンシーの獲得を支援します。成長する意欲を大切にし、“やる気”を全力で支えます。表層的な技術にとどまらず、長期的な視点で成長を支えていきます。

DATA

研修費総額

3,704 万円/年

業務に必要なスキルの研修のほか、コンピテンシー（行動や思考の特性）の研修も充実させています。

職員能力開発支援金の支給状況

▶ 貸付金額 **1,084 万円/年**

▶ 貸付人数 **64 名**

TOPICS



企画は先輩パートナーが行いともに成長する機会になった

アウトドア施設で 2年目研修を開催しました

入職2年目のパートナーを対象に、「リソルの森」で1泊2日の集合研修を開催しました。理事長からのエールに始まり、仲間との対話や焚火を囲む時間を通じて、お互いの理解を深めました。2日目には「福祉楽団の木」をつくるワークを実施。私たちは多様であること、それでもケアへの思いには通じ合う部分があることを確認しました。自然の中で仲間存在を確かめ、明日から各拠点で働く力を育む機会となりました。

職員能力開発支援金制度で MBA取得を支援しています

2025年度は、コーポレート統括部の向後仁志さんが、明治大学大学院でMBA（経営学修士）を修了しました。会計や組織論などの学びを、よりよい経営につなげられることを期待しています。福祉楽団では、資格取得などの費用を最大100万円まで貸与し、資格取得後3年間勤務すると返済免除となる「職員能力開発支援金制度」があります。パートナーの学びを全力で支援します。



2年間の勉強で印象的な講義は、企業倫理のなかで、経営の不確実性とリスクを考えたこと

ネ
FL
恋す

from PARTNER



宮内 勝利

実務パークサイド
テラス部 ケアサービスワーカー
介護職員初任者研修修了
2001年千葉県生まれ/入職2年目

MIYUUCHI Masatoshi | 仕事のモットーは「人にやさしく、自分にもやさしく」。チームのメンバーからは、よく笑うまじめな性格と言われます。豆から挽くコーヒーがぼくのこだわりで、筋トレも好き。

2年目のぼくが役員と一緒にいったインドでの研修

インド研修では、言葉や衛生面への不安を抱えながら参加しました。ケララではケアを地域全体で担う姿を見て、介護は特別なことではなく、生活の延長なのだ実感しました。現地の中学生が「少しのお金でも大きな効果を生むことができる」と言っていたのも印象的でした。役員と共に研修に参加したことで仕事を広い視点で捉えることができるようになったので、今後は、地域との連携の必要性についてチーム内で共有していきたいです。

居場所を 感じられる環境

私たちは、パートナーの強みを生かし、“できること”に着目して組織をつくります。多様な背景をもつ一人ひとりを尊重し、互いに理解しながら働ける環境を整えることで、福祉楽団チームの一員であることを実感できる職場を目指します。協働者として支え合い、パートナーそれぞれの人生の充実感につながるような取り組みをすすめます。

DATA

外国籍の
パートナー
(割合)

71 名 (13.0%)

障害のある
パートナー
(割合)

22 名 (4.0%)

65歳以上の
パートナー
(割合)

53 名 (9.7%)

TOPICS

多様であることは組織の力です

社会には多様な人がいます。福祉楽団でも多様性があることを大事にしています。組織の中に、多様性を内包していることは、社会の変化に対応しやすくなり、新たな価値を創造する基盤となります。2025年度は、LGBTQ+の理解増進の研修を実施しているほか、外国籍パートナーを含む「リーダー候補者向け研修」を開催し、「やさしい日本語」でのコミュニケーションや、多様な人で成り立つチームのマネジメントを学ぶ機会をつくっています。



リーダー候補研修は外国籍パートナー7名を含む計10名が参加した



全拠点から集まる契約書の電子化をすすめている

障害のある人の雇用を広げています

福祉楽団は、障害のある人も、ない人も、その人の持っている力を活かして働ける環境づくりをすすめています。コーポレート統括部で入社7年目の佐藤竜平さんは、うまく耳が聞こえにくいこともありますが、備品管理や、契約書の電子化などをすすめています。また、持ち味の元気で、来客対応をしていますので、オフィスに来たことがある人は分かるはず。これからも、法人全体で強みを活かした組織づくりをすすめます。

from PARTNER

アンニサ サキナ



コーポレート統括部
採用・育成課
1994年インドネシアジャカルタ生まれ
入社3年目

ANNISA SAKINA | コミュニケーションを大切にしていますが、「天然」や「声がうるさい」と言われます(笑)。休日はヒトカラで嵐やKing Gnuをよく歌います! 推しのライブ観戦や旅行も好きです。

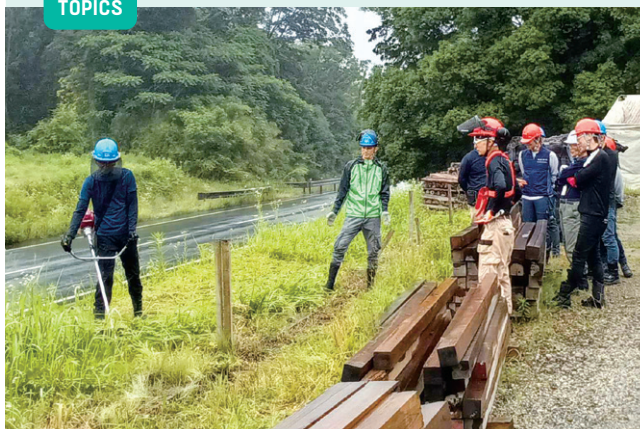
福祉楽団で初! インド国籍のパートナーが入职

2025年度は計8名のインド国籍のパートナーを初めて迎えました。現地を訪れ、文化の違いや生活環境を知ることから始めました。入社後はチューター・メンター制度、定期的な面談で仕事と暮らしを支えています。「やさしい日本語」や翻訳ツールを使うだけでなく、食や音楽など互いの文化を知り合う場をつくることで、安心して相談でき、居場所を感じられる職場にしています。今では、それぞれの個性を活かしてケアの現場で活躍しています。

安全と衛生

私たちは、労働安全をすべてに優先し、労働災害ゼロを目指します。安全が第一、効率は第二です。安全で衛生的な環境を整えることは、パートナーが安心して働き続けるためにも、利用者に良いケアを提供するためにも欠かせません。事故をなくし安全な職場づくりを、日々の実践の土台として大切にします。仕組みと意識の両面から、安全で衛生的な環境を維持していきます。

TOPICS



草刈り機の安全講習を実施しました

回転工具での事故を防ぐため、全拠点の管理職向けに「刈払機安全衛生講習」を実施しました。草刈り機は、身近な道具ですが、使い方を誤ると重大な事故につながります。機械の構造や安全防護具、使い方などを実技と座学で7時間学びました。25名の管理職が、労働安全衛生法に定める安全教育を修了しました。

「栗源第一薪炭供給所」で開催された講習

無線アプリを活用し、より安全に作業できる環境づくりをすすめています

福祉楽団の施設では、スマートフォンとつなげて、一斉同報できる無線アプリ「バディコム」を活用しています。2025年度からは、介護現場だけでなく、農林事業課でも導入し、耳をふさがないイヤホンと組み合わせ、情報共有しやすい環境をつくっています。緊急時のヘルプが呼びやすくなるほか、大声で呼びかけたりすることもなくなり、労働負荷が軽減しています。

耳をふさがず、長時間でも蒸れにくく快適という声が多い



DATA

ワクチン接種の補助総額

5,002,210 円/年

B型肝炎、BCG、MMR、ムンプス、水痘のワクチンなどを、パートナーの費用負担ゼロで接種できます。

from PARTNER

安部 明子



福祉楽団 理事
 杜の家なりた 事業部長
 介護福祉士、精神保健福祉士、保育士
 1975年東京都生まれ/入職19年目

ABE Akiko | 国内、海外問わず旅行が好きです。最近は近場への旅行が多かったので、今年は少し遠く離れた地域に旅行したいと思っています。

パートナーの安全が利用者の安心を守ります

安全に働ける環境を整えることは、パートナーだけでなく、利用者の安全や安心にもつながります。2025年度の車両事故や労災からは、安全に配慮した業務の仕組み化と教育の必要性を痛感しました。日々の小さな違和感やヒヤリハットを見逃さず、チームや上長へタイムリーに共有することが大切です。些細なことでも声を上げる風土をつくり、拠点を越えて、事故予防と再発防止につなげていきたいです。

働く人の健康を全力で支える

パートナーの感染症対策や健康管理のため、東京や千葉でクリニックを展開する「東京ビジネスクリニック」と連携契約を結び、医療福祉職に必要なB型肝炎やMMRといったワクチンを法人の全額負担で接種できる体制の整備や、雇入れ時健康診断等の一元化を行いました。同クリニックの看護師・龍崎華奈さんにお話を伺いました。(以下、敬称略)

| 福祉における先進的な感染症対策

向後 福祉施設で働く人の感染症対策の重要性や、今回の連携について、どのように思われていますか？

龍崎 福祉施設は、高齢者や基礎疾患のある利用者様が多く、感染症が重症化しやすい環境です。職員一人の罹患が施設内へ広がり、サービス提供や運営全体に影響する危険性もあります。感染した後に対応するのではなく、感染を「持ち込まない、広げない」という予防の意識と実践が極めて重要です。全職員が法人の全額負担でワクチンを受けられる体制がある法人は非常にめずらしくて、医療従事者から見ても先進的で素晴らしい取り組みです。福祉現場職員のワクチン接種は、人手不足や日々の業務負担から個人任せになりがちで、ワクチンの価格も年々高騰しているため、業務に必要なものとして法人の全額負担で接種できるのはとても良いことだと思います。

向後 インドやフィリピンなどでの海外研修も行いますが、渡航前のワクチン接種も法人が全額負担します。

龍崎 海外展開している企業の事例はありますが、福祉法人の取り組みとしてはまず聞いたことがないですね。海

外では感染症や衛生環境が日本とは異なるので、事前の対策が重要です。感染すれば本人の健康だけでなく施設の業務停止といった事態も招きかねないため、法人のリスクマネジメントとしては適切だと思います。当クリニックではCDC(アメリカ疾病予防管理センター)のガイドラインを基準に、渡航先や活動内容に合わせて最適なワクチンを推奨しています。2025年度、海外渡航される福祉楽団の職員の方々にはA型肝炎、狂犬病、破傷風などのワクチン接種を行いました。

| 福祉だからこそ「健康経営」強化へ

向後 雇入れ時の健康診断は、以前は入職者それぞれがバラバラの医療機関で受診していたため、法人側の事務負担や、検査方法のばらつきによる確認の難しさがありました。今回、一元化を実施し、全パートナーが貴クリニックで同じ検査を受けられるようになったことで、事務の効率化や検査結果の信頼性向上につながりました。事務的なやりとりのなかでお気づきの点はありますか？

龍崎 健診に必要な職員情報の事前共有や、予約手続き、受診結果の書類作成といった事務面での連携がとてもうまくいっていると感じています。当クリニックの各現場でも、貴法人用に構築された共通フローがあるため、いつでもスムーズに対応できています。

向後 このような一元化は、「健康経営」という視点で見ると法人にどのようなメリットがあるのでしょうか？

龍崎 まず、職員の受診漏れを防ぎ、組織全体で健康管理の質を安定して高めることができます。個々人の健康意

話し手

りゅうざき かな
龍崎 華奈 さん



東京ビジネスクリニック
看護師責任者・営業担当
MARU by Tokyo Business Clinic
ペリエ千葉エキナカ 勤務

聞き手

こうご
向後 仁志



コーポレート統括部 部長

識の向上や早期受診にもつながるので、欠勤リスクの軽減や業務の安定化が期待できます。「健康経営」は、働く人の健康を守ることが法人の安定や利益につながるという考え方ですから、バックオフィスと医療機関が連携し、福祉現場で働く方々が健康で長く働ける環境をつくることは、利用者様への安定した質の高いサービス提供に直結します。

向後 まだまだ課題も多くあります。感染症対策ではワクチン接種後に抗体が定着したかどうかの追跡・把握まではフォローしきれていませんし、メンタルヘルス面のサポートももっと拡充していかなければなりません。

龍崎 確かにワクチンは「打って終わり」ではないので、接種後の抗体検査まで支援できる体制があるとよいですね。同時に、職員の方々の感染症に関する知識を深める継続的な教育も大切です。勉強会等の企画もお手伝いできますので、いつでもお声かけください。また働く人の健康支援としては、メンタルヘルスや生活習慣病などへの予防医療を日常的に取り入れることも重要になります。

向後 ありがとうございます。パートナーが、身体的な健康だけでなくメンタル面も含めてベストな状態で働ける環境をつくっていくため、引き続きご協力をよろしくお願いします。



東京ビジネスクリニック

東京、上野、千葉などビジネス拠点の主要駅周辺に展開し、年中無休で夜9時まで総合診療を行う。外国語にも対応。

www.businessclinic.tokyo

GOOD COMMUNITY

福祉楽団は、地域住民とともに活動し、地域社会を大切にします。コミュニティが持っている力を引き出し、地域住民と一緒に、地域課題の解決のために行動します。すべてのプログラムは、信頼をベースに設計し、すべての事業拠点は、コミュニティ活動の拠点です。



「地域ケアよしかわ」で週2回開催している「みんなの食堂」
子どもや高齢者、ひとり親家庭などだれでも無料でごはんが食べられる

2025 >> 2026 年度

拠点をひらき、地域に出向き、可能性を広げます

2025年度は、ほぼすべての拠点で「みんなの食堂」や「ごはんの日」を運営し、地域向けの勉強会の開催や、祭りや清掃など地域活動に参加しています。各拠点が地域に出向き、地域にひらく実践を重ねました。2026年度もそれらを継続

し、インドで実践されているWHOのノウハウを活かした市民・学生向けの体系的なトレーニングにも取り組みます。異なる集団や人々を橋渡しし、地域社会の可能性を広げていくとともに、潜在的な福祉ニーズへアプローチしていきます。



八木 亜希子

福祉楽団 理事
実叡パークサイド 事業部長
社会福祉士、精神保健福祉士、
介護福祉士
1978年新潟県生まれ/入職18年目

YAGI Akiko | インドでのハンカチマジックで「楽しい」は世界共通と確信！大学院で矯正施設等出所者の地域生活とソーシャルワーカーの関与をテーマに研究中です。

地域に根ざした 福祉拠点

福祉施設は、つねに地域に対して開く姿勢をもって活動します。細胞がソトとのやりとりをせずに閉じたら死んでしまうように、福祉施設も閉じてしまったら独特の価値観が形成されて、深刻な虐待が起きることもあります。専門職は、専門性に閉じることなく、地域に出て、まちを歩き、地域住民と対話します。その地域の行事や、風習、文化を大切に、人口減少のなかでも地域の文化が継承される取り組みをすすめます。

DATA

ご家族交流会等の実施回数

15

 回/年

- ご家族と大掃除&交流会
- 終末期ケアを語る会
- グループホーム運営推進会議
- 語らいcafe など

ご家族との交流や対話は、利用者本人の暮らしを、家族と拠点が一緒に支えるための大切な機会です。日々の様子やケアの方針、最期の過ごし方を共有することで、本人を中心とした支援を深めるとともに、地域に開かれた福祉拠点づくりにつなげています。

TOPICS

「無料学習支援」で地域の子どもに勉強を教えています

さまざまな理由で塾に通うことが難しい子どもに向けて、「杜の家やしお」では無料学習支援を行っています。2025年度は、30回ほど実施しました。小学3年生のケースでは、マンツーマンで学ぶ時間を重ねました。家庭ではなかなか落ち着いて勉強することが難しいなか、ここでは本人のペースで机に向かえる場となっています。好きな国語だけでなく、苦手な算数にも取り組む姿が見られるようになりました。今後、さらに対象者を広げていきたいです。

無料学習支援は毎週水曜日に開催している



キントーンバスケットコートをきっかけに関係性が生まれています

「実籾パークサイド」のキントーンバスケットコートには、近隣の子どもたちや実籾高校の学生、隣町のバス部が朝練に利用するなど、日常的に地域の人たちが訪れています。フェンスや塀を設けず、気軽に立ち寄れる福祉拠点を目指したことが、自然な交流につながっています。雪の日の翌日には、実籾高校の学生が自主的に敷地内の雪かきに来てくれるなど、遊びをきっかけに、世代や立場を越えて支え合う関係も生まれています。



毎日多くの若者でにぎわう

from PARTNER



阿部 恵祐

杜の家やしお 施設福祉サービス部 部長
社会福祉士、介護支援専門員、
介護職員初任者研修修了
1991年埼玉県生まれ/入職12年目

ABE Keisuke | ご本人とご家族が後悔しない選択ができるような支援を大切にしています。休日は子どもと公園でラジコンをしたり映画を見たり。毎朝のコーヒーは欠かせません。

地域のセーフティーネットとしての役割を特養で担う

「杜の家」では、特養やショートステイの入居相談だけでなく、行き場を失った人の一時的な避難場所としての相談も増えています。「自立準備ホーム」で受け入れた人との関わりは印象に残っています。障害の理解や伴走する支援の不足について考えさせられました。地域にひらいた施設だからこそ、「こんな時どうしたらいいの?」という小さな困りごとを受け止め、制度だけではすぐに行き場をつくれぬ人のセーフティーネットであり続けます。

人道と正義

私たちは、経済的利益よりも正義と人道を大切にします。法律や制度、地域の習慣、利用者や行政からの求めであっても、人権を侵害するものや正義に反するものには躊躇なく、福祉楽団としての意見を表明します。公正な取引を行い、正義と人道が実現されるよう勇気をもって行動します。その姿勢を、事業活動の判断基準として守り続けます。

DATA

施設内虐待の通報件数

2 件/年

身体拘束の件数

2 件/年

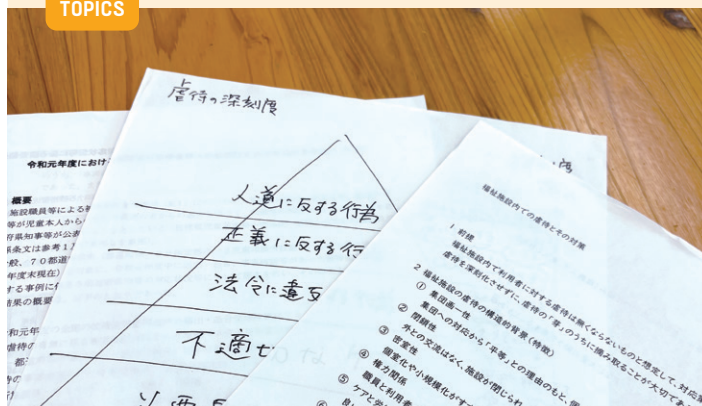
介護・医療現場では、状況に応じてやむを得ず、身体拘束を実施する可能性があります。「やむを得ない状況にあたるか」の妥当な判断基準は、「切迫性」「非代替性」「一時性」の三原則をすべて満たしているかどうかです。

捜査機関への対応件数

2 件/年

原則としてご本人の同意がない限り、第三者に個人情報を提供することはありません。ポリシーに沿って厳格に判断し、必要な範囲に限定して、情報開示を行う場合があります。

TOPICS



研修資料は、過去の虐待事例の新聞記事や調査報告書が事例として使われた

管理職向けに「虐待防止研修」を開催しました

2025年6月に実籾パークサイドで発生した施設内虐待を受けて、管理職向けの「虐待防止研修」を実施しました。講師は理事長の飯田が行い、過去の福祉施設内虐待事例を図書館にこもって調べ、その事例の共有と、虐待が常態化しないためにはどうすれば良いかを考える機会をつくりました。人が行う仕事である以上、虐待案件が起きることはあると考えますが、それを深刻化させず、施設内の「常識」をつくらないために、つねに施設のソトの世界、地域、企業、市民と一緒に考えることや、さまざまな取り組みをすすめていくことが大切です。虐待防止研修は継続して実施していきます。

from PARTNER



久古 浩孝

実籾パークサイド
副施設長
介護福祉士、介護支援専門員
1980年千葉県生まれ/入職23年目

KYUKO Hirotaka | 副施設長として、草刈りや窓ふきなど基本なんでもやります(笑)「とりあえずやってみる」の精神を大切にしています。休日の洗車が好きです。気分がすっきりしますね。

子どもが、匿名で弁護士に相談できるハガキをつくりました

誰に相談していいかわからない困りごとや、身近な人には言い出しにくいことを、匿名で弁護士に直接相談できる仕組みとして、ハガキをつくりました。人目につきにくく、こっそり手に取れることは、声をあげにくい人にとって大きな安心になります。福祉の現場で人権や正義を守るために大切なのは、誠実であること、うそをつかないこと、謙虚であること。小さな声を見逃さず、正直者であり続ける組織でありたいです。

利用者の生命とプライバシーを守るポリシーを定めています

捜査機関からの照会があったときの対応について「捜査機関への情報提供に関する対応ポリシー」、輸血などの医療行為への拒否があった場合などの「医療行為に関する対応ポリシー」、写真や動画撮影などを適切に行うための「業務における写真及び動画の取り扱いに関するガイドライン」など、判断基準や手順を明確にしています。人道と正義に立ち返って考えられる人と組織をつくります。



「捜査機関への情報提供に関する対応ポリシー」は福祉楽団のコーポレートサイトでご覧いただけます



地域経済循環

私たちは、地域における経済循環を意識し、ローカルな調達を行います。事業活動が環境への負荷を最小限にできる方法を考え、資源を有効に活用します。福祉の実践を通じて、地域と環境の持続可能性の両方を支えていきます。地域の一員として求められる活動にも積極的に取り組み、持続可能な地域社会に貢献していくことを大切にします。

DATA

おむつ

1人あたり **244** 枚/年

リハビリパンツ

1人あたり **253** 枚/年

尿とりパッド

1人あたり **1,243** 枚/年

排せつケアの方法は、ご利用者の心身の状況を適切にアセスメントし、最適な方法を考えます。トイレでの排せつが可能な人は、トイレに行くことが基本です。一方で、「紙おむつ」が あることで、安心した社会生活ができる人がいることも事実です。

TOPICS



農場のエサ工場には、大量のパンの耳がいつもある

食品廃棄物から豚を育てる 「食品リサイクルループ」をつくっています

食品工場や、スーパーマーケットから出る食品の廃棄物を回収してエサをつくり、それで豚を育てて、豚肉をスーパーマーケットで販売する取り組みをすすめています。たとえば、サンドイッチをつくる工場からは大量のパンの耳が“おいしい廃棄物”としてでできます。スーパーマーケットの「マックスバリュ関東」と連携して、店舗で出た食品廃棄物を回収する仕組みもつくりました。そうした食品廃棄物を独自の技術で発酵させて、エサを製造します。それが、「恋する豚研究所」の美味しさの技術です。環境にも、味にも、お腹にもGOODなエコな取り組みをすすめます。



お米や野菜や燃料はなるべく地元で調達しています

「杜の家くりもと」と「杜の家なりた」は地元のJAから、地元で収穫されたお米を購入して使っています。車のガソリンも、なるべく地元の商店で入れるようになっています。「恋する豚研究所」で使われる野菜は、すべて近所の農家から仕入れています。こうした小さな取り組みと、つながりが地域経済のためには大切だと考えています。顔が見える経済は、地域の良さの再発見にもつながりますし、災害時の助け合いも生まれやすくなると思います。

地元の農家さんが届けてくれる野菜で「恋する豚研究所」は経営できている



from PARTNER



佐藤 智行

栗源事業部
事業部長
調理師

1978年宮城県生まれ/入職14年目

SATO Tomoyuki | 第一印象は怖いと言われますが、実は人見知りなだけ。打ち解けると話しやすいですよ(笑)。「恋する豚研究所」の味や接客、イベントなどのすべてで、ブランドを大切にしています。

地域の経済循環を「恋する豚研究所」から考えます

自社製品だけでなく地元の商品を扱うことは、まだ表に出ていない地域の資源を知ってもらい、地域経済を動かすきっかけになると感じています。陶芸工房との陶器市や野菜の詰め放題イベントでは、生産者も一緒に楽しみながら協力してくれました。コメ不足の時に多古米の新米をSNSで発信すると取材につながり、その魅力を多くの人に届けられました。これからも地域の事業者と連携し、商品開発やイベントを通じて、また訪れたい地域にしていきたいです。

GOOD GOVERNANCE

福祉楽団の良いケア、良い人材育成、良い地域活動は、良いガバナンスから生まれます。業務は属人化させず、意思決定のプロセスを明確にし、責任の所在を明らかにします。社外からの視点やモニタリングを大切に、客観的な視点や意見からの提案がなされるプロセスを構築します。すべての会議体において、議論を大切に、透明性の高い経営を実践します。



馬場 拓也
社外理事

馬上 丈司
社外理事

星川 望
監事

DISCUSSION 社外役員座談会

理事会がはじまる少し前、福祉楽団法人本部オフィスで

福祉楽団、外から見るとどうですか？

「正直な」理事会

馬場 馬上さんは理事に就任されて約1年が経ちますが、福祉楽団の理事会をどう見えていますか？

馬上 とにかく議題の量と、物事が動くスピードに驚きました。毎月の経営数字や予算といった大きな話から、事故報告や懲戒処分、新施設の開設準備、現場の研修報告や細かな規則改正にいたるまで、毎回30件ほどの議題が目まぐるしく展開しています。外からは見えにくいですが、多様で凄まじい量の議題がテーブルに上がり、議論が重ねられていますね。

星川 理事会というのは、法律でも「法人の経営が正しく行われているか厳しくチェックする場所」と決められています。福祉楽団ではしっかり機能していますが、ただ審議の場にはいつも独特の緊張感がありますね。理事長・飯田さんの要求水準がかなり高いですし、私たち外部からも、内部統制やガバナンス体制について厳しく注意させてもらうこともあります。

馬場 2025年度は15回の理事会が開催されましたが、これほどの回数や議題量で行っている社会福祉法人はかなり少ないはずです。理由は、社会福祉法人としての透明性を徹底的に担保しようとしているからで、都合

の悪いことでも隠さずすべてテーブルの上に載せる、とても「正直な」理事会ですよ。

馬上 確かに、広報物等で外から見るときれいな部分が目立ちますが、実際に入ってみると、ちゃんとドロドロした議題というか、泥臭いトラブルや現実的な課題に日々向き合っている。それがそのまま議題になるというのは、組織としてすごく健全だと感じます。

星川 また、中で働いている人たちだけで物事を決めていくと、どうしても視野が狭くなって「内輪の当たり前」に縛られてしまうことがある。そこに私たち外部の人間が、普段の仕事の感覚から「それってちょっとおかしくな

い?」と素朴な疑問をぶつけて、きちんと答えてもらう。そのやり取りがあるからこそ、世間の常識からズレない、オープンな経営ができています。

「止まらない」法人

馬場 一方で、国に守られている側面が強い福祉の世界にあって、当たり前を飛び越えて、どんどん新しい風を吹き込んでいる。普通の福祉法人ならやらないような取り組みを事業として成立させる強さもあります。

馬上 行政にもただ従うのではなく、「現場と徹底して向き合っている自分たちの確信」を根拠に、おかしなルールには対等な姿勢でものを言っていく。現場のリアルをぶつけて議論する姿はチャレンジングですごく面白いですね。

星川 とにかく止まらない法人です。普通なら資金や人的リソースを理由に「一旦ここでやめておこう」と立ち止まりそうな局面でも、社会的養護や刑余者の受け入れなど、社会課題の解決に向けてガンガン攻め続ける。そのスピード感に、役員やパートナーが必死で食らいつこうと前向きにコミットする。地域も巻き込んで、土地の取得や許認可の難しい事業でも次々と実現していけるのは、たんなるトップダ

ウンではなく、一人ひとりが自身の精一杯をちゃんとやっているからこそで、本当にすごいなと思っています。

馬場 そういうチャレンジを積み重ねてい

よいよ売上30億円を超える規模まで拡大したわけですが、大きくなったことで、組織として果たさなければいけない説明責任やルールもこの10年で一気に重くなりました。そうした「大企業が陥りがちなプロセスの複雑さ」を乗り越えなければならないフェーズに直面しているように感じます。

超えるべき課題、これからの挑戦

馬上 組織が拡大するほど、権限を任せられる人材の層をさらに厚くすることが不可欠です。私の会社では20代後半の取締役を登用したことで、若い世代が安心して働けたり、コミュニケーションが取りやすくなったりしました。そうした世代を経営層に巻き込むくらいの若返りや割り切りがあってもいいかもしれませんね。

星川 サッカーでいえば、今はまだ、理事長の飯田さんがフォワードからディフェンスまで担当して全部チェックしているような状態です。現場の「プレイヤー」から一歩退いて全体を俯瞰する「監督」のような立ち位置になるべき時期に来ていますし、そういう仕組みをつくっていく必要があります。

馬場 トップの飯田さんがまだまだ尖ってますから、もう少し丸くなくてもいいかもしれない(笑)。役員やパートナーがさらに自ら考えて自ら動けるようになれば、組織全体としてより安定感も増すはずですよ。

星川 少し大きな視点でいうと、福祉楽団がこれまで構築してきた組織運営や先進的なシステムを、これからは法人の中だけで完結させるのではなく、社会福祉連携推進法人などの制度を活かして主幹事役を担ったり、「福祉楽団メソッド」を同業他社にシェアして業界全体の経営効率を高めていくような、業界をリードする役割を発揮していける段階にも来ていると思います。

馬場 さらに期待したいのは、福祉楽団で素晴らしいスキルやマインドを身につけた人材が、どんどん社会へ輩出されていくことですね。すでに役員会の中でも話題になることもありますが、福祉の世界にとどまらず、農業や教育、家庭支援など幅広いジャンルにそのマインドが散っていくと楽しそうですね。

馬上 社会課題が解決されるスピードも幅も格段に上がると思います。30年後、50年後もそのマインドが生きて社会にインパクトを与え続けている、そんな未来を目指して、次のステージへ突き進んでほしいですね。



馬場 拓也

福祉楽団 理事(社外・非常勤)
社会福祉法人愛川舜寿会 理事長
1976年神奈川県生まれ/
理事在任9年

BABA Takuya | 福祉と地域、建築をつなぎ、制度の枠を超えた共生社会を目指す。地域共生文化拠点「春日台センターセンター」などを経営し、介護・保育・障害福祉を横断する実践を重ねる。



馬上 文司

福祉楽団 理事(社外・非常勤)
千葉エコ・エネルギー株式会社
取締役会長
1983年千葉県生まれ/理事在任1年

MAGAMI Takeshi | 地方自治体における再生可能エネルギー政策の研究で、日本初の公共学の博士号を授与。農業と再生可能エネルギーの共創を目指す営農型太陽光発電の普及に取り組んでいる。



星川 望

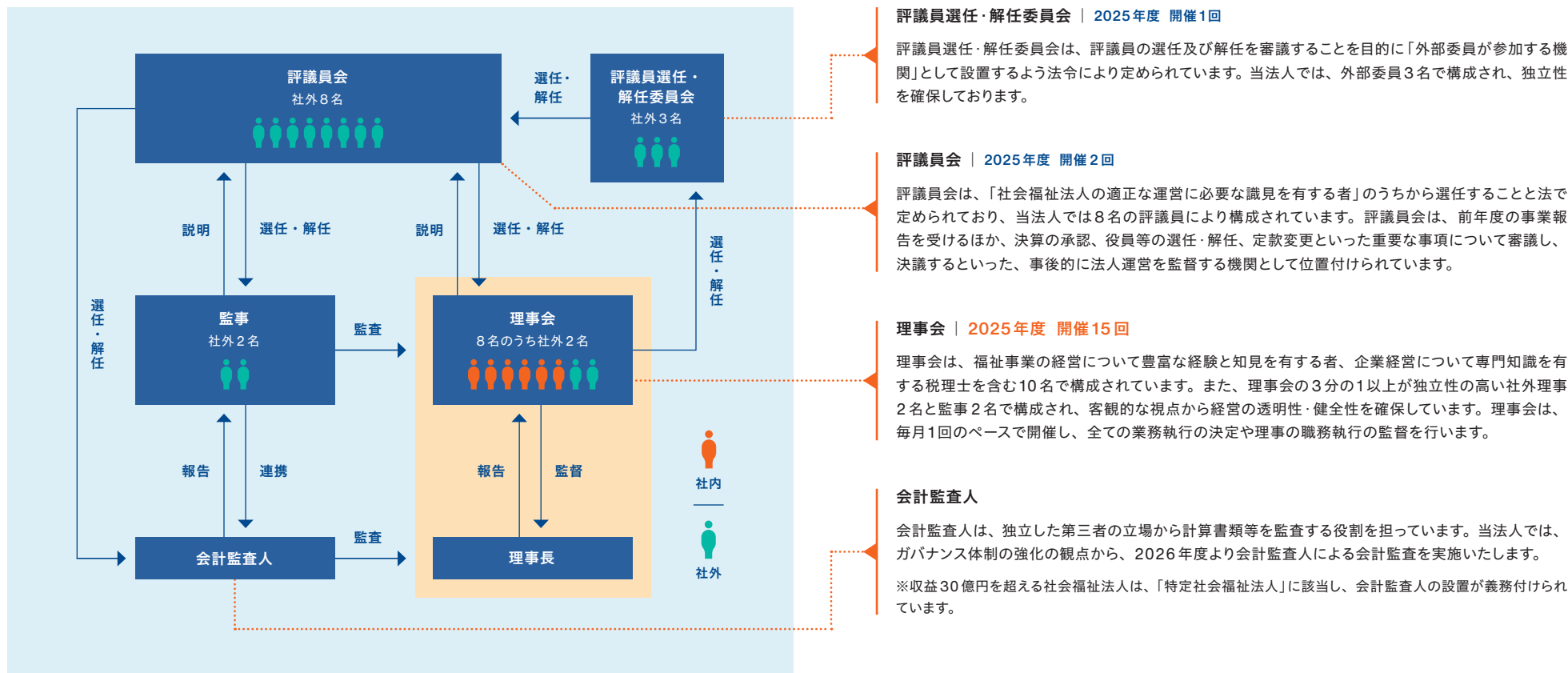
福祉楽団 監事(非常勤)
税理士法人HOP 税理士
1982年神奈川県生まれ/
監事在任9年

HOSHIKAWA Nozomu | 中小企業の経営支援や上場企業オーナーの資産管理を中心とした税務会計サービスを提供。税理士の枠を超えて、クライアントに前のめりに関わる姿勢をモットーとする。

■ コーポレート・ガバナンスの基本的な考え方

当法人は、持続的な成長と事業活動の社会的価値の向上を重要な価値としております。その実現のためには、ご利用者、取引先、地域社会、パートナーなどと良好な関係を築くとともに、最善の福祉実践をしていくことが重要と考え、コーポレート・ガバナンスの充実に取り組んでいます。

■ コーポレート・ガバナンス体制



■ 役員報酬

理事および監事の報酬は、2017年3月23日の評議員会で制定した役員等報酬規程に基づき、理事会および監事の協議を経て、2026年6月14日の定時評議員会で決議されています。

区分	人数	報酬等の総額	内訳		
			基本報酬	職制上の給与	法人貸与の車両
理事(社内)	6名	7,770万円	4,016万円	3,754万円	4台
理事(社外)	2名	182万円	182万円	—	—
監事	2名	196万円	196万円	—	—
合計	10名	8,148万円	4,394万円	3,754万円	4台



理事長

い い だ い だ い す け
飯田 大輔
(48)

理事会出席回数：15/15 (100%)
理事在任年数：14年
役員報酬：有 職制上の給与：有
略歴：
2001年 当法人 入職
2003年 社の家くりもと事業部
生活相談員
2008年 社の家やしお事業部長・理事
2012年 常務理事
2017年 理事長 (現任)
兼職 (社外)：(株)恋する豚研究所
代表取締役、(株)日本農林耕社 代
表取締役、(福)愛川舜寿会 理事



理事

あ べ あ き こ
安部 明子
(50)

理事会出席回数：15/15 (100%)
理事在任年数：8年
役員報酬：有 職制上の給与：有
略歴：
2008年 当法人 入職
社の家やしお事業部
介護職員
2016年 社の家やしお事業部長
2018年 理事 (現任)
2020年 社の家なりた事業部長
(現任)
兼職 (社外)：無



理事

い し ま た ろ う
石間 太郎
(45)

理事会出席回数：15/15 (100%)
理事在任年数：9年
役員報酬：有 職制上の給与：有
略歴：
2009年 当法人 入職
社の家やしお事業部
介護職員
2015年 地域ケアよしかわ事業部長
2017年 理事 (現任)
2020年 社の家やしお事業部長
兼職 (社外)：無



理事

い わ た な お き
岩田 直樹
(43)

理事会出席回数：15/15 (100%)
理事在任年数：9年
役員報酬：有 職制上の給与：有
略歴：
2014年 当法人 入職
総務部 職員
2016年 経理部長
2017年 理事 (現任)
2022年 コーポレート統括部長
2024年 財務経理部長 (現任)
兼職 (社外)：ケアコラボ (株) 取締役



理事

に し も と と も ち か
西本 知也
(41)

理事会出席回数：13/13 (100%)
理事在任年数：1年
役員報酬：有 職制上の給与：有
略歴：
2017年 当法人 入職
新事業推進部長 (現任)
2025年 理事 (現任)
兼職 (社外)：無



理事

や ぎ あ き こ
八木 亜希子
(47)

理事会出席回数：13/13 (100%)
理事在任年数：1年
役員報酬：有 職制上の給与：有
略歴：
2009年 当法人 入職
社の家くりもと事業部
生活相談員
2014年 社の家くりもと事業部
相談援助課長
2017年 香取CCC事業部長
2025年 理事 (現任)
実習パークサイド事業部長
(現任)
兼職 (社外)：(一社)千葉県社会
福祉士会 理事



理事 (社外・非常勤)

ば ば た く や
馬場 拓也
(50)

理事会出席回数：15/15 (100%)
理事在任年数：9年
役員報酬：有 職制上の給与：無
略歴：
1998年 ギャップジャパン (株) 入社
2001年 ジョルジオアルマーニ
ジャパン (株) 入社
2010年 (福)愛川舜寿会 入職
2016年 同法人 常務理事
2017年 当法人 理事 (現任)
2023年 (福)愛川舜寿会 理事長
(現任)
兼職 (社外)：(福)ゆうゆう監事、
ケアコラボ (株) 取締役、(一社)日
本医療福祉建築協会 理事



理事 (社外・非常勤)

ま が み た け し
馬上 丈司
(42)

理事会出席回数：13/13 (100%)
理事在任年数：1年
役員報酬：有 職制上の給与：無
略歴：
2012年 千葉エコ・エネルギー (株)
代表取締役
2014年 八千代市環境審議会委員 (現任)
2020年 (一社)日本PVプランナー協会
専務理事 (現任)
2023年 (国研)国立環境研究所
客員研究員 (現任)
2025年 当法人 理事 (現任)
2026年 千葉エコ・エネルギー (株)
取締役会長 (現任)
兼職 (社外)：(株)ONE DROP FARM
監査役、(株)つなぐファーム 監査役、
脱炭素スマート農地研究機構 理事



監事 (非常勤)

く し だ た す く
榎田 啓
(44)

理事会出席回数：14/15 (93%)
監事任在年数：3年
役員報酬：有 職制上の給与：無
略歴：
2006年 (福)慈愛会 入職
2010年 (福)みねやま福祉会 入職
2015年 同法人 児童養護施設
てらす峰夢 施設長
2023年 同法人 常務理事
2023年 当法人 監事 (現任)
2025年 (福)みねやま福祉会
理事長 (現任)
兼職 (社外)：(特非)スマホ里親
ドットネット 理事長、同志社大学
嘱託講師



監事 (非常勤)

ほ し か わ の ぞ び
星川 望
(43)

理事会出席回数：15/15 (100%)
監事任在年数：3年
役員報酬：有 職制上の給与：無
略歴：
2007年 税理士法人HOP 入所
(現任)
2009年 税理士登録
2010年 行政書士登録
2017年 当法人 監事 (現任)
2022年 行政書士法人HOP
設立 代表
兼職 (社外)：(一社)成長企業研
究会 理事、慶應義塾大学 非常勤
講師

■ 理事会の
スキルマトリックス

福祉楽団の持続的成長
を実現する観点から、
役員にとって重要と考
えられる専門性・経験
分野について、6つのス
キルに定義しています。

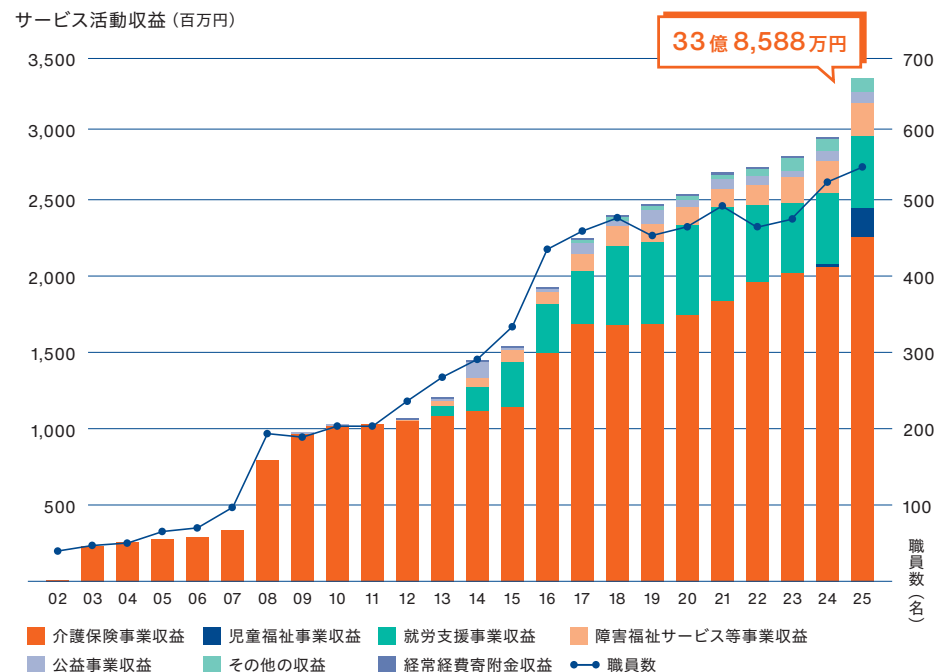
氏名	地位	企業 経営	安全・ CS	人事・ 組織	財務・会計 ガバナンス	事業 変革	ICT・ DX
飯田 大輔	理事長	●		●		●	
安部 明子	理事		●	●	●		
石間 太郎	理事		●	●		●	
岩田 直樹	理事			●	●		●
西本 知也	理事	●		●		●	
八木 亜希子	理事		●	●		●	
馬場 拓也	社外理事	●		●			●
馬上 丈司	社外理事	●			●	●	
榎田 啓	監事		●	●			
星川 望	監事				●	●	

FINANCIAL HIGHLIGHTS 財務ハイライト

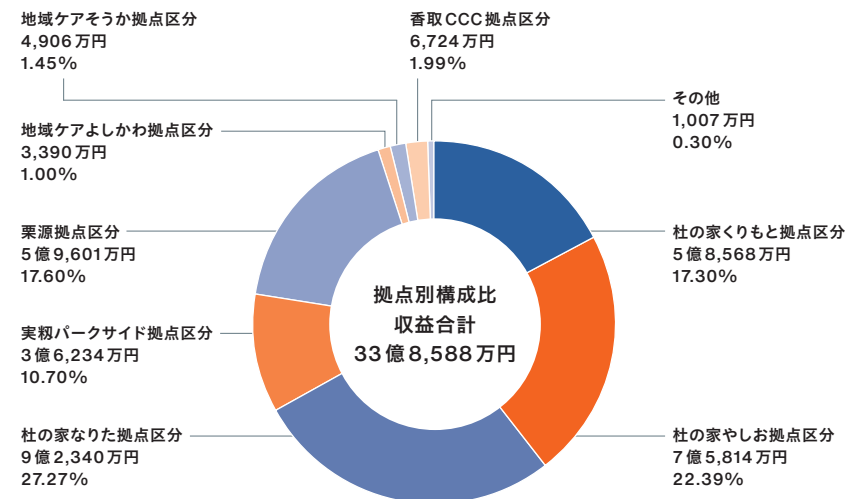
- ▶ サービス活動収益(売上高)は、実叡パークサイドの開設により、前期比16.00%増の33億8,588万円となりました。
- ▶ 実叡パークサイド拠点区分は、▲9,177万円の赤字となりました。
- ▶ 「杜の家」3拠点区分は、いずれも増収増益を達成し、法人全体のサービス活動増減差額(営業利益)は、前期比106.37%増の1億3,323万円となりました。
- ▶ 栗源拠点区分は、「恋する豚研究所」の卸売販売が低迷した一方で、食堂来客数が前期比7.50%増となり、増収増益となりました。
- ▶ 法人本部であるコーポレート統括部は、採用部門を強化したほか、新事業推進のために経費が増加しました。

サービス活動収益と職員数

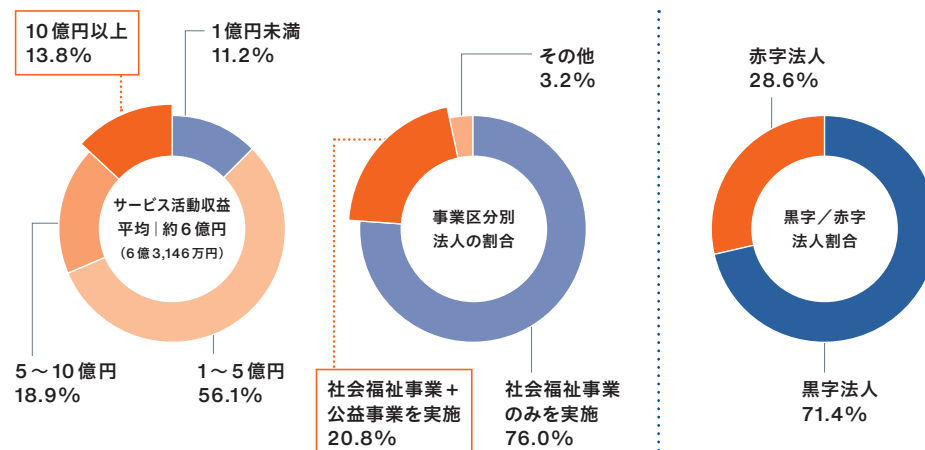
※2012年度から新会計基準



収益内訳



全国の社会福祉法人の統計



「社会福祉法人の現況報告書等の集約結果(2025年度版)」(WAM NET)
n=20,757法人

「2024年度社会福祉法人の経営状況について」(独立行政法人福祉医療機構) n=7,274法人

当会計年度における国内経済は、最低賃金の上昇など、雇用や所得環境の改善は進んでいますが、それを上回る物価上昇が継続しており、家計は圧迫され、消費者マインドは弱含みの傾向となっております。こうした家計の状況においては、介護費用も負担感が強くなっていると思われるほか、生活に困窮する世帯の増加も懸念されます。今後も、原材料の高騰や労務費の上昇が続くことに加えて、円安によって食料品や介護用品の価格が上昇することが懸念されます。

介護の公定価格である介護報酬は、2026年度に+2.03%の臨時的改定が行われることとなっておりますが、賃金や物価の上昇率を考えますと実質の報酬減が続く状態となっております。日銀の利上げに伴い、金融機関の金利も上昇しており、政府系金融機関である福祉医療機構の施設整備資金等に対する貸付金利は、2025年4月時点は2.50%（当初10年固定）でしたが、2026年3月時点では、3.20%（当初10年固定）となっております。金利負担も大きくなってきております。

福祉事業は、人材の確保が必須であり、生産性向上や業務効率化を進めたとしても、介護や看護、保育のフロントスタッフや相談員を削減することは困難です。今後も、ICTの活用や、バックオフィスの効率化はすすめても、人材の採用、育成、定着は重要な経営課題であると認識しております。当会計年度は、実叆パークサイド拠点の開設がありましたので、離職率は高くなっていますが、大規模拠点の開設時は、これまでも離職率が高くなる傾向にあり、仕事や理念の共有段階においては、必要なプロセスであると理解しております。引き続き、優秀な人材を採

用し、独自の教育、研修を実施し、同業他社に負けない優良な質の福祉事業を展開してまいります。バックオフィスや間接業務については、AIやICT機器の活用、産業用ロボットの導入の余地がありますので、積極的に導入し、業務効率化を図り、費用の抑制に取り組んでまいります。

このような状況のなか、福祉楽団では、2025年度をスタートとする中期経営計画を策定しており、「ひとりひとりの生活を整え、わくわくする組織と、地域社会の可能性を高める」をスローガンに掲げて、持続的な成長と、ケアの質の向上と独自性の確立に取り組んでいます。すべての拠点で、終末期ケアの質の向上に取り組んでいるほか、「眠りスキャン」や「パディコム」などの導入をすすめています。そもそも、福祉施設は利用者のものであることを認識するとともに、地域に開かれた施設のあり方を考え、活動を展開しており、利用者のご家族や、地域の学生、地域住民のための福祉やケアの講座も展開しております。パートナー（職員）の評価制度はシンプルで納得感のあるものに改善し、強みを生かす組織開発をすすめています。将来の見通しをもって、バックオフィスの機能の見直しや、DXの推進をすすめているところです。

児童養護施設の初年度は▲5,671万円の赤字

当会計年度においては、2025年3月に開設した、児童養護施設等からなる「実叆パークサイド」が、実質的には初年度の決算となりました。実叆パークサイドの介護保険事業は想定どおりの推移となりましたが、児童養護施設については、▲5,671万円の赤字となり、非常に厳しい決算となりました。児童養護施設は、公益性の極めて

高い社会福祉施設であり、少子化や子育て支援という国の政策のなかでも非常に重要な位置づけとなる施設、拠点です。しかしながら、これだけの赤字を認容できる法人しか開設できないという現実には、行政や政策サイドの不行き届きを強く感じざるをえません。社会的養護の子どもを支援する目的で立ち上げた「OUR KIDS基金」は、こうした赤字補填に使われることはありませんが、多くの人からのご寄附をいただけていることは、フロントスタッフや事業経営の心の支えとなっているところです。

介護事業は堅調に推移し、 パートナーの処遇改善をすすめる

介護事業は、堅調に推移し、特別養護老人ホームの3つの拠点は、いずれも増収増益となりました。介護職員等の処遇改善は引き続き、積極的にすすめており、フルタイム勤務者の2022年の年間給与を100とした場合、2025年は114.61となっております。賃金の改善のほか、動画配信サービスNetflixを無料で見られるようにするなどの福利厚生を充実させました。経費は、事業費、事務費ともに上昇しており、経費率は21.56%となっております。

これらの結果、当会計年度におけるサービス活動収益（事業売上）は、33億8,588万円（前年同期比16.00%増）となり、サービス活動増減差額（営業利益）は、1億3,323万円（前年同期比106.37%増）、経常増減差額（経常利益）は、1億1,553万円、当期活動増減差額（当期純利益）は1億3,544万円（前年同期比▲27.27%）となりました。

1

実籾パークサイドの事業安定化

実籾パークサイドは、新しい社会的養護のあり方を社会に提示する拠点であり、児童養護施設と高齢者グループホーム、看護小規模多機能型居宅介護、在宅診療所など分野を超えた機能があつまっている事業拠点です。事業開始から1年が経過し、ケアや生活支援の環境や体制は整いつつありますので、行政と連携し、早期に黒字化できるよう改善をすすめます。

2

ユニットリーダーの育成

日本国内の生産年齢人口が減少していくなかで、介護人材の確保は、今後さらに厳しくなっていくものと見込まれます。人材の採用、定着、育成が、ケアの質を確保するためにも重要となります。介護人材が多様化していくなかでは、介護の最前線をマネジメントするユニットリーダーなどフロントマネジメントの役割は、ますます重要性を増しており、メリハリのある処遇改善をすすめるとともに、マネジメント能力向上のための研修機会をつくってまいります。職場におけるコミュニケーションの継続的な見直しをすすめてまいります。

3

恋する豚研究所の営業力強化

コストプッシュ型のインフレの継続や、スーパーマーケットの業態変化や小型化にともなって、豚肉、畜肉加工品の競争環境はさらに厳しくなっていくことが見通されます。営業体制をさらに強化し、攻めの姿勢で取り組んでまいります。福祉楽団の強みである障害者雇用の支援と、豚肉の販売を組み合わせた新しい豚肉供給や販売方法について検討をすすめ、流通業や食肉サプライヤーに提案をしております。国内のハム、ソーセージの市場が低調となっているなかで、特色ある商品を提案し、競争優位性の確立を目指してまいります。

4

コーポレート統括部のマネジメント力向上

バックオフィスのマネジメントがうまく機能せず、機会損失や、業務コストの増大につながってしまう例が多くなっており、徹底的なコスト意識と事業拠点への貢献の意識をもって、管理体制の改善をすすめてまいります。AI活用、デジタル化を推進し、ワークフローの改善、役割や機能の再編、システムの見直しをすすめ、スケールメリットがはっきりと認識できるようにコーポレート統括部の改革を行います。

5

物価上昇への対応

食料品や介護用品、消耗品などの値上げが続いていますので、調達の一元化をさらにすすめるとともに、商品選定基準の見直しなどをすすめてまいります。また、福祉施設の建設費は、10年前と比較すると約1.6倍となっており、新規の施設整備や、大規模修繕の計画が思うようにすすまない状況となっております。激変する事業環境を見極めて、戦略的に調達と投資を行ってまいります。

6

次代の核となる事業への投資

2025年度から5年間（2025年4月～2030年3月）を対象とした中期経営計画「ひとりひとりの生活を整え、わくわくする組織と、地域社会の可能性を高める経営計画」を着実に実行します。中期経営計画にあるとおり、経常増減差額比率を、毎年5%以上確保できるよう事業をすすめてまいります。新規の施設整備を着実にすすめるとともに、寄附者とのコミュニケーションを強化し、地域に必要な福祉が安定的に推進できるように取り組んでまいります。

» LOCATIONS AND DEPARTMENTS 福祉楽団の拠点・部門



実籾パークサイド 千葉県習志野市

超複合型の地域拠点

児童養護施設／一時保護所／子どもショートステイ／児童家庭支援センター／看護小規模多機能型居宅介護／認知症グループホーム



地域ケアよしかわ

琦玉市吉川市

団地×福祉で地域に密着

訪問介護・居宅介護／居宅介護支援・相談支援／みんなの食堂



杜の家なりた 千葉県成田市

大規模多機能型福祉拠点

特別養護老人ホーム／共生型ショートステイ／共生型デイサービス・日中一時支援／訪問介護・居宅介護／居宅介護支援・相談支援／放課後等デイサービス／就労継続支援B型／企業主導型保育事業



香取CCC

千葉県香取市

会いにいき伴走する相談機関

千葉県中核地域生活支援センター事業／千葉県生活困窮者自立相談支援事業／千葉県就労準備支援事業／千葉県家計改善支援事業／香取市生活困窮者等自立支援事業／居住支援事業／学習支援事業



杜の家くりもと 千葉県香取市

福祉楽団の原点

特別養護老人ホーム／共生型ショートステイ／認知症グループホーム／共生型デイサービス／訪問介護・居宅介護／居宅介護支援・相談支援／企業主導型保育事業／配食サービス／福祉有償運送／認知症カフェ運営事業



杜の家やしお 琦玉市八潮市

個室ユニット型特養の先駆け

特別養護老人ホーム／ショートステイ／訪問介護・居宅介護／居宅介護支援・相談支援／企業主導型保育事業／配食サービス／学習支援事業／だれでも食堂

地域ケアそうか

琦玉市草加市

なんでも相談×訪問介護

重層的支援体制整備事業における参加支援事業・地域づくり事業／訪問介護・居宅介護／居宅介護支援・相談支援／子育て世帯訪問支援事業／みんなの食堂



法人本部

新事業推進部・コーポレート統括部

千葉県千葉市

現場を支えるバックオフィス



栗源第一薪炭供給所

千葉県香取市

農林業×福祉の最前線

就労継続支援B型／認知症デイサービス



恋する豚研究所 千葉県香取市

農業×福祉×クリエイティビティ

就労継続支援多機能型（A型・B型）／相談支援／生活困窮者認定就労訓練／障害者グループホーム



東京駅



成田空港

杜の家くりもと



福祉楽団の原点

特別養護老人ホーム/共生型ショートステイ/認知症グループホーム/共生型デイサービス/訪問介護・居宅介護/居宅介護支援・相談支援/企業主導型保育事業/配食サービス/福祉有償運送/認知症カフェ運営事業

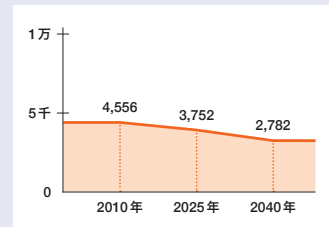


杜の家くりもと事業部 事業部長
西山 啓介

千葉県香取市栗源地区

※2010年及び2025年の人口は「国勢調査」（総務省統計局）を参照した。2040年の人口は「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）を参照し、香取市全体の比率を用いた推計値とした。カッコ内（%）は人口に占める割合。65歳以上は高齢化率。

● 人口の推移（人）



● 人口 | 3,752人

● 65歳以上人口 | 1,441人* (38.4%)

● 生産年齢人口 | 1,992人* (53.1%)

● 年少人口 | 308人* (8.2%)

* 香取市全体の比率（%）を用いた推計値

千葉県香取市の栗源地区は、サツマイモの一大産地として全国的に知られ、豊かな里山と田舎の原風景が残る農業地域です。香取市には「佐原」「小見川」「山田」「栗源」の4地区がありますが、その中で最も人口減少のスピードが速いのが栗源地区と予測されています。ひとり暮らしの高齢者が増えているほか、買い物や移動の手段が年々課題になっています。

地域の声から「買い物バス」を運行しています

地域の人から「買い物に行く手段がなくて困っている」という声を受け、2025年7月から週1回、無料で隣町のスーパーまで送迎する「買い物バス」を始めました。開始当初は利用がない日もありましたが、今では1回平均2～3名が利用し、地域の方の暮らしを支える身近で大切な足として少しずつ定着してきました。これからも必要とする人に届くよう、運行を続けていきます。

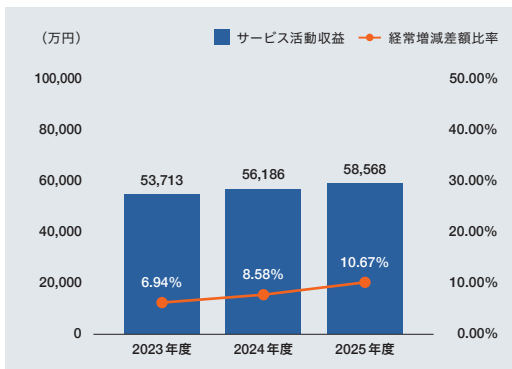


役所や病院、隣町のスーパーなどに無料で送迎する

2025年度 事業報告

増収増益

アウトリーチと地域活動の展開、 断らない相談支援体制づくり



当拠点区分のサービス活動収益（売上高）は、5億8,568万円（前期比4.24%増）、経常増減差額は、6,251万円（前期比29.72%増）となりました。特別養護老人ホームとショートステイ等のベッドの稼働率は、101.33%（前期101.21%）で堅調に推移し、通所介護も営業活動が奏功し、利用者を伸ばし、定員35名で稼働率は63.03%（前期57.90%）となりました。一方、訪問介護は、ニーズがあるものの人材が確保できず減収、通所介護についても、人材が確保できれば伸びる余地がまだあったと見込まれています。お出かけ

支援サービス「杜バス」は運行形態を工夫するなどして回数はやや増え、お食事配達サービス「杜ごはん」は、戦略が描けておらず、食数を減らしました。保育所は、地域枠の利用が増えたことで増収となっています。

杜の家くりもとは、人口減少地域にあり、複合的な福祉ニーズにワンストップで対応できるような、相談員やケアマネジャーを育成していくことが拠点全体の事業を安定させることにつながります。

2026年度 事業計画

- 日々のケア実践を見直し、“根拠あるケア”を実践できるようにします。
- 「くりもと」での22年の経験を、「くりもと」で暮らす方たちに還元し、より良い地域づくりに貢献します。
- ケアの創造力（ひらめき・アイデア）を高め、自分たちで多様な意見を出し合えるようにパートナーを育成していきます。

杜の家やしお



個室ユニット型特養の先駆け

特別養護老人ホーム/ショートステイ/訪問介護・居宅介護/居宅介護支援・相談支援/企業主導型保育事業/配食サービス/学習支援事業/だれでも食堂

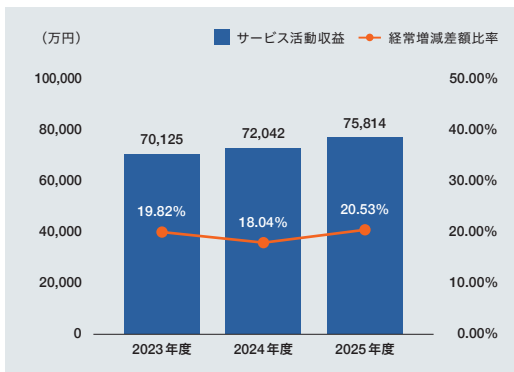


杜の家やしお事業部 事業部長
石川 大輝

2025年度 事業報告

増収増益

中間マネジメントの機能不全が課題、課題に気づく力の育成



当拠点区分のサービス活動収益(売上高)は、7億5,814万円(前期比5.24%増)、経常増減差額は、1億5,564万円(前期比19.75%増)となりました。特別養護老人ホームとショートステイ等のベッドの稼働率は、99.17%(前期99.05%)で堅調に推移しました。一方、訪問介護は、ニーズがあるものの人材が確保できず、サービス提供時間が前期比126.1時間減少となっているほか、だれでもご飯が食べられる「みんなの食堂」の開催日数についても、調整不足により減少となっています。保育所は、地域枠の利用者が増えた

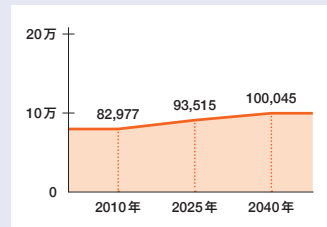
ことで、利用者が微増となっております。経費は前年比で7.67%増加しており、食材原価の高騰やインド等の外国籍介護職員6名の採用に伴う費用増となりました。中間マネジメント層の育成が課題となっております。

杜の家やしおは、開発がすすむ駅周辺と、旧市街地では人口構成や福祉ニーズも異なる地域です。通所介護等の地域向けの事業展開や、子ども分野の事業が増えると長期的な事業の安定につながると考えられます。

埼玉県八潮市

※2010年及び2025年の人口は「国勢調査」(総務省統計局)、2040年の人口は「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」(国立社会保障・人口問題研究所)を参照した。カッコ内(%)は人口に占める割合。65歳以上は高齢化率。

● 人口の推移(人)



● 人口 | 93,515人

● 65歳以上人口 | 20,882人 (22.3%)

● 生産年齢人口 | 61,978人 (66.2%)

● 年少人口 | 10,772人 (11.5%)

埼玉県八潮市は、つくばエクスプレスで秋葉原まで約20分で利便性が高く、急速に発展しているベッドタウンです。一方で、駅から少し離れると、金属・機械工業を中心に多様な中小企業が密集する「ものづくりの街」です。昔ながらの農家があるエリアもあります。人口は、年々増加しており、若い世代の転入が増えています。地理的には平たんで、中川や綾瀬川など川に囲まれています。

車いす体験で小学生に福祉を伝えました

福祉教育の一環として、近隣の小学4年生(43名)に車いすの構造と種類、介助方法を教える出張講義を行いました。学生の多くは、車いすを見たことはあるけど触ったことがなく、実際に体験しながら興味をもって講義に耳を傾けてくれました。このような取り組みを継続していくことが、福祉をより身近に感じるきっかけとなり、地域の可能性を広げることにつながると感じています。



車いすの説明を真剣に聞いている小学生

2026年度 事業計画

- 利用者ひとりひとりの人生歴や生活背景を踏まえたケアを実践し生活の質の向上を目指します。
- パートナーが主体的に仕事に取り組める環境を整えることで、パートナーの成長や組織力の向上を目指します。
- 地域活動に積極的に参加し、地域住民との交流を通して信頼関係を深め、地域社会に根差した施設運営を推進します。

杜の家なりた



大規模多機能型福祉拠点

特別養護老人ホーム／共生型ショートステイ／共生型デイサービス・日中一時支援／訪問介護・居宅介護／居宅介護支援・相談支援／放課後等デイサービス／就労継続支援B型／企業主導型保育事業

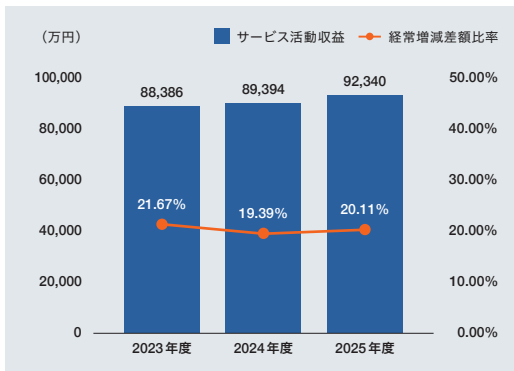


杜の家なりた事業部 事業部長
安部 明子

2025年度 事業報告

増収増益

科学的なマネジメントの定着と、 地域に向けた活動の展開が課題



当拠点区分のサービス活動収益(売上高)は、9億2,340万円(前期比3.30%増)、経常増減差額は、1億8,568万円(前期比6.95%増)となりました。特別養護老人ホームとショートステイ等のベッドの稼働率は、99.77%(前期99.85%)で堅調に推移しました。ショートステイのユニットでは、11月に、給水管の破損による漏水が発覚し、建物の大規模な修繕が必要となる事態となり、稼働率は15.85%減少しました。そうした状況にあっても、人材の調整やマネジメントが奏功し、訪問介護や通所介護も増収増益となっております。放課

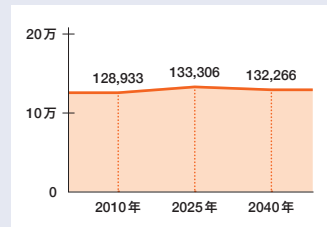
後等デイサービス、就労継続支援B型については、利用者の当日キャンセルなどが増加し、2.87%の減収となりました。当日キャンセルの前の生活のアセスメントなどケアの体制が不足していたと考えられます。拠点全体をマネジメントできる人材の育成が課題となっております。

杜の家なりたは、「大規模多機能」という施設の特長を生かし、複合的なニーズに対応していくことが求められます。施設の訪問者が、「サービス利用者」に偏っている傾向があることから、地域向けの活動や、アウトリーチする取り組みが必要になります。

千葉県成田市

※2010年及び2025年の人口は「国勢調査」(総務省統計局)、2040年の人口は「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」(国立社会保障・人口問題研究所)を参照した。カッコ内(%)は人口に占める割合。65歳以上は高齢化率。

● 人口の推移(人)



● 人口 | 133,306人

● 65歳以上人口 | 32,043人 (24.2%)

● 生産年齢人口 | 86,100人 (64.6%)

● 年少人口 | 14,858人 (11.2%)

千葉県成田市は、成田空港が有名ですが、「杜の家なりた」があるのは、成田市の西部で、京成線「公津の杜」駅が近いです。国際医療福祉大学が立地し、住宅地の開発が行われています。成田空港の拡張がすすめられており、今後、さらに空港関連の労働者などの流入が見込まれています。今後の人口予測は横ばいで、高齢者数は増えていきます。

「杜の家なりた」から地域を元気にします

以前から施設で「ごはんの日」を開催し、地域の人たちとの交流を深めてきました。2025年度は施設内にとどまらず、地域活動や行事にも積極的に参加しました。地域の担い手としての役割を果たしつつ、食事や運動について学ぶ機会をつくるなど、住み慣れた場所で安心して暮らせるように取り組みました。また、近隣大学と共同で行事を開催し、学生とのつながりも地域で少しずつ広がっています。



順天堂大学の大学生が企画したボッチャ大会

2026年度 事業計画

- 持てる力を活用しながら、ひとりひとりに合わせたケアを提供します。
- 地域とのつながりを深め、地域全体の活性化を目指します。
- やりたいこと、目指したいことが実現できるよう、職場環境を整えます。

実籾パークサイド



超複合型の地域拠点

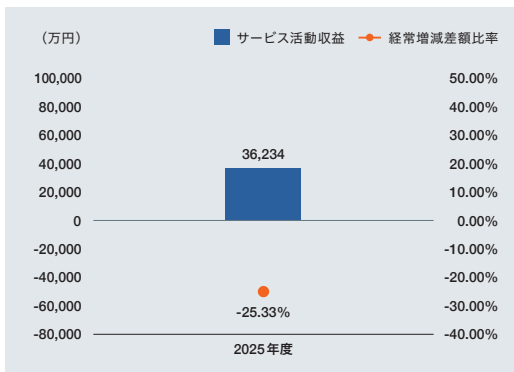
児童養護施設／一時保護所／子どもショートステイ／児童家庭支援センター／看護小規模多機能型居宅介護／認知症グループホーム



実籾パークサイド事業部 事業部長
八木 亜希子

2025年度 事業報告

新しい社会的養護のモデルをつくる 行政と連携し、赤字を最小限にする事業環境



当拠点区分のサービス活動収益(売上高)は、3億6,234万円、経常増減差額は、▲9,177万円となりました。2025年3月の開設であるため、初めての通期での決算となりました。児童養護施設、介護保険事業など、すべての部門が赤字となっておりますが、高齢者グループホーム、看護小規模多機能型居宅介護などの介護保険事業が単月ベースで黒字になる見込みになっているのに対し、児童養護施設は、2026年度も、赤字で厳しい事業環境が続く見込みです。社会的養護の子どもへの支援については、ほかの連携法人からのスーパーバイズなどを

受け、体制構築をすすめてまいりました。介護保険事業では、断らない相談をベースに、困難事例のケースにも対応しております。児童養護施設を中心とした分野横断的な拠点である強みを生かし、これまでの社会的養護の常識をつくりかえていく実践を展開してまいります。児童養護施設の経営は、事業者サイドだけではどうすることもできない事業でもあるため、千葉県や児童相談所など行政と連携し、事業損失を最小限に抑えられるように取り組んでまいります。また、介護保険事業など、黒字化できる事業は着実に黒字化していくことが重要です。

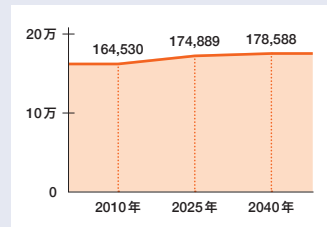
2026年度 事業計画

- 基本的なケアを実直に行い、生活の質を高め、人の可能性を広げます。
- 学生や住民、関係機関、企業等が互いにケアしあう、持続可能な地域づくりに取り組みます。
- 共通の理念を持って、パートナーが持てる力を発揮できるチームづくりを行います。

千葉県習志野市

※2010年及び2025年の人口は「国勢調査」(総務省統計局)、2040年の人口は「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」(国立社会保障・人口問題研究所)を参照した。カッコ内(%)は人口に占める割合。65歳以上は高齢化率。

● 人口の推移(人)



● 人口 | 174,889人

● 65歳以上人口 | 41,506人 (23.7%)

● 生産年齢人口 | 112,806人 (64.5%)

● 年少人口 | 20,692人 (11.8%)

● 市外へ働きに出ている人 | 55,571人

千葉県習志野市は、JR総武線「津田沼」駅を核として、京成本線、京成千葉線など6路線が利用可能です。津田沼駅周辺は住宅地の開発がすすんでおり、若い世代が増えています。総面積は20.97平方キロメートルで、県内の市町村では4番目に小さいコンパクトな市です。「実籾パークサイド」の周辺には日本大学や実籾高校などが立地し、学生でにぎわう地域です。農地が広がるエリアもあります。

ケアの基盤を整え、安全に過ごせる住まいをつくります

施設内で発生した虐待(レベル3)については、弁護士などで構成された第三者委員による調査を行い、事実の把握に努めました。対応策として抜本的な人事と研修を実施し、先進施設からのスーパーバイズを受けてきました。今後は、パートナー同士のコミュニケーションを増進させ、ケアの基本項目を確実に整えます。施設は地域に積極的に開き、独自の「常識」が生まれることがないようにします。



子どもたちも看取りのお別れをする

栗源

(恋する豚研究所・栗源第一薪炭供給所)



農林業×福祉×クリエイティビティ

恋する豚研究所 | 就労継続支援多機能型 (A型・B型) / 相談支援 / 生活困窮者認定就労訓練 / 障害者グループホーム
栗源第一薪炭供給所 | 就労継続支援B型 / 認知症デイサービス

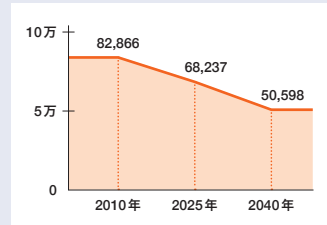


栗源事業部 事業部長
佐藤 智行

※2010年及び2025年の人口は「国勢調査」(総務省統計局)、2040年の人口は「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」(国立社会保障・人口問題研究所)を参照した。カッコ内(%)は人口に占める割合。65歳以上は高齢化率。

千葉県香取市

● 人口の推移(人)



● 人口 | 68,237人

● 65歳以上人口 | 26,965人 (38.4%)

● 生産年齢人口 | 36,749人 (53.1%)

● 年少人口 | 5,647人 (8.2%)

● 農業産出額 | 325.3億円

千葉県香取市は、1年間で人口が千人減少していますが、年間220万人が訪れる香取神宮があるほか、市内には「道の駅」やゴルフ場があり、関係人口、通過人口があることは強みです。「恋する豚研究所」から成田空港までは車で約15分。元気でアクティブな農業関連企業がいることも強みです。米の生産量は県内1位のエリアで、さらにサツマイモなどが作付けされているほか、畜産業も盛んです。

食堂における下半期の来客者数は前年比122%、売上は126%の増加

2025年9月に栗源事業部の近隣で新たな観光・商業施設が開業し、SNSを中心に話題となりました。その相乗効果により「恋する豚研究所」への来訪者も増え、9月の連休には過去最高の売上を記録しました。一過性の来訪に終わらせないため、接客や清掃、身だしなみなど基本の徹底に取り組み、再来訪につながる体制の向上を図りました。

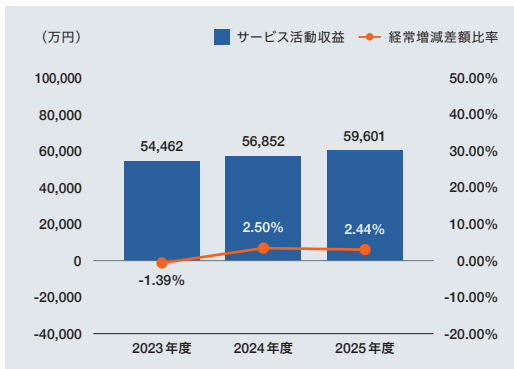


お客様でにぎわう「恋する豚研究所」

2025年度 事業報告

増収増益

営業戦略の見直しと、 営業力の強化が喫緊の課題



当拠点区分のサービス活動収益(売上高)は、5億9,601万円(前期比4.84%増)、経常増減差額は1,456万円(前期比2.30%増)となりました。食堂直売部門は、レジ通過客数50,991人(前期比7.50%増)で大幅に伸びました。来店者の体験価値が向上するサービス提供をすすめます。精肉卸売部門の売上は、前期比▲0.35%となりました。精肉卸売部門は、小売店の業態変化や、店舗で精肉処理をしないセントラル化がすすんでいることから、そうした業界の変化に十分に対応できていない課題があるほか、物価上昇の影響で、値ごろ商材への需要シフトが見られることが、ボトルネックとなっております。

す。ハム・ソーセージなど加工品の売上は、▲10.14%と、低調な水準となっております。出直し的な戦略の見直しが必要です。農林事業部門は、耕作面積の拡大などにより、前期比30.52%の増収となったものの、販売戦略が十分ではなく、経常増減差額は▲3,384万円となり、経常赤字となっております。就労支援の利用者は、横ばいで推移しており、他法人と連携し、「暮らしのルールブック」などを活用しながら、日常生活のあり方を含めた包括的な支援を行っております。

精肉、ハム・ソーセージ、サツマイモともに営業戦略が十分ではなく、営業体制の再構築が課題となっております。

2026年度 事業計画

- 全セクターで前年超えを目指し、数字に強い組織へ進化させます。
- パートナーの安心が顧客満足へ直結する好循環をつくります。
- 新事業や新たなプロジェクトへの挑戦および開設に向けた準備を進めていきます。

地域ケアよしかわ



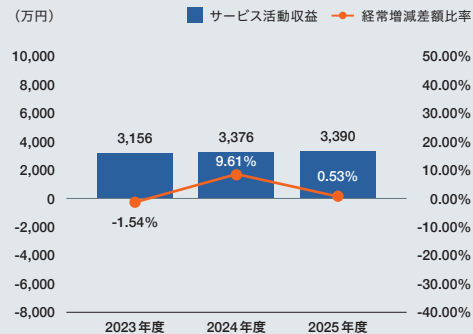
団地×福祉で地域に密着

訪問介護・居宅介護/居宅介護支援・相談支援/みんなの食堂



地域ケアよしかわ事業部 事業部長
松本 亜季

2025年度 事業報告



当拠点区分のサービス活動収益(売上高)は、3,390万円(前期比0.43%増)、経常増減差額は、18万円(前期比94.43%減)となりました。育成のための人員配置をしたことからコスト増となり、経常利益が減少しております。対象者を子どもに限らない「みんなの食堂」の利用者が増加しており、地域になくはならない存在となっております。在宅生活を知る介護職員の育成の拠点として機能しています。

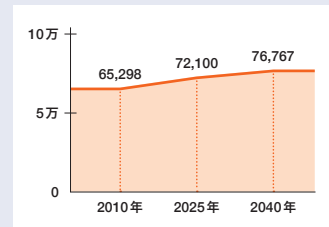
2026年度 事業計画

- 地域の相談所として、制度のスキマを埋める活動を実践します。
- パートナーの多様な働き方を実践できる環境を整えます。
- ケアの質を高めるため、ケアの本質を議論できる事業所をつくります。

埼玉県吉川市

※2010年及び2025年の人口は「国勢調査」(総務省統計局)、2040年の人口は「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」(国立社会保障・人口問題研究所)を参照した。カッコ内(%)は人口に占める割合。65歳以上は高齢化率。

● 人口の推移(人)



● 人口 | 72,100人

● 65歳以上人口 | 17,764人(24.5%)

● 生産年齢人口 | 45,499人(62.8%)

● 年少人口 | 9,133人(12.6%)

埼玉県吉川市は、地理的には、東の江戸川と西の中川に挟まれた「川のまち」です。JR武蔵野線が東西に走っており、2012年に「吉川美南」駅が新たに開業しました。駅前は大規模な開発がすすんでいます。市の東部や北部には農地の広がりがあり、コメとネギの栽培が有名です。伝統的な農業エリアと、新興住宅のエリアがはっきりと分かる面白い街です。

福祉の専門職が子ども食堂を運営する意義を感じています

子どもやひとり親、高齢者などが利用する「みんなの食堂」は、2025年11月で満10年を迎え、2025年度は3,818食を無料で提供しました。困窮者支援や子どもの安否確認につながることもあり、福祉の専門職が食堂の運営を担う意義を日々感じています。また、食堂に関わる人を対象に「くらしの勉強会」を開催し、学校や家庭だけでは学びにくい暮らしのルールを伝える機会をつくりました。



毎回10～20代が勉強会に参加

地域ケアそうか



なんでも相談×訪問介護

重層的支援体制整備事業における参加支援事業・地域づくり事業／訪問介護・居宅介護／居宅介護支援・相談支援／子育て世帯訪問支援事業／みんなの食堂

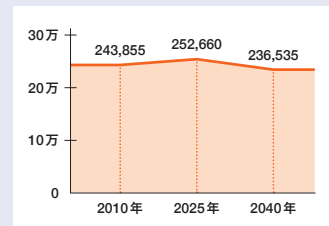


地域ケアそうか事業部 事業部長
中村 麻里

埼玉県草加市

※2010年及び2025年の人口は「国勢調査」（総務省統計局）、2040年の人口は「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）を参照した。カッコ内（%）は人口に占める割合。65歳以上は高齢化率。

● 人口の推移（人）



● 人口 | 252,660人

● 65歳以上人口 | 61,543人 (24.4%)

● 生産年齢人口 | 163,591人 (64.9%)

● 年少人口 | 26,858人 (10.7%)

埼玉県草加市は、「草加せんべい」が有名で、松尾芭蕉の「おくのほそ道」にも記された名勝「草加松原」があります。東武スカイツリーラインが走り、東京メトロ日比谷線・半蔵門線への直通運転も利用できます。北千住や上野までは約25分で、市民活動や文化活動が盛んな地域です。市内には獨協大学があります。市役所はできたてぴかぴかで、「地域ケアそうか」はそのすぐ近くにあります。

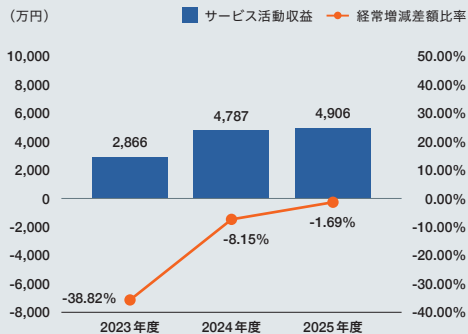
暮らしをよくする勉強会「凸凹クラブ」を定期開催しています

毎月第4土曜日に開催した「凸凹クラブ」は、高校生以上を対象にした生活改善実践サークルです。第1部では炊飯や簡単なおかずづくりに取り組み、みんなで食卓を囲みました。第2部では食事や睡眠など月替わりのテーマで学び、それぞれの工夫を共有しました。仲間と交流しながら、生活を整え、体の健康を促進する実践を学び合い、前向きに過ごせる気持ちを育んでいます。



警察官から自転車の交通ルールを教わった

2025年度 事業報告



当拠点区分のサービス活動収益(売上高)は、4,906万円(前期比2.51%増)、経常増減差額は、▲82万円(前期比 損失78.76%縮小)となりました。黒字化まであと一步のところまでできましたが、教育研修費など人材育成のための投資をしているためです。相談件数は、増加傾向にあり、前期比31.95%の増、訪問介護や居宅介護支援などすべての事業で、前年を大きく上回るサービス提供を行っております。対象者を子どもに限らない「みんなの食堂」の利用者は急増しており、前期比137.4%増となっております。

2026年度 事業計画

- 生活を整える支援を通して、からだところの持てる力を高めていきます。
- 地域とともに学び、ひとりひとりの暮らしの可能性を広げていきます。
- コスト意識を高めて経営を改善し、「パートナー」と「環境」に投資していきます。

香取CCC



会いにいき伴走する相談機関

千葉県中核地域生活支援センター事業／千葉県生活困窮者自立相談支援事業／千葉県就労準備支援事業／千葉県家計改善支援事業／香取市生活困窮者等自立支援事業／居住支援事業／学習支援事業

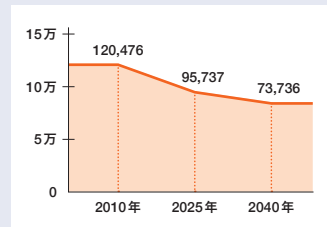


香取CCC事業部 事業部長
松丸 美沙

千葉県香取圏域

※2010年及び2025年の人口は「国勢調査」（総務省統計局）を参照した。2040年の人口は「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）を参照し、香取市全体の比率を用いた推計値とした。カッコ内（%）は人口に占める割合。65歳以上は高齢化率。

● 人口の推移（人）



● 人口 | 95,737人

● 65歳以上人口 | 39,232人* (39.0%)

● 生産年齢人口 | 53,069人* (52.8%)

● 年少人口 | 8,253人* (8.2%)

* 香取市全体の比率（%）を用いた推計値

千葉県北東部の香取圏域（香取市、神崎町、多古町、東庄町）は、成田空港や海にもアクセスしやすい地域です。北に利根川、南に北総台地があり、広大な水田地帯や畑が広がります。米やいも類、野菜、畜産が盛んな一方、人口減少と高齢化が進んでいます。地域おこし協力隊などの受け入れは少し増え、地域に新しい人の流れが生まれています。

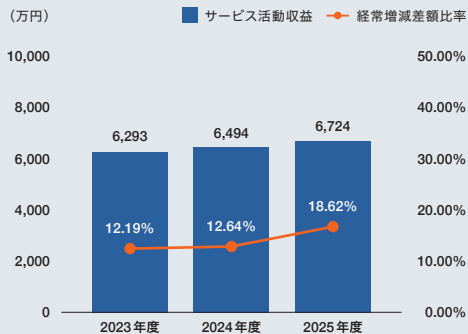
「昼café」と「夜café」で顔の見える相談支援を広げています

関係機関と一緒に地域の課題を検討する場として「昼café」を開催しています。2025年度は触法をテーマに開催しました。保護観察所や検察、保護司などさまざまな立場の人とつながることができ、相談や連携が取りやすくなりました。また、「夜café」では支援者同士で悩みの共有や事例の検討をしています。顔の見える関係性をつくり、地域全体で相談支援に取り組めるよう働きかけています。



「触法」をテーマに勉強会を開催し25名が参加

2025年度 事業報告



当拠点区分のサービス活動収益（売上高）は、6,724万円（前期比3.55%増）となりました。相談件数は、物価高騰による生活困窮などを背景に増加傾向にあり、前期比19.80%増となっております。複合的な相談に対応できる相談員の採用をすすめ、相談支援体制の拡充を図っているところです。居住支援法人や、スマホ里親の事務局も行っております。居住支援法人は、今後さらにニーズが増えることが見込まれますので、体制整備や、支援方針の明確化などが必要になっております。

2026年度 事業計画

- 地域の関係機関と協働し、断らない相談支援に取り組みます。
- 誰もがありがたいように暮らせる地域づくりに取り組みます。
- パートナーそれぞれが持てる力を発揮できるよう、業務の効率化を図り職場環境を整えます。

新事業推進部



西本 知也
新事業推進部
部長

新たな福祉拠点の開発や既存施設の改修、職員住宅の整備などを通じて、法人の未来をつくる部門です。社会情勢や地域福祉のニーズを捉え、資産価値と安全性を高めながら、持続可能な事業を推進しています。

2025年度 事業報告

千葉県香取市に 障害者グループホーム「沢アパートメント」を整備



身寄りのない若者や、少年院から出てきたばかりでアパートの契約ができない若者、さまざまな事情で住まいが確保できない若者に住まいを提供し、農林業などの仕事に励むことができるように障害者グループホームを整備しました。すべての居室に、浴室、トイレ、洗面、キッチンが完備されているほか、共用スペースも充実しています。地域活性化の原動力となる若者が住む場所となります。グループホームの居室が10部屋、職員住宅が2部屋、世話人室が1部屋あります。

2026年度 事業計画

- 建物や設備などのメンテナンスをしっかりと行い、価値の低減を防ぎます。
- 人材確保のため職員住宅の整備をすすめます。
- 地域の福祉ニーズを掘り起こし、新しい福祉事業を創出し、推進します。

インフレの状況下で、現在の建物等の資産価値が維持され、無駄な修繕コストがかからないように、メンテナンスをしっかりと行い管理します。安定的な人材確保のため、職員住宅の整備を行います。物価や金利の情勢を見極めながら、地域に必要とされ、わくわくするような事業を企画し、推進します。

“The KATORI”



施設概要

就労継続支援B型事業所
(定員20名)
宿泊施設8棟
温浴施設1棟
BBQ場

場所

千葉県香取市沢
〔恋する豚研究所〕の裏

スケジュール

2026年12月 着工
2027年12月 竣工
2028年 4月 開業

成田空港から約15分の香取市に、2028年4月、菜園付きコテージ8棟とバーベキュー広場を開業予定です。隣接する「恋する豚研究所」には年間約15万人が訪れており、宿泊機能を加えることで、滞在型の交流と地域経済の活性化を図ります。ホテル管理や調理、清掃などの仕事を通じ、障害のある人や若年刑余者など、働きづらさを抱える人が地域の一員として働き暮らす基盤をつくります。

「杜の家」3拠点での 大規模修繕

大規模修繕は、建物を長く安全に使い続けるためだけでなく、入居者の尊厳を守る生活環境の整備やパートナーの労働環境の改善、法人の持続可能な経営基盤の確立につながる、重要な取り組みです。2026年度は3つの拠点で実施します。

- 杜の家くりもと (2026年9月～) 厨房改修、1階浴室改修 等
- 杜の家やしお (2026年9月～) 屋上防水改修、外壁塗替え、浴室改修、1階ユニット内天井貼替 等
- 杜の家なりた (2026年11月～) 特養棟屋上防水改修、外壁塗替え、特養棟共用廊下床貼り 等

コーポレート統括部



コーポレート
統括部
部長
向後 仁志

総務や人事、経理などを一元化し、事業拠点が福祉実践に集中できるように支える部門です。ICTやDX化を推進し、災害時には司令塔になるなど、法人運営の重要な基盤をつくっています。

2025年度 事業報告

管理体制と労働環境の整備を進めました



2026年度の会計監査人の設置を見据え、2025年度は予備調査を実施しました。適正な管理体制の構築に向けて、原価管理や棚卸の見直し、諸規則諸規程の改正・制定も進めています。また、パートナーの処遇改善に加え、ワクチン接種の費用を全額法人負担にするなど、パートナーが安心して働ける環境づくりを進めました。DXの推進として、請求書の電子化に向けた基盤を構築しています。

2026年度 事業計画

- パートナーひとりひとりが強みを発揮し、挑戦を支える組織づくりを推進します。
- 持続可能な経営管理体制をつくります。
- 経営状況を把握し、業務改善が促進されるバックオフィス組織を目指します。

物価高騰を見据え、パートナーの生活基盤と経営の安定を両立させます。公休数や確定拠出年金の掛金の拡充、全パートナーへのスマホ貸与や勤怠管理システムのDXを進め、事務の効率化を図ります。成長を支える新たな人事評価制度を運用し、パートナーが挑戦できる組織をつくります。

2026年度 予算 (資金収支計算書) (自) 2026年4月1日 (至) 2027年3月31日

(単位: 円)

勘定科目		予算額	
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	2,338,472,799
		児童福祉事業収入	256,894,697
		就労支援事業収入	521,746,991
		障害福祉サービス等事業収入	241,406,947
		公益事業収入	63,847,949
		経常経費寄附金収入	2,231,856
		受取利息配当金収入	1,932,285
	その他の収入	134,280,374	
	事業活動収入計 (1)	3,560,813,898	
	支出	人件費支出	1,933,052,125
事業費支出		359,176,477	
事務費支出		345,003,773	
就労支援事業支出		499,301,005	
支払利息支出		59,250,804	
その他の支出		10,772,015	
事業活動支出計 (2)	3,206,556,199		
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	354,257,699		

勘定科目		予算額	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	376,400,000
		施設整備等寄附金収入	21,000,000
		設備資金借入金収入	2,284,000,000
		施設整備等収入計 (4)	2,681,400,000
	支出	設備資金借入金元金償還支出	213,204,000
		固定資産取得支出	2,970,212,495
	ファイナンス・リース債務の返済支出	14,535,035	
	施設整備等支出計 (5)	3,197,951,530	
	施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	▲ 516,551,530	
その他の活動による収支	収入	長期貸付金回収収入	2,413,103
		その他の活動による収入	1,618,000
		その他の活動収入計 (7)	4,031,103
	支出	長期運営資金借入金元金償還支出	39,394,332
		長期貸付金支出	3,724,800
		積立資産支出	9,007,980
		その他の活動による支出	400,000
		その他の活動支出計 (8)	52,527,112
	その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	▲ 48,496,009	
	予備費支出 (10)	—	
	当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)	▲ 210,789,840	
	前期末支払資金残高 (12)	2,063,201,139	
	当期末支払資金残高 (11) + (12)	1,852,411,299	

FINANCIAL DATA 財務データ

資金収支計算書（キャッシュフロー計算書）（自）2025年4月1日（至）2026年3月31日

（単位：円）

勘定科目		金額	
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	2,318,608,321
		児童福祉事業収入	197,562,254
		就労支援事業収入	483,613,567
		障害福祉サービス等事業収入	217,498,315
		公益事業収入	71,451,787
		経常経費寄附金収入	2,339,623
		受取利息配当金収入	4,751,716
		その他の収入	124,032,729
		事業活動収入計 (1)	3,419,858,312
	支出	人件費支出	1,814,546,679
事業費支出		349,106,111	
事務費支出		374,834,381	
就労支援事業支出		470,309,176	
支払利息支出		40,605,535	
その他の支出		10,957,430	
流動資産評価損等による資金減少額		82,025	
事業活動支出計 (2)		3,060,441,337	
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)		359,416,975	
施設整備等による収支		収入	施設整備等補助金収入
	施設整備等寄附金収入		21,275,741
	設備資金借入金収入		1,091,600,000
	固定資産売却収入		484,404
	施設整備等収入計 (4)	1,137,913,478	
支出	設備資金借入金元金償還支出	2,059,984,000	
	固定資産取得支出	429,128,052	
	ファイナンス・リース債務の返済支出	6,347,190	
	施設整備等支出計 (5)	2,495,459,242	
施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	▲1,357,545,764		

勘定科目		金額	
その他の活動による収支	収入	長期運営資金借入金収入	40,000,000
		長期貸付金回収収入	3,023,306
		その他の活動による収入	1,618,000
		その他の活動収入計 (7)	44,641,306
	支出	長期運営資金借入金元金償還支出	35,917,000
		長期貸付金支出	2,079,638
		積立資産支出	31,777,577
		その他の活動による支出	20,459,502
		その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	▲45,592,411
		予備費支出 (10)	—
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)	▲1,043,721,200		
前期末支払資金残高 (12)	1,876,978,936		
当期末支払資金残高 (11) + (12)	833,257,736		

事業活動計算書（損益計算書）（自）2025年4月1日（至）2026年3月31日

（単位：円）

勘定科目		金額	
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	2,318,608,321
		児童福祉事業収益	197,562,254
		就労支援事業収益	483,613,567
		障害福祉サービス等事業収益	217,498,315
		公益事業収益	71,451,787
		経常経費寄附金収益	2,339,623
	その他の収益	94,807,524	
	サービス活動収益計 (1)	3,385,881,391	
	費用	人件費	1,814,546,679
		事業費	349,106,111
事務費		380,834,831	
就労支援事業費用		489,328,419	
減価償却費	291,426,384		
国庫補助金等特別積立金取崩額	▲75,163,943		
徴収不能額	82,025		
徴収不能引当金繰入	2,487,309		
サービス活動費用計 (2)	3,252,647,815		
サービス活動増減差額 (3) = (1) - (2)	133,233,576		
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	4,751,716
		積立資産評価益	2,296,324
		その他のサービス活動外収益	29,225,205
		サービス活動外収益計 (4)	36,273,245
	費用	支払利息	40,605,535
積立資産評価損	2,408,288		
その他のサービス活動外費用	10,957,430		
サービス活動外費用計 (5)	53,971,253		
サービス活動外増減差額 (6) = (4) - (5)	▲17,698,008		
経常増減差額 (7) = (3) + (6)	115,535,568		

勘定科目		金額	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	24,553,333
		施設整備等寄附金収益	21,275,741
		固定資産売却益	71,530
		その他の特別収益	—
	特別収益計 (8)	45,900,604	
	費用	基本金組入額	—
		固定資産売却損・処分損	1,438,307
		国庫補助金等特別積立金積立額	24,553,333
		その他の特別損失	—
	特別費用計 (9)	25,991,640	
特別増減差額 (10) = (8) - (9)	19,908,964		
当期活動増減差額 (11) = (7) + (10)	135,444,532		
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額 (12)	1,147,430,639	
	当期末繰越活動増減差額 (13) = (11) + (12)	1,282,875,171	
	基本金取崩額 (14)	—	
	その他の積立金取崩額 (15)	2,408,288	
	その他の積立金積立額 (16)	34,073,901	
次期繰越活動増減差額 (17) = (13) + (14) + (15) - (16)	1,251,209,558		

貸借対照表 2026年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
流動資産	1,487,292,062	流動負債	911,116,307
現金預金	917,841,449	短期運営資金借入金	30,000,000
事業未収金	501,130,780	事業未払金	274,781,004
未収金	5,681,697	その他の未払金	318,719,180
未収補助金	14,294,330	1年以内返済予定設備資金借入金	213,204,000
貯蔵品	22,975,260	1年以内返済予定長期運営資金借入金	39,381,000
商品・製品	6,132,744	1年以内返済予定リース債務	14,553,050
仕掛品	1,449,125	預り金	1,430,337
原材料	4,961,509	職員預り金	18,342,595
立替金	2,825,687	前受金	705,141
前払費用	12,486,790		
徴収不能引当金	▲ 2,487,309		
固定資産	6,236,892,448	固定負債	3,807,027,563
基本財産	4,950,372,408	設備資金借入金	3,606,275,000
土地	601,224,833	長期運営資金借入金	142,203,000
建物	4,349,147,575	リース債務	42,484,923
その他の固定資産	1,286,520,040	奨学金返還支援引当金	10,500,000
土地	28,941,955	敷金・保証金等預り金	5,564,640
建物	574,909,015		
構築物	8,812,913	負債の部合計	4,718,143,870
機械及び装置	60,558,155		
車輛運搬具	3,784,503		
器具及び備品	156,161,334		
建設仮勘定	112,614,612		
有形リース資産	36,074,833		
権利	5,060,250		
ソフトウェア	1,273,669		
無形リース資産	20,963,140		
投資有価証券	2,670,000		
長期貸付金	10,840,420		
OUR KIDS基金積立資産	137,407,013		
設備整備等積立資産	86,150,534		
差入保証金	20,234,099		
長期前払費用	20,043,595		
その他の固定資産	20,000		
資産の部合計	7,724,184,510	負債及び純資産の部合計	7,724,184,510

借入金期末残高 (借入先別) 2026年3月31日現在

(単位：円)

借入先	設備資金借入金	長期運営資金	短期運営資金	合計
独立行政法人 福祉医療機構	2,178,745,000	109,890,000	0	2,288,635,000
京葉銀行	1,136,717,000	0	0	1,136,717,000
銚子商工信用組合	248,732,000	0	0	248,732,000
佐原信用金庫	154,580,000	0	30,000,000	184,580,000
埼玉りそな銀行	100,705,000	0	0	100,705,000
常陽銀行	0	40,000,000	0	40,000,000
三井住友銀行	0	27,509,000	0	27,509,000
きらぼし銀行	0	4,185,000	0	4,185,000
合計	3,819,479,000	181,584,000	30,000,000	4,031,063,000

主要な経営指標

経営指標	計算式	参考指標 [※1]	法人全体	杜の家 くりもと	杜の家 やしお	杜の家 なりた	実叡 パークサイド	栗源	地域ケア よしかわ	地域ケア そうか	香取CCC
収益性											
サービス活動増減差額率	サービス活動増減差額 ÷ サービス活動収益計	1.82%	3.93%	10.75%	20.43%	20.84%	▲20.57%	2.26%	2.70%	▲1.09%	18.42%
経常増減差額率	経常増減差額 ÷ サービス活動収益計	2.05%	3.41%	10.67%	20.53%	20.11%	▲25.33%	2.44%	0.53%	▲1.69%	18.62%
当期活動増減差額率	当期活動増減差額 ÷ サービス活動収益計	—	4.00%	5.49%	10.49%	7.65%	▲16.52%	2.52%	0.44%	▲1.81%	18.23%
短期安定性											
流動比率	流動資産 ÷ 流動負債	330.1%	163.2%	617.1%	399.4%	214.7%	124.9%	26.7%	44.9%	44.8%	384.9%
現金預金対事業 活動支出比率	現金預金 ÷ (事業活動支出計 ÷ 12)	3.8か月	3.6か月	0.2か月	1.5か月	0.2か月	15.8か月	0.7か月	2.8か月	2.3か月	2.9か月
長期継続性											
固定長期適合率	固定資産 ÷ (純資産 + 固定負債)	82.7%	91.5%	68.6%	74.3%	89.1%	94.7%	233.5%	▲32.6%	▲94.7%	16.3%
借入金比率	借入金残高合計 [※2] ÷ 総資産	16.1%	52.9%	23.6%	11.6%	68.3%	72.3%	48.9%	18.1%	24.0%	7.8%
資金繰り											
債務償還年数	借入金残高合計 [※2] ÷ 事業活動資金収支差額	4.7年	11.4年	2.8年	0.8年	5.2年	▲87.5年	8.9年	4.7年	8.3年	0.1年
EBITDA有利子 負債倍率	(借入金残高合計 [※2] - 現金預金) ÷ EBITDA [※3]	—	8.8倍	2.7倍	0.5倍	5.0倍	▲115.9倍	15.3倍	▲6.7倍	▲1.9倍	▲0.9倍
合理性											
人件費比率	人件費 ÷ サービス活動収益計	66.8%	53.6%	61.0%	53.4%	54.5%	64.5%	12.1%	77.6%	76.9%	65.5%
経費比率	(事業費 + 事務費) ÷ サービス活動収益計	—	21.6%	23.0%	19.7%	18.3%	37.1%	3.1%	18.3%	20.6%	15.3%
事業費比率	事業費 ÷ サービス活動収益計	15.0%	10.3%	14.4%	11.7%	10.8%	16.0%	1.7%	5.5%	4.9%	5.6%
事務費比率	事務費 ÷ サービス活動収益計	10.5%	11.2%	8.6%	8.0%	7.5%	21.2%	1.5%	12.8%	15.7%	9.7%
支払利息率	支払利息 ÷ サービス活動収益計	0.29%	0.8%	0.3%	0.5%	1.0%	3.1%	0.3%	0.0%	0.2%	0.0%
減価償却費率	減価償却費 ÷ サービス活動収益計	6.6%	8.6%	8.6%	8.6%	7.4%	24.9%	1.5%	1.3%	3.5%	0.8%

※1 | 「社会福祉法人の現況報告書等の集約結果(2025年度版)」(WAM NET) ※2 | 借入金残高合計 = 短期運営資金借入金 + 1年以内返済予定設備資金借入金 + 1年以内返済予定長期運営資金借入金 + 1年以内返済予定リース債務 + 設備資金借入金 + 長期運営資金借入金 + リース債務 ※3 | EBITDA = 経常増減差額 + 支払利息 + 減価償却費 + 国庫補助金等特別積立金取崩額 [マイナス値]

5 年主要財務データ

(単位：円)

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
経営成績						
サービス活動収益	2,549,213,436	2,659,229,166	2,714,034,913	2,791,372,514	2,918,915,517	3,385,881,391
サービス活動増減差額 (サービス活動増減差額率)	132,243,050 (5.19%)	109,200,592 (4.11%)	131,903,549 (4.86%)	167,051,557 (5.98%)	64,559,357 (2.21%)	133,233,576 (3.93%)
経常増減差額 (経常増減差額比率)	132,236,081 (5.19%)	104,265,926 (3.92%)	130,177,012 (4.80%)	158,315,162 (5.67%)	90,834,775 (3.11%)	115,535,568 (3.41%)
当期活動増減差額 (当期活動増減差額率)	81,330,694 (3.19%)	104,182,296 (3.92%)	125,467,914 (4.62%)	191,455,030 (6.86%)	186,238,311 (6.38%)	135,444,532 (4.00%)
財務状況						
純資産	4,826,223,179	4,801,821,038	4,704,274,865	6,301,186,185	8,517,372,648	7,724,184,510
流動資産	734,499,667	753,947,234	783,148,973	959,725,211	2,490,465,004	1,487,292,062
固定資産	4,091,723,512	4,047,873,804	3,921,125,892	5,341,460,974	6,026,907,644	6,236,892,448
流動負債	469,020,667	527,392,086	510,473,367	486,025,774	1,760,477,914	911,116,307
固定負債	2,479,548,334	2,328,221,720	2,125,982,296	3,563,302,680	3,828,436,071	3,807,027,563
純資産	1,877,654,178	1,946,207,232	2,067,819,202	2,251,857,731	2,928,458,663	3,006,040,640
経営指標						
流動比率	156.6%	143.0%	153.4%	197.5%	141.5%	163.2%
固定長期適合率	93.9%	94.7%	93.5%	91.9%	89.2%	91.5%
EBITDA 有利子負債倍率	8.31 倍	8.67 倍	7.09 倍	10.46 倍	11.65 倍	8.43 倍
人件費率	49.5%	52.0%	52.2%	53.2%	54.9%	53.6%
経費率	16.9%	17.0%	18.8%	18.5%	21.3%	21.6%
その他						
職員数(人)	466	492	467	475	526	548
採用活動費	15,841,165	16,942,258	13,769,840	22,793,390	26,438,725	40,354,338
研修費	8,267,858	8,910,016	16,132,894	22,359,579	28,017,172	36,814,962

ABOUT CARE ケアについて

ベッドの稼働率（特養・ショート・グループホーム）

拠点名	稼働率
杜の家くりもと	103.3%
杜の家やしお	99.2%
杜の家なりた	99.8%
実叡パークサイド	87.6%
法人全体	99.3%
全国平均（※）	92.5%

※「2024年度 特別養護老人ホームの経営状況について」（独立行政法人福祉医療機構）の定員規模100人以上の特別養護老人ホームの利用率を参照した。

特養の待機者の状況

拠点名	待機者数
杜の家くりもと	109
杜の家やしお	60
杜の家なりた	55

（単位：人）

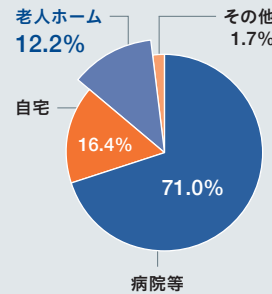
2026年3月31日現在

特養の終末期ケアの状況

拠点名	看取り介護 加算算定件数 (件)	死亡 退所者数 (人)	死亡場所		
			施設(人)	その他(人)	施設の割合
杜の家くりもと	20	21	18	3	85.7%
杜の家やしお	18	21	18	2	85.7%
杜の家なりた	17	25	17	8	68.0%
法人全体	55	67	53	13	79.1%

▶ 死亡場所の統計を見ると、71.0%の人が病院等で亡くなります。老人ホームで死亡する人は12.2%となっており、この割合を増やす必要があります。福祉楽団では、「杜の家」で最期を迎えたいという人に対して、最期まで生活が継続できるように支援しており、終末期ケアに積極的に取り組んでいます。2025年度は施設で55名のお看取りをさせていただきました。

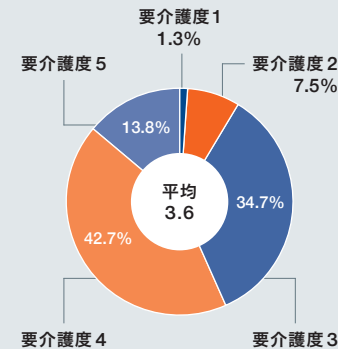
全国の死亡者の死亡場所（※）



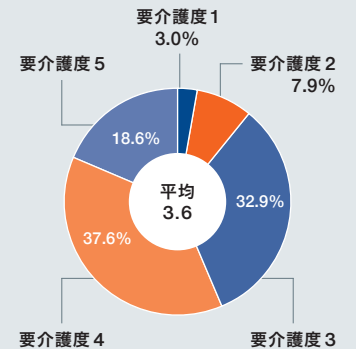
※「2024年度 人口動態調査」（厚生労働省）から「死亡の場所・年齢（特定階級）別死亡数」を参照した。

特養の要介護度

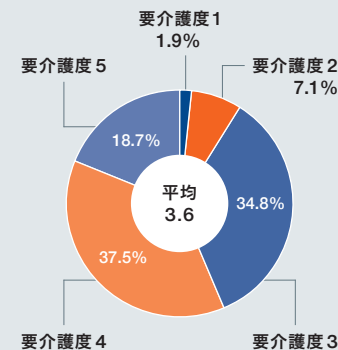
■ 杜の家くりもと



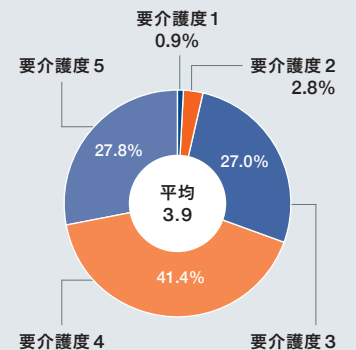
■ 杜の家やしお



■ 杜の家なりた



■ 全国平均（※）



※「令和6年 介護サービス施設・事業所調査の概要」（厚生労働省）の「介護老人福祉施設」を参照した。

ABOUT CARE

児童養護施設の稼働率

拠点名	2026年3月末在在所者	稼働率
実籾パークサイド	14名	38.8%

デイサービスの利用率

拠点名	高齢者デイ	児童デイ
杜の家くりもと	63.0%	—
杜の家なりた	79.3%	80.1%
栗源	4.2%	—
法人全体	57.1%	80.1%
全国平均(※)	70.7%	89.1%

※「2024年度通所介護・認知症対応型通所介護の経営状況」
「2024年度障害福祉サービス〈児童系サービス〉の経営状況」（独立行政法人福祉医療機構）を参照した。

訪問介護の月平均のサービス提供時間数

(単位：時間)

拠点名	提供時間数
杜の家くりもと	263.1
杜の家やしお	386.4
杜の家なりた	407.6
地域ケアよしかわ	217.0
地域ケアそうか	123.9
法人全体	1,398.0

医療的ケアが必要な方の人数

(単位：人)

拠点名	疼痛管理	在宅酸素	喀痰吸引	胃ろう・腸ろう	経鼻経管栄養	TPN
杜の家くりもと	0	1	0	1	0	0
杜の家やしお	0	3	1	5	0	0
杜の家なりた	0	3	3	6	0	0
実籾パークサイド	3	2	1	3	0	2
法人全体	3	9	5	15	0	2

2026年3月31日現在

介護支援専門員の人数と居宅介護支援の件数

(単位：人)

拠点名	介護支援専門員の人数	利用者数(要支援)	利用者数(要介護)
杜の家くりもと	4	15	145
杜の家やしお	5	5	126
杜の家なりた	4	23	127
地域ケアよしかわ	2	8	71
地域ケアそうか	2	14	75
実籾パークサイド	2	0	0
法人全体	19	65	544

2026年3月31日現在

サービス利用者数

	当年度	前年度	前期比
サービス利用者数(人)	230,671	184,676	124.91%

▶ 高齢者、障害のある人、子どもなどのすべてのサービスにおける、日次単位の延べ利用者数です。

虐待および身体拘束の状況

■ 施設内虐待の通報

通報日	拠点名	虐待レベル	通報内容	改善等
2025年5月1日	実籾パークサイド	2	職員1名が、3名の子どもに対し、脇下を触ったり突いたりする行為があった。	出勤停止の懲戒処分とし、子ども、高齢者など福祉施設利用者に接することがない業務への配置転換を行う。
2025年6月6日	実籾パークサイド	3	職員2名が、1名の子どもに対し、必要性がないにもかかわらず身体を押さえつけるなどの行為があった。	役職を解任し、懲戒処分とするとともに、子ども、高齢者など福祉施設利用者に接することがない業務への配置転換を行う。

虐待レベル(抜粋)

- レベル1～2 | その時々で精神的肉体的苦痛を感じているレベル
- レベル3 | 不適切なケアが日常化しており心身に何らかの影響を与えているレベル
- レベル4 | 医療機関への受診が必要になったレベル
- レベル5 | 14日以上の治療が必要になった、生命の危機があるレベル

■ 身体拘束の状況

拠点名	実施実人数(人)	実施延べ日数(日)	身体拘束三原則	記録	内容
杜の家くりもと	1	12	○	○	シート(座面)の角度を調節できる車椅子で、すぐに立てないようにしたもの。
実籾パークサイド	1	2	○	○	外出を防ぐため、施設玄関を一時的に施錠した。

▶ 介護・医療現場では、状況に応じてやむを得ず、身体拘束を実施する可能性があります。「やむを得ない状況にあたるか」の妥当な判断基準は、「切迫性」「非代替性」「一時性」の三原則をすべて満たしているかどうかです。

「緊急やむを得ない場合」の3要件

- 切迫性 利用者本人または他の利用者の生命または身体が危険にさらされる可能性が著しく高い場合
- 非代替性 身体拘束以外に代替する介護方法がないこと
- 一時性 身体拘束は一時的なものであること

感染症等の集団感染状況

▶ 感染症法に定める1類から5類の感染症(2026年3月31日時点)について施設内での集団感染は以下のとおりです。

拠点名	感染症の種類	通報先	通報日	収束日	感染者数(人)			
					利用者	入居者等	職員	計
杜の家なりた	新型コロナウイルス感染症	印旛保健所	2025年7月13日	2025年7月23日	0	10	4	14

ABOUT PARTNER パートナーについて

働き方の区分

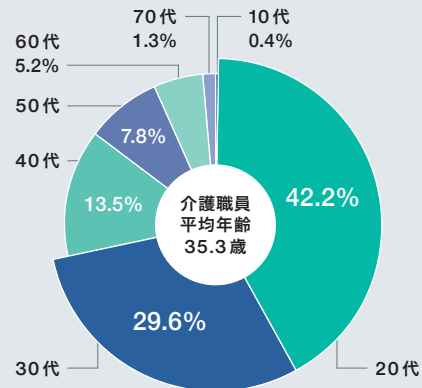
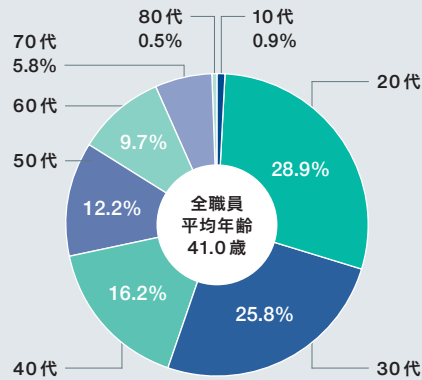
▶ 働き方の区分は「労働時間の長さ」と「勤務の柔軟性」の組み合わせにより9区分に分類されます。1日4時間や週3回勤務など、ライフステージやそのときのやりたいことに応じて働き方を選ぶことができます。また、働き方を問わず全職員が無期雇用となります。

(単位：人)

労働時間の長さ 長 ↑ ↓ 短		F	R	N	計
		事業所限定(変則勤務不可)	事業所限定(変則勤務可)	全拠点異動可	
1 週30時間以上40時間以内		81	315	11	407
2 週20時間以上30時間未満		52	1	0	53
3 週20時間未満		88	0	0	88
計		221	316	11	548

小 ← 勤務の柔軟性 → 大

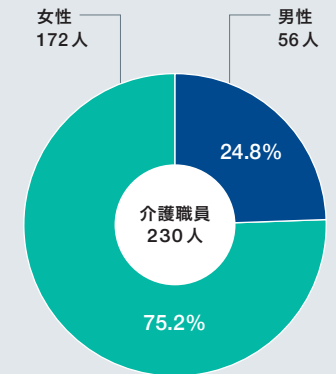
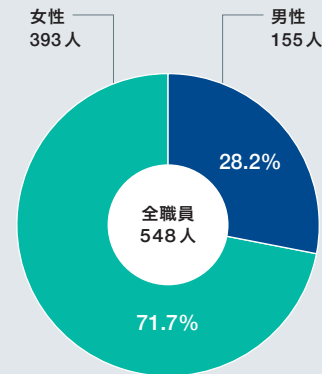
年齢



▶ 介護職員における全国の平均年齢は48.7歳(※)です。福祉楽団の介護職員は20代から30代の職員が71.8%を占めており、若い職員が活躍しています。

※全国の平均年齢は「令和6年度 介護労働実態調査」(介護労働安定センター)を参照した。

男女比



▶ 課長相当職以上(役員を含む)の男女比は、男性が65.9%・女性が34.1%となっています。企業規模300~999人における全国平均の比率は、男性が92.7%・女性が7.3%(※)のため、全国平均より多くの女性が管理職として活躍しています。

※全国平均は「令和6年度 雇用均等基本調査」(厚生労働省)を参照した。

障害者の雇用率

4.21%

全国平均 2.41% (※)

▶ 法定雇用率は2.50%ですが、福祉楽団では4.21%となっています。法人全体で22名の障害のある人を雇用しています。

※全国平均は「令和7年 障害者雇用状況の集計結果」（厚生労働省）を参照した。

外国籍職員の雇用状況

(単位：人)

国籍	在留資格					合計
	介護	特定技能	技能実習	特定活動 (EPA)	その他	
インドネシア	1	9	0	16	1	27
ベトナム	0	1	0	2	0	3
フィリピン	2	4	0	24	2	32
インド	0	8	0	0	0	8
中国	1	0	0	0	0	1
合計	4	22	0	42	3	71

平均勤続年数・採用率・離職率

■ 介護職員

	平均勤続年数 (年)	採用率 [全国平均]	離職率 [全国平均]
2023年度	4.9	23.6% [16.3%]	18.6% [14.9%]
2024年度	4.8	28.6% [16.9%]	11.4% [13.6%]
2025年度	4.6	29.6% [14.4%]	24.3% [12.8%]

※全国平均は「令和6年度 介護労働実態調査結果」（公益財団法人介護労働安定センター）を含む過去3年分を参照した。

※上記はフルタイム職員を対象として算出した。

※採用（離職）率＝当該年度の採用（離職）者数÷前年度末日の在籍者数

■ 全職員

	平均勤続年数 (年)	採用率 [全国平均]	離職率 [全国平均]
2023年度	6.2	20.4% [14.4%]	15.2% [15.3%]
2024年度	5.8	28.8% [13.6%]	11.4% [13.3%]
2025年度	6.0	27.7% [14.0%]	23.9% [13.8%]

▶ 実叡パークサイド拠点の大規模施設の新規開設があったため、離職率は前年より上昇しました。実叡パークサイドを除くと、離職率は19.1%となっています。

※全国平均は「2024年度 社会福祉法人の経営状況について」（独立行政法人福祉医療機構）を含む過去3年分を参照した。

※上記はフルタイム職員を対象として算出した。

※採用（離職）率＝当該年度の採用（離職）者数÷前年度末日の在籍者数

■ 新規学卒者の状況

(単位：人)

	採用者数	3か月未満の離職者数	3か月以上6か月未満の離職者数	6か月以上1年未満の離職者数	1年未満の離職者数
2023年度	18	1	3	2	6
2024年度	31	1	0	2	3
2025年度	22	1	2	1	4

有給休暇等の取得状況

■ 年次有給休暇の取得状況

	付与人数(人)	付与総日数(日)	取得総日数(日)	取得率	(前年度)	[全国平均]
フルタイム	249	5,495.0	4,076.0	74.2%	(77.4%)	—
パートタイム	142	2,303.0	1,962.0	85.2%	(94.0%)	—
法人全体	391	7,798.0	6,038.0	77.4%	(82.1%)	[68.4%]

※全国平均は「令和7年 就労条件総合調査」(厚生労働省)における「年次有給休暇の取得状況」を参照した。

■ リフレッシュ休暇の取得状況

① 12日間以上の連休(毎年4月1日時点で、勤続6か月以上の職員が対象)

	付与人数(人)	付与総日数(日)	取得総日数(日)	取得率	(前年度)	平均連休日数(日)	(前年度)	最長休日数(日)
介護職員	116	580	575	99.1%	(99.1%)	13.0	(12.6)	24
法人全体	240	1,200	1,165	97.1%	(97.8%)	12.2	(11.9)	33

② 7日間以上の連休(毎年4月1日時点で、勤続3年以上の職員が対象)

	付与人数(人)	付与総日数(日)	取得総日数(日)	取得率	(前年度)	平均連休日数(日)	(前年度)	最長休日数(日)
介護職員	99	297	291	98.0%	(95.2%)	6.8	(7.0)	11
法人全体	223	669	660	98.7%	(95.9%)	6.7	(6.9)	13

■ 育児休業の取得状況

	出産者数(男性は配偶者)(人)	取得者数(人)	取得率	[全国平均]
男性	1	0	0.0%	[15.5%]
女性	5	5	100.0%	[84.5%]

※全国平均は「令和6年度 雇用均等基本調査」(厚生労働省)における「育児・介護休業制度等に関する事項」を参照した。

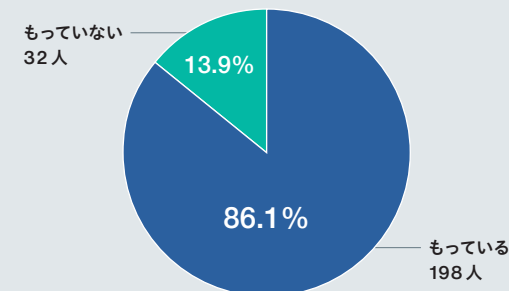
ワクチン接種の補助総額

	当年度	前年度	前期比
ワクチン接種の補助総額	5,002,210円	2,471,036円	202.43%

介護職員の介護系資格保有割合

■ 資格種別

資格種別	保有人数(人)	保有割合
ホームヘルパー2級	29	12.6%
介護職員初任者研修修了	84	36.5%
介護福祉士実務者研修修了	82	35.7%
介護福祉士	114	49.6%
外国の看護師等の資格	20	8.7%
無資格	32	13.9%
いずれかの資格保有者数	198	86.1%



▶ 特別養護老人ホームの介護職は無資格であっても勤務できますが、無資格のパートナーを減らしていくことが課題となっています。新規学卒者は、新入職員研修を受講すると全員が「介護職員初任者研修」の修了資格が取得できるようにプログラムされています。

研修

■ 研修費総額

	当年度	前年度	前期比
研修費総額	37,036,190円	28,216,576円	131.26%

▶ ケアの質の向上には、パートナーの育成は欠かせません。福祉楽団では仕事の実践に必要な具体的なスキル(知識や技術)の研修のほかに、コンピテンシー(行動や思考の特性)の研修を充実させています。パートナーひとりひとりの能力を引き出し、広く社会で活躍できる人材を育成します。

■ 主な研修

階層別研修	新入職員研修、1年目職員研修、2年目職員研修、3・4年目職員研修、キャリア採用者研修
選抜型研修	リーダーシップ・コミュニケーションスキル研修、DrawUp! 研修、外国籍職員研修、日常会話の外国語、暮らしのルール勉強会、リーダー候補者向け研修
職種別研修	介護職員実務者研修、特養に必要な薬の知識、FGケース検討、契約事務初任者研修、心とからだ・暮らしとマナー勉強会
海外研修	インド・コンパッションシティ研修

職員能力開発支援金の利用状況

	人数(人)	貸付金合計
制度利用者	64	10,840,420円
うち当年度新規利用者	17	2,079,638円

▶ 働きながら学びたいパートナーを支援する制度です。受講にかかる費用を最大100万円貸与し、資格取得後3年間勤務すると返済義務が免除されます。

奨学金返還支援の利用状況

	人数(人)	申込額合計
制度申込者	35	43,090,000円

▶ 奨学金を利用するパートナーに対して、返還額を支給する制度です。5年勤務した時点で最大100万円、10年勤務ですらに最大100万円の代理返還を行います。

賃金の状況

	平均勤続年数(年) [全国平均]	平均年収 [全国平均]	平均年齢(歳) [全国平均]
介護職員[※1] うち介護福祉士[※2]	6.9 [7.9] 10.3 [10.4]	3,747千円 4,058千円 4,064千円 4,200千円	34.5 [48.4] 38.2 [46.3]
相談援助職 うち社会福祉士[※2] うち介護支援専門員[※2]	11.2 — 6.9 [9.3] 13.7 [14.0]	4,341千円 — 4,226千円 4,771千円 4,380千円 4,656千円	46.2 — 29.5 [41.1] 48.2 [50.3]
全職種	8.3 —	4,129千円 —	40.1 —

[※1] 全国平均は「令和5年度 介護労働実態調査」(公益財団法人介護労働安定センター)を参照した。[※2] 全国平均は「令和5年度 介護従事者処遇状況等調査結果」(厚生労働省)を参照した。*上記は2026年3月31日在職のフルタイム職員を対象に算出した。*「介護職員」は、職種区分が「部長級以上」を除く職員で算出した。*「平均年収」は、勤続年数1年以上の職員を対象にした。

■ 就労継続支援A型・B型の賃金等の状況

サービス種別	拠点名	賃金・工賃	当年度	前年度	全国平均(※)
A型	栗源	月賃金 平均	101,574円	89,449円	91,451円
		月賃金 中央値	106,569円	97,785円	—
		月賃金 最頻値	100,000~110,000円	100,000~110,000円	—
B型	栗源	月工賃 平均	51,946円	26,656円	24,141円
		月工賃 中央値	19,220円	22,375円	—
		月工賃 最頻値	10,000~20,000円	10,000~20,000円	—
	杜の家 なりた	月工賃 平均	25,712円	15,908円	24,141円
		月工賃 中央値	8,316円	15,795円	—
		月工賃 最頻値	20,000~30,000円	20,000~30,000円	—

※「令和6年度工賃(賃金)の実績について」(厚生労働省)の「令和5年度平均工賃(賃金)」の数字を参照した。

退職金の状況

(単位:人)

種別	対象者数
確定拠出年金(401k)	256
社会福祉施設職員等退職手当共済	55

2026年3月31日現在

事故の発生状況

■ レベル5以上の事故の発生状況

(単位：件)

事故レベル	福祉楽団の事故 レベル定義(抜粋)	杜の家 くりもと	杜の家 やしお	杜の家 なりた	実叻 パーク サイド	栗源	地域ケア よしかわ	地域ケア そうか	法人全体
5(事故)	・全治14日以上 (見込)の治療や 入院が必要となった。 ・事故の結果、障害や 後遺症が残った。	4	11	13	3	0	0	0	31
6(事故)	・事故により 死亡となる。 (原疾患の自然経過に よるものを除く。)	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		4	11	13	3	0	0	0	31

■ レベル5以上の事故の内訳について

(単位：件)

内訳	杜の家 くりもと	杜の家 やしお	杜の家 なりた	実叻 パーク サイド	栗源	地域ケア よしかわ	地域ケア そうか	法人全体
骨折	4	11	11	3	0	0	0	29
誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0
行方不明	0	0	2	0	0	0	0	2
その他	0	0	0	0	0	0	0	0

労働災害の状況

拠点名	件数 (件)	職種	種別	発生場所	事故 レベル	内容
杜の家 くりもと	2	栄養職	業務	調理場	3	調理器具によるやけど
		調理職	業務	調理場	3	調理器具によるやけど
杜の家 やしお	2	看護職	業務	特養居室	3	尿の暴露による結膜炎
		看護職	通勤	公道	5	交通事故による外傷
杜の家 なりた	5	保育職	業務	子どもデイルーム	3	子どもの指が目に入り外傷
		介護職	業務	特養キッチン	4	ポットのお湯が腕にかかりやけど
		保育職	業務	子どもデイルーム	3	児童に引っ張られて転倒 その後、頭部を蹴られるなどして脳震盪
		保育職	業務	子どもデイルーム	3	児童に叩かれたことによる神経痛
		調理職	業務	保育所玄関	5	配膳中に転倒し外傷
実叻 パーク サイド	3	介護職	業務	事務所棟階段	5	階段で転倒し骨折
		介護職	業務	テラス棟階段	3	階段を踏み外し捻挫
		保育職	業務	児童養護棟前	3	子どもと花火をしていてやけど
栗源	4	支援員	業務	公道	3	ロバの扱いを誤り転倒し捻挫
		支援員	業務	駐車場	4	転倒し骨折
		調理職	業務	調理場	3	お湯をこぼしてやけど
		食肉加工職	通勤	駅構内	4	駅の階段で転倒し外傷
法人全体	16					

車両事故の発生状況

(単位：件)

事故レベル	杜の家くりもと	杜の家やしお	杜の家なりた	実叻パークサイド	栗源	地域ケアよしかわ	地域ケアそうか	香取CCC	コーポレート統括部	法人全体
1(インシ)	1	2	0	1	0	1	0	2	0	7
2(事故)	4	1	8	6	1	0	1	0	0	21
3(事故)	1	0	2	0	4	1	1	0	0	9
4(事故)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5(事故)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6(事故)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	6	3	10	7	5	2	2	2	0	37

エネルギー・水の使用量

項目	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
電気の使用量 (kWh)	2,615,432	2,525,264	2,581,100	2,972,681
ガスの使用量 (m ³)	46,407	44,299	44,416	56,136
水の使用量 (m ³)	48,536	48,556	48,573	56,074

おむつ等の購入量

(単位：枚/年)

拠点名	おむつ (1人あたり)	リハビリパンツ (1人あたり)	尿とりパッド (1人あたり)
杜の家くりもと	18,204 (219.3)	17,364 (209.2)	92,640 (1,116.1)
杜の家やしお	32,112 (291.9)	25,692 (233.6)	145,452 (1,322.3)
杜の家なりた	28,056 (233.8)	33,624 (280.2)	154,602 (1,288.4)
実籾パークサイド	1,464 (104.6)	6,222 (444.4)	14,058 (1,004.1)
法人全体	79,836 (244.1)	82,902 (253.5)	406,752 (1,243.9)

医療廃棄物の排出量

(単位：kg/年)

拠点名	排出量
杜の家くりもと	9.0
杜の家やしお	19.0
杜の家なりた	15.0
実籾パークサイド	0.0
法人全体	43.0

相談件数

(単位：件)

拠点名	相談件数
生活困窮等	11,341
生活困窮等以外	8,645

子ども食堂の延べ参加者数

(単位：人)

子ども食堂	人数
杜の家やしお (だれでも食堂)	294
地域ケアよしかわ (みんなの食堂)	3,818
地域ケアそうか (みんなの食堂)	3,570
香取CCC (夕やけ食堂)	429
法人全体	8,111

捜査機関への対応

▶ 当法人は、原則としてご本人の同意がない限り、第三者に個人情報を提供することはありません。ただし、犯罪の被害の軽減、人命保護に対応することは福祉事業者の責務だと考えており、捜査機関からの照会があった場合には、当法人が定める「捜査機関への情報提供に関する対応ポリシー」に沿って厳格に判断し、必要な範囲に限定して、情報開示を行う場合があります。

(単位：件)

	捜査関係事項照会	令状	合計
受領件数	2	0	2
開示	2	0	2
限定開示	0	0	0
非開示	0	0	0

関連当事者との取引等の内容

■ 関連当事者との取引について 関連当事者との取引内容は、以下のとおりです。

種類	法人等の名称	所在地	事業の内容	議決権の所有者とその割合	取引の内容	収入／支出	取引金額
役員又は評議員及びそれらの近親者が議決権の過半数を有している法人	株式会社生活ラボ	千葉県香取市	社会福祉施設の開設支援並びに経営に関する指導及び助言、不動産の賃貸	飯田大輔 (100.0%)	アパート(職員住宅)の賃料支払い	支出	20,016 千円
					新規事業(建築関係)及び建物修繕等に関する助言、打合せ調整に関する指導及び助言の業務委託	支出	17,395 千円

■ その他 開示対象となる関連当事者との取引はありませんが、以下の取引について公表します。

種類	法人等の名称	所在地	事業の内容	議決権の所有者とその割合	取引の内容	収入／支出	取引金額
(関連当事者に該当しませんが、重要性が高いと判断した会社)	株式会社恋する豚研究所	千葉県香取市	豚肉及び食肉加工品の企画、販売	飯田大輔 (45.0%)	精肉スライス、精肉加工、梱包発送作業等の業務受託	収入	315,092 千円
					精肉加工品等の購入	支出	6,209 千円
(関連当事者に該当しませんが、当法人が株式を所有している会社)	ケアコラボ株式会社	東京都渋谷区	ソフトウェアの企画、製作、販売及び運営	当法人 (19.0%) 飯田大輔 (32.6%)	介護記録システム「ケアコラボ」の利用料支払い	支出	3,998 千円
(関連当事者に該当しませんが、当法人が株式を所有している会社)	株式会社日本農林耕社(農地所有資格法人)	千葉県香取市	農作物、林作物の生産・加工・販売	当法人 (19.0%) 飯田大輔 (29.0%)	農作物、林作物の生産・加工・販売等の業務受託	収入	7,608 千円
					農作物、林作物の購入	支出	326 千円

内部監査

理事長は、理事に内部監査の担当を命じます。担当者は、内部管理体制の状況等のモニタリングを行い、法令、定款および法人の規定に照らして適正かつ有効に行われていることを確認します。これら内部監査の結果について、内部監査報告書を作成し、理事長に報告します。指摘すべき事項がある場合には、理事長の承認を得たうえで、要改善事項として指摘し、改善実施状況の確認を行います。

監事の監査報告書(謄本)

社会福祉法人 福祉楽団 理事長 飯田 大輔 殿	<h3>監査報告書</h3>
私たち監事は、2025年4月1日から2026年3月31日までの2025年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。	
1. 監査の方法及びその内容	
各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類(計算書類及びその附属明細書)及び財産目録について検討しました。	
2. 監査の結果	
(1) 事業報告等の監査結果	
① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。	
② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められませんでした。	
(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果	
計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。	
2026年5月21日 社会福祉法人 福祉楽団	監事 柳田 啓 ㊟ 監事 星川 望 ㊟

行政監査の結果

次の事業は改善報告を要する指導項目はありませんでした。※(カッコ)内は対象種別／実施者／実施日

デイサービスセンター杜の家なりた(通所介護／千葉県／2025年6月26日)、就労継続支援B型事業所杜の家なりた(就労継続支援(B型)／千葉県／2025年6月26日)、児童養護施設実籾パークサイドハウス(児童養護施設／千葉県／2026年1月14日)、看護小規模多機能型居宅介護実籾パークサイドテラス(看護小規模多機能型居宅介護／習志野市／2025年12月8日)、グループホーム実籾パークサイドテラス(認知症対応型共同生活介護／習志野市／2025年12月8日)、ケアプランセンター地域ケアそうか(居宅介護支援／草加市／2025年3月14日)、イワベの保育所(認可外保育施設／千葉県／2025年9月5日)、ツルガソネ保育所(認可外保育施設／八潮市／2025年8月27日)

実施日	2025年8月20日(水)	実施者	香取市
根拠法令	介護保険法第23条	実施場所	グループホーム杜の家くりもと(香取市岩部869番60)
対象種別	認知症対応型共同生活介護	監査結果	以下のとおり

● 是正又は改善を要する事項

認知症対応型共同生活介護の提供の開始に際し、あらかじめ利用申込者又はその家族に対し、第31条に規定する運営規程の概要、従業者の勤務の体制その他の利用申込者のサービスの選択に資すると認められる重要事項を記した文書を交付して説明を行い、当該提供の開始について利用申込者の同意を得なければならない。

▶ 対応結果

【契約書】

第18条① 契約者からの契約解除

第19条⑥ 事業者からの契約解除

文言を正しい内容に訂正。

【重要事項説明書】

3③ サービス提供者の義務

保管期間を正しい内容に訂正。

4 居室・設備等の概要

表記を正しい内容に訂正。

12(2)⑥ 契約の終了について文言を正しい内容に訂正。

19 提供するサービスの第三者評価外部評価の実施を追記。

【運営規程】別表 食費

金額を正しい内容に訂正。

● 是正又は改善を要する事項

指定認知症対応型共同生活介護事業者は、1年に1回以上、協力医療機関との間で、利用者の病状が急変した場合等の対応を確認するとともに、協力医療機関の名称等を市長に届け出なければならない。

▶ 対応結果

【協力医療機関に関する届出書】

8/20付けで届け出ている。

● 是正又は改善を要する事項

認知症対応型共同生活介護の提供にあたっては、利用者、利用者の家族、地域住民の代表者、市の職員又は当該指定認知症対応型共同生活介護が所在する区域を管轄する地域包括支援センターの職員、知見を有する者等により構成される協議会を設置し、おおむね2月に1回以上、運営推進会議に活動報告を報告し、運営推進会議による評価を受けるとともに、運営推進会議から必要な要望、助言等を聞く機会を設けなければならない。

前項の報告、評価、要望、助言等について記録を作成するとともに、当該記録を公表しなければならない。

▶ 対応結果

【議事録】

8/20より施設内の掲示板にて公表を開始している。

● 是正又は改善を要する事項

▶ 対応結果

【請求】

加算要件に該当しない方を算定していたため、過誤請求を行う。

8/26 過誤申立依頼書を提出している。

実施日	2025年8月20日(水)	実施者	香取市
根拠法令	介護保険法第23条	実施場所	居宅介護サービス杜の家くりもと(香取市岩部869番60)
対象種別	居宅介護支援	監査結果	以下のとおり

● 是正又は改善を要する事項

あらかじめ利用申込者またはその家族に対し、第20条に規定する重要事項に関する規定の概要、介護従業者の勤務の体制、その他の利用申込者のサービスの選択に資すると認められる重要事項を記した文書を交付して説明を行い、当該提供の開始について利用申込者の同意を得なければならない。

▶ 対応結果

【重要事項説明書】

11(3) 行政機関その他苦情受付機関

香取市役所高齢者福祉課のFAX番号を正しい番号に訂正。

【契約書別紙】

○ 各種加算

退院・退所加算の算定基準の文言を正しい内容に訂正。

実施日	2025年9月25日(木)	実施者	公益財団法人児童育成協会
根拠法令	企業主導型保育事業専門的労務監査基準	実施場所	イワベの保育所(香取市岩部869番48)
対象種別	企業主導型保育所	監査結果	以下のとおり

● 改善を要する事項

処遇改善等加算の対象職員が、実際に支給されている処遇改善等加算額を把握していないため、書面で通知するよう改めること。

▶ 対応結果

法人としてどのように記載するかを協議しています。

ABOUT GOVERNANCE

実施日	2025年9月26日(金)	実施者	公益財団法人児童育成協会
根拠法令	企業主導型保育事業指導・監査等基準	実施場所	シタカタ保育所(成田市下方686番1)
対象種別	企業主導型保育所	監査結果	以下のとおり

● 改善を要する事項 [保育関連]

1 児童の入所時健康診断結果について、入所から1か月以上後の記録が1名あったので、今後はなるべく入所決定前に実施し、未実施の場合、入所後ただちに行うこと。

▶ 対応結果

1 今後は、母子健康手帳による確認ができない場合は入所前に健康診断を実施することを原則とし、遅くとも入所後2週間以内には実施することを徹底致します。

● 改善を要する事項 [保育関連]

2 主たる開所時間において、児童が在園中にもかかわらず、保育従事者が1名で勤務している時間帯(7月9日の17:22~17:53)があったので、常時複数の保育従事者を配置し、配置基準を厳守すること。なお、保育補助者雇上強化加算対象職員は、必要保育従事者として、配置基準に含めることができないので、改めること。

▶ 対応結果

2 当該時間帯については、急な利用時間の延長により、保育補助者雇上強化加算対象職員を含めた2名の人員配置となっておりました。今後は、利用時間の延長も想定して保育職員を配置し、適切な事業運営を行ってまいります。

実施日	2025年11月6日(木)	実施者	公益財団法人児童育成協会
根拠法令	企業主導型保育事業指導・監査等基準	実施場所	イワベの保育所(香取市岩部869番48)
対象種別	企業主導型保育所	監査結果	以下のとおり

● 改善を要する事項 [助成関連]

自社従業員枠について、保育所運営規程に、利用定員全体の1割以上の設定をしていないので、明記すること。

▶ 対応結果

法人としてどのように記載するかを協議しています。

● 改善を要する事項 [保育関連]

保育サービスの利用に関して、保護者(父親)の就労証明書等のない児童が2名いるので、就労証明書等又は支給認定証を提出させること。

▶ 対応結果

対象児童2名の保護者に就労証明書の提出を依頼し、1名については2025年11月11日、もう1名についても2025年11月25日に受領しています。

● 改善を要する事項

無償化対象(0~2歳児)の児童1名について、認定に必要な支給認定証・課税証明書(令和7年)の確認ができなかったため、提示できるようにしておくこと。

▶ 対応結果

対象児童の保護者に非課税証明書の提出を依頼し、2025年11月9日に受領しています。

実施日	2025年11月18日(火)	実施者	公益財団法人児童育成協会
根拠法令	企業主導型保育事業専門的労務監査基準	実施場所	ツルガソネ保育所(八潮市鶴ヶ曾根606番1)
対象種別	企業主導型保育施設	監査結果	以下のとおり

● 改善を要する事項

1 処遇改善等加算Ⅲを支払っているところ、給与規程において支給対象者、支給基準、支給方法、支給額等の記載がないため、改めること。

▶ 対応結果

1 処遇改善等加算Ⅲについては、給与規程にどのように記載をしていくか、法人内で検討してまいります。

● 改善を要する事項

2 処遇改善等加算Ⅲの支払方法について、3分の2以上を毎月の給与で支払う必要があるところ、当該支払いの内容が不明で、ルールに沿った支払いとなっているか確認できないため、改めること。

▶ 対応結果

2 処遇改善等加算Ⅲの支払い方法については、書面に記載することを含めた方法を、法人内で検討してまいります。

実施日	2025年11月28日(金)	実施者	公益財団法人児童育成協会
根拠法令	企業主導型保育事業指導・監査等基準	実施場所	ツルガソネ保育所(八潮市鶴ヶ曾根606番1)
対象種別	企業主導型保育施設	監査結果	以下のとおり

● 改善を要する事項 [助成関連]

自社従業員枠について、保育所運営規程に、利用定員全体の1割以上の設定をしていないので、明記すること。

▶ 対応結果

保育所運営規程第5条に、地域枠の利用定員は50%以内で定める旨を明記しており、改善を要する事項と同意義であるという認識ではありますが、記載の仕方に関しては、法人内で検討してまいります。

● 改善を要する事項 [保育関連]

主たる開所時間において、児童が在園中にもかかわらず、保育従事者が1名で勤務している時間帯(9月27日の8:00~9:00)があったので、常時複数の保育従事者を配置し、配置基準を厳守すること。

▶ 対応結果

シフト作成後のダブルチェックを確実に実施し、配置基準を遵守してまいります。

実施日	2026年1月21日(水)	実施者	埼玉県
根拠法令	介護保険法第24条第1項等	実施場所	地域ケアよしかわ(吉川市吉川団地1街区7号棟107)
対象種別	訪問介護	監査結果	以下のとおり

● 改善を要する事項 [秘密保持等]

利用者の家族の個人情報を用いる場合は、当該家族代表者の同意をあらかじめ文書により得てください。

▶ 対応結果

現在、指導事項に則り個人情報使用同意書の様式を修正しております。役員、弁護士等と協議の上、6月末までに書式を完成させ、改めて報告致します。

● 改善を要する事項

[指定訪問介護事業所と同一敷地内建物等に居住する利用者に対する取扱い]

事業所と同一の建物に居住する利用者について、減算をせずに介護給付費を請求している事例がありました。当該事例は同一敷地内建物等に居住する利用者に対する減算の対象となります。については、自己点検を行い返還対象期間及び返還方法等について保険者と協議の上、保険者の指示に従って返還の手続きを行ってください。

▶ 対応結果

保険者より別添の通り指示がありました。つきましては、5月29日までに過誤申立書を国保連及び保険者へ提出致します。

実施日	2026年2月13日(金)	実施者	千葉県
根拠法令	社会福祉法第56条	実施場所	児童家庭支援センター実叡パークサイドハウス(習志野市実叡本郷23)
対象種別	児童家庭支援センター	監査結果	以下のとおり

● 改善を要する事項 [運営管理]

相談員が辞令上、本センター以外の業務に従事することとなっていたため、是正すること。

▶ 対応結果

配属先の誤りについて辞令を訂正。

福祉サービス第三者評価の結果

■ 特別養護老人ホーム杜の家やしお

第三者評価機関名	株式会社ケアシステムズ		
事業者情報	名称	特別養護老人ホーム杜の家やしお	
	種別	特別養護老人ホーム	
	代表者氏名	石川大輝	
	定員	100名	
	所在地	埼玉県八潮市鶴ヶ曾根567-1	
評価実施期間	2025年5月1日～2026年1月31日		

● 特に評価の高い点

- ・地域との関わりを重視し、独自事業や教育支援を通じて交流を深めている。
- ・支援情報を家族とリアルタイムで共有するICT活用が、信頼性の高い支援体制につながっている。

● 特にコメントを要する点

- ・マネジメント層の指導力発揮と連携体制の強化が求められる。
- ・マニュアルの実践定着に向けた運用の工夫と全職員の意識共有が求められる。

第三者評価結果の詳細はこちら



■ ショートステイ杜の家やしお

第三者評価機関名	株式会社ケアシステムズ		
事業者情報	名称	ショートステイ杜の家やしお	
	種別	短期入所生活介護	
	代表者氏名	石川大輝	
	定員	10名	
	所在地	埼玉県八潮市鶴ヶ曾根567-1	
評価実施期間	2025年5月1日～2026年1月31日		

● 特に評価の高い点

- ・地域との関わりを重視し、独自事業や教育支援を通じて交流を深めている。
- ・利用者が施設で思い思いの時間を過ごせるよう対応している。

● 特にコメントを要する点

- ・マネジメント層の指導力発揮と連携体制の強化が求められる。
- ・特色作りを早期に具体化することが望まれる。
- ・利用者のニーズに沿った滞在中の過ごし方を検討されたい。

第三者評価結果の詳細はこちら



» ABOUT FUKUSHI GAKUDAN 福祉楽団について

FACILITY INFORMATION 施設概要

杜の家くりもと



所在地 | 〒287-0102
千葉県香取市岩部869番60
TEL | 0478-70-5665 FAX | 0478-70-5666
実施事業 | 特別養護老人ホーム / 共生型ショートステイ / 認知症グループホーム / 共生型デイサービス / 訪問介護 / 居宅介護 / 居宅介護支援・相談支援 / 企業主導型保育事業 / 配食サービス / 福祉有償運送 / 認知症カフェ運営事業
開設日 | 2003年3月1日

杜の家やしお



所在地 | 〒340-0802
埼玉県八潮市鶴ヶ曾根567番1
TEL | 048-999-7667 FAX | 048-999-7668
実施事業 | 特別養護老人ホーム / ショートステイ / 訪問介護 / 居宅介護 / 居宅介護支援・相談支援 / 企業主導型保育事業 / 配食サービス / 学習支援事業 / だれでも食堂
開設日 | 2008年4月1日

杜の家なりた



所在地 | 〒286-0005
千葉県成田市下方686番1
TEL | 0476-20-7575 FAX | 0476-20-7878
実施事業 | 特別養護老人ホーム / 共生型ショートステイ / 共生型デイサービス・日中一時支援 / 訪問介護 / 居宅介護 / 居宅介護支援・相談支援 / 放課後等デイサービス / 就労継続支援B型 / 企業主導型保育事業
開設日 | 2016年6月1日

地域ケアよしかわ



所在地 | 〒342-0054
埼玉県吉川市吉川団地1街区7号棟107
TEL | 048-984-2332 FAX | 048-984-2333
実施事業 | 訪問介護 / 居宅介護 / 居宅介護支援・相談支援 / みんなの食堂
開設日 | 2014年4月1日

地域ケアそうか



所在地 | 〒340-0015
埼玉県草加市高砂1-12-48
ドーム・ヨシタケ11C
TEL | 048-954-4141 FAX | 048-954-4040
実施事業 | 重層的支援体制整備事業における参加支援事業・地域づくり事業 / 訪問介護・居宅介護 / 居宅介護支援・相談支援 / 子育て世帯訪問支援事業 / みんなの食堂
開設日 | 2022年10月1日

香取CCC



所在地 | 〒287-0003
千葉県香取市佐原イ720番地6
パールコートD号室
TEL | 0478-50-1919 FAX | 0478-50-1414
実施事業 | 千葉県中核地域生活支援センター事業 / 千葉県生活困窮者自立相談支援事業 / 千葉県就労準備支援事業 / 千葉県家計改善支援事業 / 香取市生活困窮者等自立支援事業 / 居住支援事業 / 学習支援事業
開設日 | 2017年4月1日

栗源協働支援センター



所在地 | 〒287-0105
千葉県香取市沢2459番1
TEL | 0478-70-5234 FAX | 0478-70-5235
実施事業 | 就労継続支援多機能型(A型・B型) / 相談支援 / 生活困窮者認定就労訓練 / 障害者グループホーム
開設日 | 2012年9月1日

栗源第一薪炭供給所



所在地 | 〒287-0105
千葉県香取市沢2452番1
TEL | 0478-70-5234 FAX | 0478-70-5235
実施事業 | 就労継続支援B型 / 認知症サービス
開設日 | 2018年3月1日

実叡パークサイド

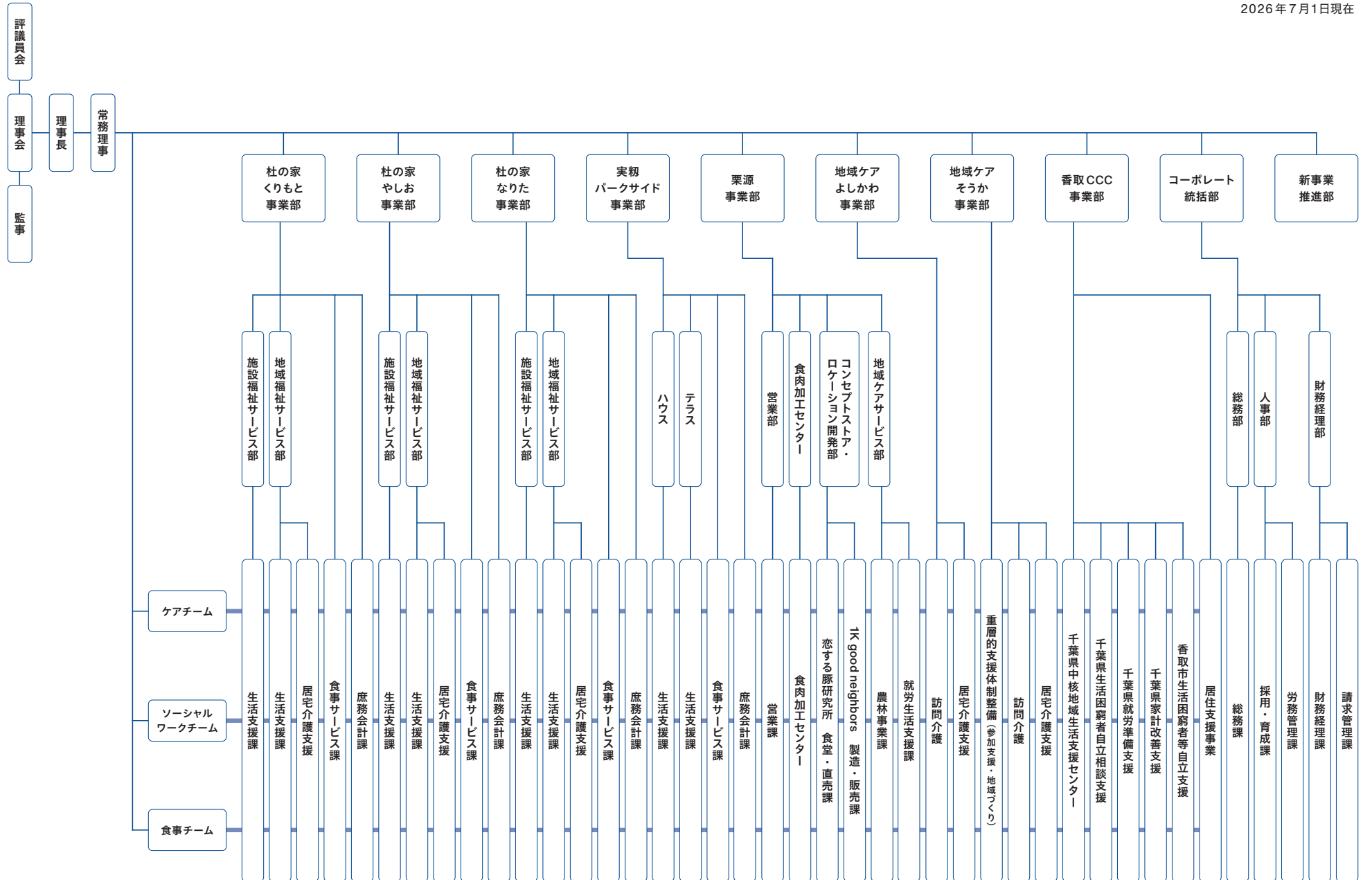


所在地 | 〒275-0003
千葉県習志野市実叡本郷23番8号
TEL | 047-409-9696 FAX | 047-409-9944
実施事業 | 児童養護施設 / 一時保護所 / 子どもショートステイ / 児童家庭支援センター / 認知症グループホーム / 看護小規模多機能型居宅介護 / 居宅介護支援
開設日 | 2025年3月1日

法人本部



所在地 | 〒261-7112
千葉県千葉市美浜区中瀬2-6-1
WBGマリブイースト12階
TEL | 043-307-2828 FAX | 043-307-4848
新事業推進部・コーポレート統括部



法人名称	社会福祉法人 福祉楽団 (2001年12月7日登記)	
法人番号	1040005013430	
主たる事務所	〒261-7112 千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目6番地1 電話 043-307-2828 ファクシミリ 043-307-4848	
理事長	飯田 大輔	
理事	安部 明子 (東京都) 飯田 大輔 (東京都) 石間 太郎 (東京都) 岩田 直樹 (千葉県)	八木 亜希子 (千葉県) 西本 知也 (千葉県) 馬場 拓也 (神奈川県) (福) 愛川舜寿会 理事長 馬上 文司 (千葉県) 千葉エコ・エネルギー (株) 取締役会長
監事	柳田 啓 (京都府) (福) みねやま福祉会 理事長	星川 望 (東京都) 税理士
評議員	在田 健一 (千葉県) (有) アリタホックサイエンス 代表取締役 大原 裕介 (北海道) (福) ゆうゆう 理事長 こまちだ たまお (千葉県) (株) いろだま 代表取締役・ うみのもり (千葉) 竹蓋 伸六 (千葉県) (福) 香取市社会福祉協議会 会長	平野 昇 (千葉県) 平野自動車 代表 御代田 太一 (東京都) PwC Japan 有限責任監査法人 山田 メコム (東京都) (株) アイススタイル 取締役/共同創業者 横山 正博 (千葉県) (特非) ちばこどもホスピスプロジェクト 副理事長
評議員選任・ 解任委員	鶉 領太郎 (静岡県) 静岡福祉大学 助教 中田 雅美 (愛知県) 中京大学 准教授	林 健太郎 (東京都) 慶應義塾大学 専任講師
法律顧問	大槻 厚志 (千葉県弁護士会・県民合同法律会計事務所)	
事業の種類	<p>1. 第一種社会福祉事業</p> <p>(1) 特別養護老人ホームの経営 (2) 児童養護施設の経営</p> <p>2. 第二種社会福祉事業</p> <p>(1) 老人居宅介護等事業の経営 (2) 老人デイサービス事業の経営 (3) 老人短期入所事業の経営 (4) 認知症対応型老人共同生活援助事業の経営 (5) 複合型サービス福祉事業の経営 (6) 障害福祉サービス事業の経営 (7) 一般相談支援事業の経営 (8) 特定相談支援事業の経営 (9) 障害児通所支援事業の経営 (10) 障害児相談支援事業の経営 (11) 子育て短期支援事業の経営 (12) 児童家庭支援センターの経営 (13) 社会福祉事業に関する連絡又は助成を行う事業の経営</p>	<p>3. 公益を目的とする事業</p> <p>(1) 居宅介護支援事業 (2) 企業主導型保育事業 (3) 配食サービス事業 (4) 自家用有償旅客運送事業 (5) 無料又は低額な料金で子どもの学習を支援する事業 (6) 無料又は低額な料金で学生又は生徒に寄宿舎を提供し就学を支援する事業 (7) 社会福祉を目的とする事業の経営に関する指導及び助言を行う事業 (8) 社会福祉の増進に資する人材の育成・確保に関する事業 (9) 住宅確保要配慮者居住支援法人の運営事業</p> <p>4. 収益事業</p> <p>(1) 不動産賃貸業</p>
所轄庁	千葉県	

メディア掲載 (主なもの)

新聞

- 東京新聞 | 2025年4月28日
▶ 「養護児童 地域で育てる 高齢者施設など併設し交流」
- 毎日新聞 | 2025年12月17日
▶ 「障害者と地域つなぐ食堂・独自飼料で「幸せホルモン」アップ」
- 千葉日報 | 2026年3月19日
▶ 「ブランド豚と県産野菜を味わう「恋する豚研究所」」

テレビ

- 日テレNEWS | 2025年9月12日
▶ 「【新米】スーパー店頭に続々 おかわり無料の飲食店」

雑誌・広報誌

- MUJI 無印良品 | 2025年8月6日『つながるガイド/千葉002』
▶ 「豚も、人も、地域も、みんなが恋する桃源郷へ | 恋する豚研究所」
- マガジンハウス | 2025年10月9日『POPEYE』(ポバイ) No.943
▶ 「介護の仕事をちゃんと知ってみたいか? ソーシャルワーカーを目指し、介護の現場を学ぶ。」
- 福祉医療機構 | 2026年1月1日『WAM』2026年1月号
▶ 「児童・高齢者・障害者がともに暮らす共生型施設」

視察の受け入れ

ご来訪ありがとうございました【期間：2025年4月1日～2026年3月31日】

東京藝術大学 (2名)、生活クラブ (10名)、植草学園大学 (2名)、マックスバリュ (33名)、厚生労働省 (4名)、東京大学大学院 (10名)、千葉工業大学 (1名)、千葉大学 (6名)、韓国・江原道江陵市敬老障害課 (5名)、韓国・仁川東区役所福祉課 (7名)、韓国・釜山市老人福祉協議会 (16名)、ASEAN日本社会保障ハイレベル会合 (20名)、ぶらいどらんど (5名)、野田市第三地区社会福祉協議会 (24名)、明治国際医療大学 (2名)、新潟愛宕福祉会 (4名)、西東京市民生児童委員 (21名)、ヤマト福祉財団 (3名)、千葉県立小見川高等学校 (2名)、香取市立栗源中学校 (4名)、ヒポクラテス (8名)、千葉県海浜地域特別支援学校 (16名)、印西市本埜地区民生委員児童委員協議会 (18名)、柏市風早地区社会福祉協議会 (34名)、明治大学専門職大学院 (13名)、全国社会福祉協議会国際福祉協力センター (11名)、八千代市民生児童委員 (16名)、イタリア政府障害者施策担当 (18名)、空と海 地蔵会 (3名)、成田市立加良部小学校 (11名)、柏市富里地区民生児童委員協議会 (22名)、武蔵浦和地区社会福祉協議会 (23名) 茨城プラネット福祉センター (15名)、千葉県里親会市川支部 (20名)、八潮市福祉教育担当者連絡会 (15名)、慶應義塾大学大学院 (2名)、うすい東地区社会福祉協議会 (32名)、八千代市勝田台民生委員 (14名)、東京農業大学 (17名)、グリーン・エコ (2名)、成田国際空港 (18名)、実務高校 PTA (15名)、コスモスイニシア (4名)、ちばAネット (21名)、習志野市社会福祉協議会袖ヶ浦支部 (25名)、千葉県立横橋高等学校 (1名)、オーストラリア・モナッシュ大学 (5名)、香取市社会福祉協議会いきいきサロン (33名)、韓国・大韓住宅建設協会京畿道会 (28名)、船橋市民生児童委員 (49名)、龍ヶ崎市障がい福祉サービス事業所連絡協議会 (18名)、敬愛学園高等学校 (6名)、法務省 (20名)、法政大学大学院 (4名)、中国・日本縦断 (12名)、USMH (1名)、韓国・老人長期療養機関協会 (21名)、読売新聞東京本社 (1名)、日本大学 (1名)、ル・プリ (3名)、オーストラリア・シドニー大学 (26名)、窓愛園 (7名)、扶助者聖母会星美ホーム (4名)、ロザリオの聖母会 (17名)、光明会 (2名)、聖学院大学 (9名)、クリスマス・フォレスト (7名)、明朗アカデミー (14名) ※順不同・敬称略

その他のメディア
掲載はこちらから



スキマ基金

2025年度(2025.4.1-2026.3.31)に **2,339,623円** をご寄附いただきました

制度の「スキマ」をフォローする
福祉実践を育てる基金です。
ご支援をよろしくお願いいたします。

2021年5月より **税額控除対象法人** となりました。
当法人への寄附については、税額控除を受けることができます。

福祉楽団サポーターズになる

福祉楽団の“現場”を支えるさまざまなプログラムに活用させていただきます。福祉実践を育てていくメンバーシップ制度です。
サポーターの方には、年2回発行の広報誌『GAKUNAVI』や、年1回発行の統合報告書をお届けします。

1口
年 **3千円**
ご寄附

これまで
19,553,263円 を
活用させていただきました

労働負担を軽減させる 道具の購入



特別養護老人ホームの3拠点で「眠りスキャン」を導入しました。マットレス下のセンサーで睡眠や離床の状態を把握でき、夜間の見守りや声かけがしやすくなることで、より安心できるケアにつながっています。

障害のあるスタッフの 空調服の購入



夏場の農林業や、訪問介護員による自転車での在宅訪問時の熱中症対策として、空調服を導入しました。暑さによる体力消耗や疲労感を軽減し、パートナーが安全に業務を続けられる環境を整えています。

「自立準備ホーム」として 一時的な居場所の提供



刑務所などを出所した人の一時的な居場所として、2025年度は3つの拠点で計7名を受け入れています。住む場所のほか食事やお風呂などを提供し、行く先が決まるまでの間、本人が自立した生活ができるように支えています。

プロジェクトをサポートする

1 | ごはんプロジェクト



例
5千円
ご寄附

みんなの食堂で
ごはんを30人分
用意できます

ひとりでご飯を食べている子どもや、お年寄り、引きこもりがちな若者などと、みんなでご飯をたべる活動を行っています。また、生活困窮家庭などに食料品を届ける活動も行っています。

これまで **3,433,774円**
を活用させていただきました

2 | 森ではたらくプロジェクト



例
1万円
ご寄附

障害のある人が使う
安全防護具を3人分
用意できます

障害のある人や、さまざまな理由で働きづらさを抱えた人と一緒に森林の保全活動を行っています。地域の風景を整え、森林で汗をかくことで心身の健康も整います。

これまで **156,500円**
を活用させていただきました

3 | 少年院から地域にかえるプロジェクト



例
1万円
ご寄附

出院してすぐに必要な
下着や着替えなどを1人分
用意できます

少年院を出たあとに親元などの帰る場所のない子どもが多くいます。立ち直りを支援し、再犯しないようにしていくためには、住まいと仕事の支援が欠かせません。

これまで **682,083円**
を活用させていただきました

社会的養護の子どもたちの“当たり前の暮らし”と“やってみたい!”を支援する基金です。
 さまざまな経験を充実させるためのご支援をよろしくお願いいたします。

私たちが 実現したいこと

新品の下着・
肌着の提供

100%

すべての子どもに
新しい下着を

中学生・高校生の
スマホ所持

100%

青春にスマホは必須!
みんなが持てるように

能力と意欲のある
子どもの大学進学

100%

持てる力を発揮できる
機会保障を

部活動や学習塾に
取り組める環境

100%

アルバイトをしなくても
部活や学習に集中できる環境

海外留学

毎年 **1** 名

海外留学だって
選択肢にできるように

退所後のケアをする
ソーシャルワーカー

常勤 **1** 名

辛い経験を思い出したときに
相談できる人を

いつでも帰ってこられる
宿泊場所

2 名分

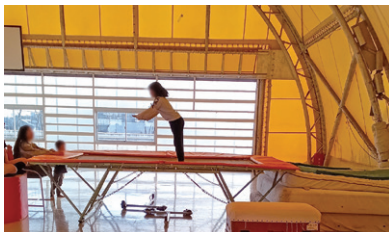
大人になっても
「実家」のような居場所を

これまでこのようなことに活用させていただきました



おなかも心も満たす体験をしました

外食は、子どもが自分で選び、楽しみながら食べる大切な体験です。回転寿司では「20皿とデザートを食べる」と話し、その通りに完食しました。初めてのスタジアム観戦では緊張しながらも、試合後には「楽しかった」と最後は笑顔で話してくれました。



習い事で、できることが広がっています

習い事は、子どもが好きなことに挑戦し、自信を育む大切な機会です。「体操クラブ」に通い始めることができ、飛び箱9段や10段に挑戦しました。軽々と跳び越え、トランポリンにも何度も取り組み、楽しみながら、自分のできることを広げています。



学んだギターで周りを笑顔にしています

自分の成長のために欲しいものを手にできることは、子どもの意欲を支える大切な経験です。東京・神田の楽器店を巡り、お気に入りのギターを購入しました。今では練習したギターを、グループホームの高齢者の前で演奏し、みなさんに楽しんでいただいています。

\\ マンスリーサポーターも募集しています //

毎月のご寄附での応援をぜひともお願いします。毎年、活動報告書と、サイトやSNSなどに登場するさまざまな動物の「OUR ANIMALS」ステッカーをお届けします。

500 円/月

1,000 円/月

多くの方が選択

3,000 円/月

5,000 円/月

1 万円/月

3 万円/月

5 万円/月

10 万円/月

毎月 **3,000** 円
ご寄附で

食べ盛りの子も1人が、焼肉や回転寿司でお腹いっぱい食べられます。



毎月 **5,000** 円
ご寄附で

高校生1人が、スマートフォンを持つことができ、アルバイトに追わずに学業や部活動に専念できます。



毎月 **1** 万円
ご寄附で

中高生1人が、スポーツの道具をそろえ、遠征にも参加できます。



これまでのご寄附総額 162,596,930 円



サイボウズ株式会社



株式会社ソニックガーデン



株式会社コスモスイニシア



SOMPO ちきゅう倶楽部



株式会社 ZOZO

合同会社ストーンサイド

2025年度のご寄附総額 28,465,364 円 (2025.4.1 - 2026.3.31)

株式会社コスモスイニシア、合同会社ストーンサイド、お名前の非公表など2名、松原由美、辺見陽平、埼玉県立草加南高等学校 料理部、こども応援団マイカ、公益社団法人生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会 千葉県協会、皆川真規、お名前の非公表など5名、本田貴男、馬上丈司、会田幸子、マエダアキコ、山下直人、小田卓也、佐藤義勝、庄司悦久、お名前の非公表など2名、麦屋高広、貴田美津子、星川望、秋山茂樹、山根三千代、水島治郎、河野恵美子、田中一平、三郷吉川遊技業組合、特定非営利活動法人NPO 共生、菊田仁、高木達恵、竹屋綱英、アキヤマシゲキ、お名前の非公表など9名、安藤幸、藤田敦子、天井響子、アビルマチコ、吉川市国際友好協会、山田芽由美、田中かおり、佐藤芳直、妻鹿ふみ子、伊藤博和、窪木愛子、田中耕太、関口恒、タカハシカズミ、横田正明、戸村宣良、小川ティアギ賢人、山口農場、田原明夫、平野昇、木村利江子、家合勇夫、株式会社みのりや米店、岩田俊夫、堀澤伸、高橋マナミ、加島トシ江、原元利成、本橋新一郎、碓氷典子、MAP (香澄公園プレーパーク)、おせんべくんサポートメンバー、お名前の非公表など13名、八千代市勝田台民生委員、宮本勝行、島田良子、横山隆浩、堀田聡子、勝藤珠子、渡辺恵理子、中西一郎、香取市高齢者クラブ連合会栗源支部、根本次夫、香取秀雄、平山初子、小松薫、草加市こども応援ネットワークPine、八木亜希子、加納可愛、玉置隼人、川村庸子、小澤綾子、高久修一、東京サンブライト株式会社、佐藤正躬、田中伸弥、本間太希、大川洋子、白石加寿子、末村栄子、坂本和環、矢嶋伸浩、清原黎亜、お名前の非公表など13名

(敬称略)

私たちも応援しています



家合 勇夫 さま

「杜の家やしお」利用者ご家族

「杜の家やしお」を知ったのは、開設時の施設見学がきっかけです。妻の受け入れ先を探していたところ、家から近かったことが入所の決め手になりました。最初は少し敷居が高そうに感じましたが、面会を重ねるうちに職員のみなさんが気さくに声をかけてくださり、通いやすくなっていきました。妻がお世話になっているので、自分にできることを少しでもと思い寄附をしています。これからも今までどおり、よろしくお願いいたします。



埼玉県立草加南高等学校

料理部 のみなさま

2024年から「みんなの食堂おせんべ」と埼玉県立草加南高等学校料理部のコラボ企画として、献立作成や調理などの交流をしてきました。学校外の地域社会でさまざまな人に出会うことは、社会への視野を広げる機会になっています。文化祭で販売した収益を何に使うか部員で話し合い、「おせんべ」へ寄附することに決めました。食堂のみなさんの笑顔やお楽しみ企画につながれば嬉しいです。今後も私たち高校生にできることを考えていきたいです。

ご寄附の方法

全額損金算入をご希望の法人のみなさま

「寄附申込書」をお送りください

ご利用には事前の審査があります。寄附申込書にご記入のうえ、福祉楽団コーポレート統括部へメールか郵便でお送りください。



寄附申込書
ダウンロードはこちら

法人で100万円以上の寄附をご検討の場合は、全額損金算入ができる寄附制度があります。共同募金会の「受取者指定寄附金制度」(※1)に申し込み、審査・承認がされた場合のみ、全額損金算入が可能になります。

全額損金算入が可能な寄附の流れ



※1 受取者指定寄附金制度 | <https://akaihane-chiba.jp/smarts/index/39/>

寄附金控除・税額控除をご希望のみなさま

所得税の寄附金控除または税額控除が受けられます。税額控除を選択される場合は、当法人からの寄附金の領収書と『税額控除に係る証明書』が確定申告の際に必要となります。

CARD クレジットカードで

専用のWebサイトから、クレジットカードですぐに手続きできます。



スキマ基金 OUR KIDS基金

BANK 銀行で

下記の口座でお受けしています。領収書をご希望される場合は、福祉楽団までメールでご連絡ください(次ページ参照)。

三井住友銀行 千葉支店
普通 8709384
社会福祉法人福祉楽団
フク)フクシガクダン

郵便局で

「OUR KIDS基金」専用の払込取扱票をお使いください。下記の口座でもお受けしています。

郵便振替
口座番号 00180-8-762018
加入者名 社会福祉法人 福祉楽団

PayPayで

スマートフォンからご寄附いただけます(1回限りのご寄附のみ可能です)。



スキマ基金 OUR KIDS基金

そのほかのご支援方法

遺贈・死因による贈与契約



遺言書や死亡後の贈与契約により、遺産を寄附することができます。相続税が非課税となる制度があります。

不動産・有価証券(株式等)



土地や建物、株式などを寄附した場合は、譲渡所得が非課税となる制度があります。

ふるさと納税



ふるさと納税の返礼品による寄附もお受けしています。返礼品の送付先を下記(※2)にご指定ください。

貴金属・金券等



貴金属、金券(図書カード、お米券、株主優待券等)などによる寄附もお受けしています。

▶ ご寄附いただいた方へ

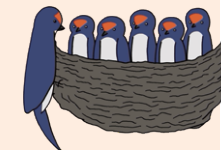
「STRAWBERRY & ROSEMARY JAM」を贈ります

10,000円以上ご寄附いただいた方に、返礼品として、栗源第一薪炭供給所で製造した「STRAWBERRY & ROSEMARY JAM」2本セットを贈呈しています。



「OUR KIDS 基金」にご寄附の方へ

毎年、活動報告書と、サイトやSNSなどに登場するさまざまな動物の「OUR ANIMALS」ステッカーをお届けします。



お問い合わせ

担当 福祉楽団 コーポレート統括部



田井中(たいなか)



向後(こうご)

電話 043-307-2828

メール our-kids@gakudan.org

郵便 〒261-7112
千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目6番地1
WBG マリブイースト12階